(明治卅八年十月二十五日 第三種郵便物認可)

滿洲日報

聯盟の紛議に關せず支那と直接交渉開始
中立地帶問題の紛糾に處するわが政府當局の方針

【東京一日發】錦州中立地帶問題に關しては外相は飽く迄第三國の介入を拒絶し日支直接協定によるべきものとの既定方針を固持し萬一理事會が最後迄文句をつけるに於いては政府は理事會の紛議には關係せず支那側の急に應じて支那と直接交渉を別個に開始する方針で重光公使を通じ支那の誠意を促すと共に東京に於いても蔣作賓氏を相手に議を進めることに決定し居り從つて問題は支那側の出方一つにあると見て居る

支那代表部コムミユニケ

【パリ三十日發】理事會決議案受諾に關する支那側の用意に就き支那代表部は今夜深更左の如きコムミユニケを公表した
若し日本軍の錦州地方撤退が原地に於ける中立國オブザーヴアーに依つて確認せられ且つ今後新事態が惹起されない限り支那は滿洲に於ける日本軍隊の一定期日までの撤退要求を固執する事なく理事會決議案を受諾すべき用意を有するものである
支那側が斯く其の態度を軟化したのは理事會の形勢不利で何等かの機會を捉へて理事會決議に服すべき態度を表明するの已むなきに迫られた爲め日本軍の遼河以東に後退を絶好の機會とし斯く軟化態度を表明するに至つたものと觀られてゐる

中立地帶案は別問題
政府は直接交渉方針

【東京一日發】中立地帶設置問題が恰も理事會決議案中に挿入さるべき問題の如く傳へられてるが右はブリアン議長が聯盟の問題として中立地帶設置問題を解決せんとする意圖を有するからで日本政府は屢報の立前から第三國の介入を一切排除せんとするにあるので飽く迄日支直接交渉に依つて解決せんとしてゐる

聯盟決議案折衝經緯
日支双方主張の形勢

【パリ三十日發】既報の通り日支兩國代表はそれぐ公式に理事會決議案に對し受諾の可能性あることを闡明し約二週間に亘り採みに揉んだ聯盟理事會決議案は明一日中にはその起草を完了すべしと信ぜらるゝに至つたがこの間の經緯及び決議案に關する形勢は左の如くである

支那側主張

支那代表施肇基氏は今朝に至り日本軍隊の即時撤退に關する第一の修正要求を拋棄した一方起草委員會は支那側に對しその第二の要求たる
支那が日本人の生命財産の保護のため執る手段を不十分と調査委員會で認めた場合調査委員會は保護方法を擴大し

補足的保障を勸奬する

ことを得
もの一項はこれを決議案中に止め第三の要求たる
調査委員會は國際關係に及ぼすが如き總ての他の事項を調査すると同樣九月十八日に於ける奉天の出來事を調査するものとす
との修正條項に就ては或程度までこれを容認すべきことを約した

日本側主張

一方日本の修正要求に就てはそれぐ左の如き解決方法を執る事となつた
(イ)決議草案中の全文の文句は九月三十日の理事會の決議の程度に止むること
(ロ)決議草案の原文中「日本及び支那はそれぐ其軍司令官に對し苟くも能動的行動を執らざる樣訓令することを誓約す云々」の文句は單に「日本及び支那は苟くも能動的行動を執らざることを誓約す」と云ふ如く變更し「軍司令官に訓令云々」の文句を削除すること

殘る問題

只目下困難とされてゐるのは日本の保留條項たる
兵匪土匪に依る日本居留民の生命財産が危險に瀕さるる場合は日本軍は自由行動を執るの權限を保留す
と云ふ主張につき如何に折合ひをつけるかの問題であるが起草委員會は本件に關しその最善を盡して日本の要求を滿すべきことを日本側伊藤述史氏に約束した、然しこの點に關して支那代表が飽くまで頑強に反對する樣なことがあれば形勢逆轉しないとも限らぬ、中立地帶問題に關しては日本は絶對に第三者の干渉を受けずと主張しこれに對しブリアン議長は
理事會としては決して事實上これに干渉することを企てゝゐるものではない
と論じ日本代表はこれに對し若し第三者の干渉問題が起らねば夫れ丈け結構である、然しその問題が起るならば日本は飽くまでその主張を維持せねばならぬ
と述べて居り同時に日本側は中立地帶設定以前に支那軍隊の錦州撤退を主張して居る、從つて本問題に關する解決は尚疑問を殘してゐる更に今明日の交渉に俟たねばならぬ

聯盟の駈引

これを要するに理事會の駈引は一方支那に對しては理事會が日本軍の錦州進撃を阻止しこれを後退せしめた旨の事實を振り翳して支那の日本軍撤退期日確定明示の要求を拋棄せしめ置き他方日本に對しては支那をして日本軍撤退期確定の要求を拋棄せしめたる事實を振り翳して中立地帶に對する仲裁的オブザーバー派遣の件を承認せしめんとするにあることは最早明確となつた、然してブリアン議長は成るべく速かにこれ等の題目を公開會議に移し以て支那又は日本の要求に依り決議案から除外された若干の字句に就てはブリアン議長の演説にその逃げ場を求めんとする模樣である

支那軍撤退せずば錦州に所要の行動
遼西部隊前進中止命令につき陸軍省聲明書發表

【東京一日發】陸軍省は一日夜左の聲明を發した
要旨 過般遼西に進出せる關東軍一部の前進を中止して遼河以東に配置せしことに關しこれを以つてアメリカの干渉乃至脅威に依るものと推斷し或は憤激し或は當局に對し注言を寄するの士多し、然れ共右推測は全く事實に反す帝國陸軍は斷じて他の擊肘就中他國の干渉に依り行動を二、三にするものにあらず抑も今次の遼西進出は天津の部隊並びに同地六千の居留民救援の準備と錦州軍並びにその使嗾に依る大馬賊集團に對し行動せるに過ぎず然るにこれより先き支那側に於て錦州軍を關内に撤退する意あるやの情報を得ありたると且つ天津方面亦小康を呈するに至りたるに鑑み參謀總長は右關東軍司令官の決心及び處置に對し二十七日午前十一時所要の指示をなし關東軍司令官は右指示に基き同日午後三時半前進部隊の前進停止に關する命令をなしたるものなり所謂アメリカ國務長官の聲明として傳へられたる報道が二十八日午後東京に到達せる事實と對照するも關東軍の行動は何等右と關連なき事明かなり要するに帝國軍は素より國策に順應して行動すべき陛下の大命に依るの外斷じて何者の干渉擊肘をも受くべきものにあらずこれ我が皇軍の本義にして又不磨の鐵則たり若し夫れ支那軍にして關内撤退を實行せず暴戾不信の行爲を敢てし滿鐵沿線治安秩序破壞の策謀を反覆するに於ては自衛上錦州方面に對し所要の行動に出づる事あるべきは素より覺悟する處なり

北支新政權樹立運動
反中央各派の連絡成立し段祺瑞氏愈々乘出す

【天津特電一日發】汪精衛氏を除く廣東派及び山西派、山東の韓復榘氏等の聯盟成り段祺瑞氏は近く通電を發して難局に當るべく起つことに決定した
時局の紛糾に伴ひ北支一帶は再び五色旗を擁揚せんとする運動が進展しつゝある北平來電に依れば北支に於ける五色旗並に南京に對抗する北支那新政府の樹立運動が着々として進行中で山東省政府主席韓復榘、馮玉祥、吳佩孚、孫傳芳等の巨頭間の連絡は完全に成立し張學良は近く失脚するだらうとの豫想が最近有識者間に懷かれる樣になつた而して學良が失脚と共に段祺瑞氏を推戴し北平に南京と絶緣せる新政府を樹立せんとするものでこの運動に特殊の關係ある閻錫山氏も最近大に乘氣になつてゐる樣子である【奉天電話】

學良下野せざれば財界恢復望み難し
天津華商の反張聲明

【天津特電一日發】天津市商會長等は全市の支那商會を糾合して次の如く聲明した
天津事變は張學良兄弟の對日行動に基づくものである、速に學良の下野を見ざれば市面の恢復望み難し
同會は更にフランス租界を中心として反張の氣勢を擧げつゝあり

新政權は南京と絶緣

北支那において五色旗の擁揚運動が進展し來たつたが北平よりの着電によると北支那における五色旗の同復並に南京に對抗する北支那新政權の樹立運動が着々進行中で、山東の韓復榘氏その他馮玉祥、吳佩孚、孫傳芳、孫殿英氏等の連絡は完全に成立し張學良は近い將來において失脚するであらうとの豫想一般有識者間に確認され而して學良失脚と共に段祺瑞氏を推戴して北平に南京と完全に絶緣した新政府を樹立せんとするものでこの運動に特殊緊密な關係をもつ閻錫山氏も最近乘り氣になつてゐる【奉天電話】

張作相氏赴津

【天津一日發】王樹常と張學銘と

チチハル奪回を萬福麟から命令

萬福麟は三十日馬占山軍麾下の徐鳳鎭に對し直に機を見てチチハルの日本軍を掃蕩し該地を奪回せよと命令を下した【奉天電話】

英順に通告

二十九日夜在海倫の馬占山より突如チチハル政權代表英順に對し部下將領のチチハル復歸論強硬にして今や余としてこれを抑止することは能はずと通達し來つた、このため人心極度に動搖し折角安靜に赴きし同方面の情勢一變の懼れあり、我が軍への助力を求め來つたので更に二十三日夜わが○○部隊急行のこととなつたのである【奉天電話】

馬占山の別働隊活動

チチハルを中心として三十支里外の周圍には敗殘兵及び馬賊集結してゐるが、此等兵匪はいづれも先に馬占山が釋放出獄せる頭目を編成せる特殊別働隊であるこの別働隊はその後さかんに密偵をチチハルに派遣して日本軍の行動を偵察したるもので三十日以來、馬占山軍の泰安鎭より行動を起せるものと緊密な連絡を有してゐると【奉天電話】

怒濤の如き歡聲に外國人も共に泣く
待ちに待つた增援隊を迎へて天津居留邦人の感激

【加藤特派員天津一日發】不安と窮乏の檻の中に閉ち込められた天津の居留民は僅かな駐屯軍にその生命を托し唯一の賴り處として明けても暮れてもドンよりとした晴れ切らない日を送り迎ひしてゐたが、居留民一同の切望が聽き屆けられ增兵斷行○○隊の現地保護が恐ろしい勢ひで

希望

が齎されたが遂にその日が來た、一日天津の居留民に とつて全く「この太陽」の如き明るい氣持を日本人の總てに投込んだ、天津在留民は一日ほど日本人的な感激に醉ひしれた事は無かつた、午前十時イギリス埠頭へ上陸した新鋭の精兵○○名は梅野少佐總指揮の許にヴクトリヤロードを眞直にフランス租界を通過して日本租界に入る、最初の騎馬兵が出ると同時に怒濤の如き感情が込み上げて蠢て割れるやうな萬歲の聲に變る、何うだ無心の子供等のはしやぎやう伴れ等の勇士、われ等の太陽だ、外國人の中にもこの美しく溶け合つた日本人の情景が解つたらしく大きなショックを與へたらしく賴りに

眼頭

を押へてゐる、嵐の如き萬歲に迎へられ○○隊は一時小學校々庭で香椎司令官の閲兵を受け懇篤な訓示を受けた後毅然としてソレぐ部署に就いた、天津在留民の歡喜振は曾て見なかつた位と云はれる、併しその同じ日今次の事變で御國の爲めに名譽の戰死を遂げた小宮戸特務曹長以下の告別式が公會堂で行はれた、軍隊歡迎の一面に傷々しい戰死者の告別式をもつた天津在留民にとつて十二月一日は忘れられない日となつた

天津の我海軍陸戰隊本部 加藤特派員三十日撮影

于芷山態度變る
わが軍の撤退を見てさかんに軍資金徵發

東邊道保安司令于芷山氏は曩に我軍に對し恭順の意を表し再三次奉天につかはし我が方へ意思表示をなしつゝあつたが本人は今もつて來奉せざるのみならずかへつて皇軍の○○方面より撤退後張學良との連絡密接の度をくはへたる疑ひあり、且北山城子の官銀號支店より九萬元、邊業銀行支店より二萬五千元、假稅捐局より十數萬元を徵發せるためたゞに金融梗塞せるのみならず人心動搖、刻下の特產出廻り期に際し日支經濟界に與ふる影響また大である、我が軍では治安の維持と權益確保のためこの種の地方長官に對してはこの際容赦なく適切の手段に出づる模樣である、尙右は錦州政權の存在と我が軍の撤退の結果の齎せる一現象で現狀を以てすればこの種の狀勢は各方面に現はれ來るべく錦州政權掃蕩の拔本的處置こそ緊急の問題だとの聲が高い【奉天電話】

は兎角意見合はず殊に王樹常が張學良から離反するとの說頻りに行はれてゐるので錦州へ行く筈だつた張作相は豫定を變更し昨日天津に來り當分滯在して王の態度を監視する事となつた、斯くて奉天派内部は淪落を前にして今や内訌絶えず互に猜疑嫉視し合ひ動搖してゐる

幣原外交を糺彈
帝國の立場を是正すると政友幹部會の決定

【東京一日發】政友會は一日午後二時定例幹部會を開きスチムソン氏事件につき森總務より左の發議があつた
幣原外相は先月廿三日の閣議で軍部が錦州攻擊をせば其の職に留まる能はずとの意思表示をなしたとの事なるが次いで政府の大官は在京外國新聞通信記者に對し政府は錦州攻擊の意思なしもし軍部が錦州攻擊の氣配を示す場合は政府はあらゆる手段を講じてこれを阻止すべしと說明し又他の大官はそのためには斷乎たる手段に出る意思ありとの意味を言明せる事實あり果してスチムソン氏は廿七日記者團に會見しその通信によつてこの眞相は全世界に報道せられ眞相暴露するに至つた外務當局は周章狼狽殊更に强硬を裝へる言辭を弄し責を米國に歸するがごとき宣傳をなし事件を曖昧の内に葬らんとしたるも事實は何よりも雄辯にして現にスチムソン氏の二回目の釋明そのものがこれを立證して居る、換言すれば幣原外相は錦州に對する軍事行動發生以前に於いて米に對し錦州の攻擊の意思を發表しかつこれを印象つけるために陸相、參謀總長の同意せることを達成のため軍令既に逆達せられたることを以てしたのである、而して幣原外相は鈎くともスチムソン氏の言明を打消すの手續きを執らず引合に出された陸相參謀總長も又何等取消的手續きを執れることを耳にしない他面に於いて滿洲軍は既に錦州に對し軍事行動を開始し彼我の交戰開始されたのであるが突如これら敵前の我軍に對し引揚げ命令下り全軍附屬地に歸還するに至つた、傳ふる處によるとこの歸還命令は政府が責任回避のため袞龍の袖にかくれ奉勅命令を以てしたと言はれる、即ち幣原外相は米に對する自己の立場をまもるため軍の引揚げを强要すべく政府をして非常手段に出でしめたものと推斷されるが、其結果は滿蒙に於ける帝國の關係を危險に陷れたと考へればならぬ、我黨は速かに事態の眞相を極め國民をしてよる處を知らしめ帝國の立場を世界に對し是正する要がある、よつて直ちに黨議を以て軍部並に政府につき眞相をただし黨の所見を公表し機宜の行動を執られたし
次いで内田總務より右の内軍機漏洩の法律的根據を說明し結局滿場一致を以て森總務の提議に贊成し幣原外相の言動の眞相を究明の上これを中外に發表し糺彈する事を申し合せ其の取扱ひは幹事長に一任して同四時半散會した

水害救濟附加稅全國で徵收

【上海一日發】水害救濟關稅附加稅は今日より全國海關で五種目を除き十五種目より徵收を開始した、右は明年七月三十一日迄は水害救濟用として一割附加、同八月一日よりは洋米小麥借款償還用として無期限に五分を附加することになつてゐる

國債買入れ

【東京一日發】大藏省發表、政府は一日國債額面一千七百卅一萬五千六百圓を買入れ償却したがその買入れ代金は一千五百九十萬九千七百四十三圓である

社說

直接交渉相手は何處に

滿洲を知らぬ者は資格無し

凡そ今次の滿洲事變に關する交渉は、日支直接でなければならぬとは日本が始めから一貫して主張する所である。其理由は支那の事情に通じない者が介入すれば、徒らに事件の解決を困難ならしむる虞れがあるからである。しかも滿洲事情は、一般の支那とは又更に特異性を持つのであるから、只支那を知つたのみの人ではいけない。殊に滿洲を知つた人でなければならないのである。故に調停委員の說が出たり、オブザーヴアーの說が出たりする每に、我政府は常に之れを拒絕して一顧をも與へない態度を取り、第三國の介入を絕對に許さずとして居る。此れ第三國人は到底支那を知悉せず、假令支那に關して多少の知識ある人々と雖も、滿洲に關しては全然無識であるからである。如何に說明しても之れを理解するだけの豫備知識をも有して居ないと爲すからである。

◇

此理由によつて、我政府は第三國人が事件中に介入するのを回避するのであるが、吾人は此理由を以て單に第三國人を忌避するのみならず、假令支那人と雖も、支那を知らず、殊に滿洲を知らない人達との交渉は避けねばならぬと考へるものである。實に支那の土地は廣大無邊であつて、其政情は不可思議千萬なものである。支那人だとて決して支那を知つて居るわけではない。殊に現在の政局に、有力な地位を占むる國民黨の少壯者は、十分に支那を知らないと云ひ得る。現在の黨部及び政府の有力者で、支那語を知らない人があるのは、隱れもない事實であるが、更に此人達に支那の地理を知つて居るものが何人居るか。邊境の地域の事は云ふまでもないが、最近非常に開發された滿洲各地を旅行した人が何人居るか。又滿洲の歷史を知つて居る人が何人居るか。殊に滿洲が露國と深き關係を生じて以來、それが更に日本と深き關係を生じた歷史的事實、日支間の滿蒙に於ける關係を、詳しく知つて居る者が何人居るか。

◇

此等の滿洲の事情並に日滿關係は、北方人が割合に多く知つてゐるが、現在の政局は有力なのは多くは南方人で、北方人が其中に居ても、北から南に傭はれて行つた樣な關係にある。斯樣な說を出すと頗る突飛な說の樣で、故意に支那人を傷けるが如く聞えるかも知れないが、之れ實に其の實情である。斯くの如き事は歐米人士の恐らく夢想にも及ばぬ事であらう。吾人は近代國家の概念を以て、支那にあてはめんとする歐米人の、無認識に關して常に警告を發するのであるが、之れは必ずしも歐米人を侮辱するものではない。支那人其れ自身に於ても、其通りなのが甚だ多いのである。況んや歐米人に於てをやである。歐米人の支那及び滿洲に對する無知識は、決して歐米人の恥辱ではない。

◇

南京政府の人達には、實に上述の如き、支那を知らぬ人もあるのだが、それは少數であるとしても、滿洲を知らぬ人は、其の大部分を占めると云つても決して過言ではない。況んや黨部の青年の如き、學生の如きは、決して東北をも辨へぬ學生の如きは、決して支那の本質を知るものではない又決して滿洲の何たるかを知るものではない。彼等が東北なるものを辨へぬうちから、無理矢理に頭の中に押し込まれたのは「琉球、朝鮮、臺灣、安南、香港が支那の領土であつた。それが各國に掠奪された。滿洲は支那のものであるのに、日本が侵入して我物顏に振舞つて居る。それを足場にして、支那全土を侵略せんとするのが日本の傳統的政策である。日本人憎むべし、日本討つべし」といふのである。支那自國に關する反省の如きは少しも敎へられない。そこに近代國家の理論や、國際法を持つて來て、勝手な理窟を捏れ返すべく吹き込まれてゐる。

◇

斯樣な人達の尻押によつて、其の顏色を窺つて行動するのが南京政府である。此政府を相手に國際問題ならば、大ザツパな國際問題ならば、此政府を相手にして決着をつけるのが便利であるけれども、滿洲に於ける日支問題の如き、複雜微妙であり、且つ日本國民の生命に關する重大問題を、斯くの如く人達の寄合世帶である政府との間の交渉が、元來困難なのである。併しながら今日の狀態としては、南京政府が支那の政府であるから已むを得ずして我政府は之れと交渉する建前にはなつて居る。それだけに、種々の不安がある譯で、交渉の前には種々の保障やら、取極めやらが必要なわけである。日本が日支直接交渉を希望しながら、それが容易に運ばないのは、日本としてはそれだけの大事を取らねばならぬ理由があるからでもある。而して南京政府なるものが、滿洲の事を知らないから、進んで直接交渉を開く途を發見する事が出來ないからでもある。

◇

此點から云へば、瘠せても枯れても、滿洲に實權を握つて居た舊奉天政權の方が、まだしも滿洲の事情を知つて居る。然るに此人達は、知つて知らぬ顏をする。知らぬ顏をして無理難題を日本に吹きかける。事が面倒になると逃げて、南京政府に責任を讓る。舊奉天政權は斯樣な捉へ所のないものであるから、日本が之れと直接の交渉を開かんとしても出來ない。日本政府は直接交渉を主張して居るけれども、現在の所では、安んじて之れと交渉し得る相手を發見し得ない狀態にある。さりとて國際聯盟や米國政府を相手にして滿洲に關する交渉を開くわけにもいくまい。之れは支那の全國民を無視し侮辱する事になるのだ。日本は滿洲の事情をよく知つた、しかもしつかりした交渉相手を發見せねばならぬ事になつてゐる。日本の立場も亦至難なりと謂ふべきである。

何故在滿兵力の增加を圖らぬか

治安維持はわが責任

河上哲太氏視察談

政友會代議士河上哲太氏は青年訓練所關係の社會敎育會理事として先般來在滿軍隊慰問のため奉天、長春、吉林各地を視察中であつたが一日午後八時着列車で再び來連二日は旅順に塚本關東長官を訪れ次の船便にて歸京の途に就くことゝなつたが車中往訪の記者に對し左の如く語つた

約一週間に亘り一通り各地を廻つて皇軍將士の勞を犒つて來たが第一に考へさせられたことは各地の治安維持に對する我が兵力の不足といふ點である、實際廣汎な地域に亘つて至つて手薄な將卒達が

寒氣や 疲勞にもめげず元氣旺盛で任務に服してゐるさまを見て淚がこぼれたが何故政府は事變後の滿洲の實情に卽して適當に治安維持並に警備のための兵力の增加を圖らないのかと思ふ、具體的に例をあげると奉天長春其他の各地でも軍隊は手薄であるけれども、唯熱烈な國民の支持のために關東廳警官、憲兵隊、在鄕軍人、青年團等總出の應援を得て協力して疲れも忘れて任務に服してゐる、士氣の旺盛なことは素より結構であるが一方中央政府の態度方針としては右の樣な團體を動かさずして充分に手が廻るやう考慮すべきだと思ふ、次に

感じた ことは今後の善後處置のうち最も重大にして日本が責任を感じなければならぬのは滿蒙全體の治安維持であると思ふ、これは單に我が權益又は支那人のみを對象としたものでなく各國人の生命財產の保護について遺憾なきを期せなければならぬ、自分は元來支那全土を通じて各國人の生命財產の保護、治安確保の手段を講ずべしといふ持論であるが兎に角これが今後における最も大きな問題である、中央政界における協力內閣運動の其後の動きは東京にゐないのだから詳しく知らないが政友會としては國步艱難の折柄自重して

積極的 に倒閣運動をやらないのだし假に外交、財政其他において行詰りに當面してゐても來議會中位はどうにか斯うにかやつて內閣の生命が續くのではないかと思ふ

日本人時局後援會

奉天で聯合大會

大連から各地に慫慂

在滿日本人時局後援會の常任委員會は一日午後四時より市役所會議室に於て開かれた、先づ奉天、チチハル方面に出張、軍隊を慰問して歸連した岩井、齋藤兩氏より慰問經過に就いて報告あり、引續き協議に入り現今村會計係のほかに更に會計二、三名增員の提案あり小川會長指名に一任とし、なほ時局逼迫のため奉天に全滿聯合大會開催かた慫慂する事に決定、全滿各地に電報または書面を以て通知し開催の際は遼般大連に於て非常市民大會で決議した宣言、決議文に一段意味を強め之れを在滿邦人の聲として發表し更に要路に打電して繼續する事を申合せ、大連、旅順の衞戍病院ならびに同出張所に收容されてゐる傷病兵および沿線の治安維持に軍隊同樣の活動をしてゐる警察官慰問の事など決議し同六時三十分散會した

兩代表赴滬

來る六日上海に於て在支日本人大會を開催、對時局問題に就て政府を鞭撻し兼てこの際一段深刻なる輿論を喚起することゝなつたにつき大連から滿鐵社員會を代表して地方課長栗屋秀夫氏及び滿洲青年聯盟を代表して小山貞知氏出席することゝなり兩氏は二日出帆の長春丸にて赴滬する筈

遼陽市民大會

時局現今の狀勢は至急關東軍及び支那駐屯軍の增援をなす必要切なるものあるにつき遼陽日本人大會支部が主催で二日午後一時から遼陽公會堂において非常市民大會を開催し政府要路に此の旨要望することゝなつた【遼陽電話】

滿鐵社員に同情鬱然と集る

慰問品、慰問金を醵出

【東京特電一日發】滿洲の曠野に馳驅する我が軍活動の裏には戰線への部隊輸送始め食糧彈藥等の輸送に決死的活動を爲す滿鐵從業員があり是れ等從業員の中には北寧線に於ける戰鬪で敵彈にうたれて戰死せる者さへ出て負傷者凍傷者等續出してゐるが世間では今次事變の陰に隱れて決死的奉仕してゐる滿鐵從業員に對する同情鬱然と集まり加悅女史の日本女子商業の生徒等は京人形其の他繪端書數千枚を又松澤村の勞働者一團は勞銀の一部を醵金して寄附し、滿鐵東京支社でも恆例の宴會一切を中止して六百圓を送つた

貰い貧者の一燈

ルンペンの慰問金醵出に

關東軍司令部の感激

在滿將士慰問のために來奉した東京聯合青年團員の手によつて一日關東軍副官部を感動させるルンペンの健氣な慰問金が屆けられた、東京深川の市營無料宿泊所に住むルンペンたちは酷寒の北滿に在つて皇國の爲に必死の活動を續けてゐる將士の働きに感動しろくぐくまへ食へない境遇にありながらこれが見捨て置けやうかと淚ぐましくも一錢二錢の零碎な金をさりまとめ三圓卅錢を醵出しこれを渡滿する聯合青年團に託して軍司令部に屆けた、軍司令部の慰問品擔係たる副官部ではこの申出に非常に感謝して貰い貧者の一燈有がたく受領することゝなつたがルンペンが醵金して在滿將士を慰問したのはこれが最初として軍部一同を感動させてゐる【奉天電話】

戰死者の慰靈祭

四日遼陽で

今回の事變における第二師團管下の戰死者百廿餘名の慰靈祭は師團司令部と時局委員會の合同主催で四日午後一時から遼陽白塔公園グラウンドに祭壇を設け執行することになつた、當日の慰靈祭は神佛兩式で執行されるが沿線各地から多數の參列者もあるべくこれ等參列者は午後二時半の急行で離遼出來得ることに準備を整ふると同時に在任者も亦嚴寒の折長時間式に參列せしむることも氣の毒ださいふので時間を嚴守して英靈を慰む筈である【遼陽電話】

新民に自治委員會成立

二十九日新民に支那側の自治委員會組織され外交、庶務、法務、文書、會計、司法の六課に各課長、主任も決定し委員長には李農務課長副委員長には朱氏推薦されたなほ指導員は決定しないが四、五日中に決定の模樣である【奉天電話】

對米磅相場大慘落

【ロンドン一日發】フランス、オランダよりの賣叩きにより對米ポンド相場は今朝に至り更に三ドル二十七セント半の安値に大慘落した

增稅案作製

與黨幹部會

【東京一日發】民政黨は一日午後二時半より本部に主要幹部會を開き明年度豫算案中特に增稅し公債問題に對する黨の態度につき協議した、井上藏相の說明あつて後質問應答を重ねたるも與黨側は增稅やむを得ずとすれば關稅引上げを斷行し增稅額を成るだけ少くし殊に關稅引上げは產業振興策となるから是非必要であるとなし井上藏相の再考を促し纏まらぬので結局九名の委員をあげ山道幹事長もこれに加はり與黨案作製の上井上藏相に提示することゝして同五時半散會した、委員は虎の門薬軒で直に協議會を開いた

增稅案大綱

【東京一日發】井上藏相が三十日の閣議と與黨幹部に諒解を求めた歲入缺陷補塡策としての增稅大綱左の如し

一、增稅額四千萬圓（稅制整理に依る增收二千萬圓、新規增稅二千萬圓）

イ、種目別金額
所得稅 千七百餘萬圓
麥酒稅 二百三十餘萬圓

ロ、增稅率
所得稅 第一種百分の一・五を增率、第二種百分の一を增率、第三種現行累進稅率を全部一割以上增率、同族會社加算稅現行率を一割以上增率
麥酒稅 現行一石二十五圓を五圓引上げる

ハ、期限 昭和七年より九年度まで施行す

ニ、稅制整理に依る增稅恆久的改正としてこれに依る增收額は約二千萬圓

關東廳の警察官先づ二百名增員

滿洲及び九州で募集

關東廳では時局に鑑み擧て警察官の增員計畫中であつたが今回其第一期增員として二百名だけ增員することに決定したので、警務局では左の通り滿洲及び九州山口各縣下に於て採用試驗を行ふことゝした

△六日旅順警察官練習所、奉天警察署△八日鹿兒島、佐賀兩縣巡査敎習所△十日熊本、福岡同上△十二日下關警察署

北寧線と英國の利權

英外相の言明

【ロンドン三十日發】本日英國下院でサイモン外相は日支問題に關し左の如く聲明聯盟理事會の共同努力の成功を熱望してゐる目下北寧線に關する交渉が進行中だが其の收入は最近の事件で減少且つ奉天政權の變化の結果英國側の取る金額受渡に困難を生じてゐる、英國側の情報に依れば過去十日間日支間に衝突なく又新聞報道に依れば日本軍の撤退は出來る限り行はれてゐるとの事だが未だ公表がないと述べ次いで勞働黨のウエッジウッド氏自由黨のメーソンクサ氏間に制裁規定の適用を主張せるもサイモン外相取合はず最後に外相は鐵道借款の契約不履行の結果として英國の債權者が支那政府に正當なる要求を爲す事に就き決して適當なる機會を逸がさないであらうと英國の利權確保に就き言明した

年末金融市場觀

例年よりは著しい變調

＝日銀當局の意見＝

【東京一日發】本年度の金融市場の經過觀は我財界多端の折柄一般に頗る重視されてゐるが右に就き日銀當局の意見は左の如し

市場資金はこの上減少すべき狀に置かれてゐない、正金銀行は十二月一日正貨現送を行つた結果國內の通貨は顯著な減少を來した、しかるに正金の賣爲替は總額の四割見當に過ぎず十二月中に受渡されるもの、大部分を占めてゐる、從つて正金の正貨現送の金融市場に及ぼした影響も半ばに過ぎない、日銀の貸出し高は十一月三十日迄九億五百萬と云ふ巨額にのぼつたが十二月上旬には漸減の傾向を辿るであらう、然し年末資金需要期に當面すれば十一月末より遙かに增大するは明かである、然し無暗に金利騰貴はない筈である、それにしても本年末金融市場の經過は著しく例年と趣を異にしてゐる點は再三一般金融業者に注意もし金融業者も警戒を嚴にして來たこれに みを來さぬ限り無事越年するであらう

八幡製鐵所八百名整理

【長崎一日發】八幡製鐵所人員整理は一萬の從業員首め八幡全市的の必死の運動も及ばず今日全集議會で其の內容左の如く發表した

一、人員八百五十名以內

一、解雇手當昭和二年整理當時同率

一、退職手當中各人の給料月額（所定日給の二十五日分）の約三月半分（八十七日分）に相當する額を限り現金にて支給し其の他は公債にて支給す、以下略

陸軍非公式軍事參議官會議

【東京一日發】陸軍では一日午後一時より省內で非公式軍事參議官會を開き閑院、梨本兩殿下を始め各參議官（上原元帥缺席）南、金谷、武藤三長官、小磯軍務局長以下關係官出席し先づ聯盟軍縮會議陸軍側全權に對する訓令案を陸軍大臣より報告し次いで軍制改革案に移り三長官よりそれぐゝ所管事項に就き說明あり格別の議論もなく之亦原案を承認し最後に參議官側より右兩案の達成に努力するやう希望意見の開陳あり更に當面の時局問題に就きそれぐゝ關係官より說明あつてこれに關する重要な方針の打合せを爲し四時過ぎ散會した、尚正式の軍事參議會は三日午前宮中にて陛下御親臨の下に舉行される筈

東都學生代表

ハルビンへ

【チチハル特電一日發】東都十三大學より成る帝國學生聯盟代表派遣隊一行十五名は三十日大興方面の戰跡を視察して一日ハルビンに向つた

十河理事歸連

腸チビスのため奉天醫大病院に入院加療中であつた滿鐵十河理事は既報の如くその後の經過極めて良

市會協議會

永井助役退職金問題協議

大連市前助役永井準一郎氏の退職慰勞金問題に關する市會協議會は一日午後二時より市役所會議室に於て開かれた、之れに對する市理事者の原案は既報の通り金五千圓であるが、右協議會の席上では種々議論もあつた如くであるが大體に於て五千圓案に承認を與へた模樣である、近く開會される市會に於て正式に提案さるべく市會も無事通過するものと觀測される

遼東學會例會

遼東學會では二日午後四時から大連圖書館樓上において例會を開催小林胖生氏の「扁虎子と節分のお化について」なる研究發表がある筈

關東廳辭令（一日附）

依願免本官 關東州小學校訓導 大樂常子

好で入院以來四十日振りで卅日午後退院の上看護のため東京留守宅より來滿中の夫人、清水庶務課長等と共に一日午後八時着列車で歸連したが埠頭には谷川總務部次長其他多數關係者の出迎へがあつた

「奮ひ起つべき時は來ぬ」

行進歌々詞

本社主催の護國祈願祭は愈々來る六日を期して舉行する事となり目下各參加團體と交渉し着々その準備中であるが當日市內行進の際合唱する「奮ひ起つべき時は來ぬ」は村岡樂童氏の作歌作曲でその歌詞並に歌譜は以上の通りである

奮ひ起つべき時は來ぬ

Tutta Forza

◇私は最近西廣場の電車停留場に通行人に千人結びをたのんでゐる一婦人に對し、大連のマダム連のあまりに冷淡なのに驚かされた一人である。

◇私は白い布をもつて立つてゐると千人結びの婦人があるので寄つて結んでみるとまだ二三十しか結んでない、しかも誰も結んでやらうと寄つて來る人がない。

◇伊勢町の方から三越の包紙を持つたマダムが來たので、件の婦人は結んで貰ふべくいんぎんに賴んだが、該マダムは忙しいと稱して通り過ぎた、しかも彼女は決して忙しいやうではなかつた。

◇續いて大廣場の方から女事務員がやつて來て「御苦勞さまです」といひながら結んだ、三號電車から安い狐にくるまつたブチブルマダムが降りたが、千人結びが依賴しても見て見ぬ振りで立ち去つた。次いで女學生の一團が通りかゝつて各々結んだ

◇かくて暫くの間ではあつたが私の見てゐた間には、マダム風の女性はすべてたのむのを拒んで過ぎ去るものゝみであつた、忙しいさいふが二三分を要して結んであげたさてその吳服屋に入る時間には何の影響もない、大連の第二のマダムとなるべき人はもツと目覺めてゐますよ。

南京政府の正式外交部長になつた顧維鈞、正義の原則と東洋永遠の平和の爲めに働くと云ふ▲日本に雇つて來てもよい天晴の外相振りだが、待てよ、こんな抽象的な辭令なら、敢て顧氏を煩はすまでもない▲張學良も局面展開に四苦八苦だがウマイ思案も浮ばず阿片を吸つては强い事を云ひ、醒めてはふさぐ▲學銘に至つては更にナンニも判らぬ若輩者、お守役王樹常愛想をつかすも無理ならず▲我まゝ極まる若輩者に、北支那の大事を任せておく南京政府も政府だが、之れをだまつて見て居た國民の氣が知れぬ▲今更になつて學良學銘の無能を責めて見たつて何になる▲蔣介石は汪精衛に主席代理を委任せんとしたが、見事にはれられた▲國家の局面展開の爲でなく、自己の局面展開に利用されるのは汪氏もつらい▲調查委員にしろ、オブザーヴアーにしろ第三者が事件の中に入る事、絕對禁物▲軍事行動を執らないと云つても、土匪討伐や自衛權の發動は此限りに非ず▲今更の主張でなく始めから此主義で一貫、幾度も繰返しくゝ、クドクゝ釘を刺されねばならぬとは厄介至極。

市況（一日）

株式

後場 內地變らず 當市閑散

內地主力株保合を入れて當市も氣配變らず閑散

◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一六四	一六六	一六四	一六六
新豆	一三三	一三六	一三三	一三五
新鈔	―	―	―	―
大新	―	―	―	―
東新	三三〇	三三〇	三二九	三〇〇
鐘新	二六八	二六八	二六八	二六八

錢鈔

標金保合 當市變らず

上海標金の保合を眺めて當市變らず

◇定期後場（單位錢）寄付 高値 安値 大引

◇現物後場（單位錢）銀對金 銀對洋 金對洋

出來高（銀對金 十萬五千圓、銀對洋 二萬九千圓）

商品

麻袋變らず 綿糸反落

綿糸● 大阪三品大引は前場寄に比し當限二圓十錢安中先七八十錢乃至一圓五十錢安と反落を入れ當市は氣迷ひ見送つた

麻袋● 出來不申

奧地市況

▲奉天票	現物	一、一〇〇
▲奉天大洋	現物	五〇、〇〇
	先限	二〇一、〇〇 二〇一、三〇
▲開原大洋	現物	五〇、一〇
▲安東鎭平銀	當限	六七七 六七五
▲哈爾濱大洋	先限	六八六 六八三
▲哈爾濱大豆	現物	三五、〇五 三五、〇五
▲哈爾濱小麥	二月	八一五 八一〇

市場電報

特產 大豆現物、大豆先物、豆粕現物、豆粕先物、滿洲小麥、豆油現物

東京株式（短期） 東株新、東新、五品先、豆信、豆新當、中、先

東京株式（長期） 東新、鐘紡、滿洲新

大阪株式 大株、大新、鐘紡、鐘新、東新、日糖、郵船

大阪綿糸 十二月、一月、二月、三月、四月、五月、六月

橫濱生糸

限	後場一節	後場二節
十二月	五六八〇	五六八〇
一月	五八九〇	五八九〇
二月	五九八〇	不中
三月	六〇四〇	六〇四〇
四月	六一〇〇	六一〇〇
五月	六一五〇	六一五〇

東京期米

限	後場寄	後場引
十二月	一九八七	一九七八
一月	二〇三九	二〇四〇
二月	二〇八九	二〇八五

大阪期米

限	後場寄	後場引
十二月	一九七一	一九六五
一月	二〇四八	二〇三五
二月	二一〇〇	二〇九一

神戸期米

限	後場寄	後場引
十二月	一九九八	一九八六
一月	二〇四九	二〇四二
二月	二一一四	二〇九九

家庭

果然、人氣を呼んだ 恤兵獻金大演藝會
演奏歌詞、曲の解説(上)

滿日婦人團主催の恤兵獻金大演藝會の番組が一度紙上に發表さるゝやその純眞崇高なその趣旨と、和洋音樂舞踊方面の權威者を網羅したその素晴らしい番組に各方面に豫想外の人氣をよび、豫約の申込みは本社事業部に殺到し早くも會員券の不足を豫想しなければならぬ有樣です、で當日來會の方々のために演奏歌詞、曲の解説等をかゝげる事にしました

歌謠曲舞踊

關は大瀬戸
有光夢聲作　杵屋佐吉曲　杵屋六紫

(一)
手綱さるのが花婿さまよ
ほいのほいのほいのほいほい

(二)
あれよ行く行く花嫁ゆくよ
嫁御十七婿どの二十
恥かしいのかもの言はぬ
ほいのほいのほいのほいほい

(三)
あれよ行く行く花嫁ゆくよ
峠三里のあの坂越えて
さんざさんざと驛鈴の音
ほいのほいのほいのほいほい

(二)
月の朧ろに雨が降る
壇の浦から赤間の邊り
神代ながらの繪巻の夢を
月にかこつは平家蟹

(三)
戀ぢやなけれど一夜の遊び
月の無い夜に連れ立ちましよか
汐が渦巻きや魚が跳る
小門の夜焚の流し船

(一)
後へ戻るは黒い船
汐に押されりや舳が曲る
關は大瀬戸流れが速い
流れ眺めて河豚のちり

花嫁
(中井修作　杵屋佐吉曲)

(一)
あれよ行く行く花嫁ゆくよ
馬に乗つたが花嫁さまで

舞踊

出船の港
上野露子

(一)
ドンとドンとドンと
波のり越えて
一擢 二擢 三擢
八擢櫓で飛ばしや
さつと上つた
鯨の潮の
潮のあちらに
朝日が昇る

(二)
エッサ エッサ エッサ
押し切る腕は
みごと黒がね
その黒がねを
波はためそと
ドンと突きあたる
ドンとドンとドンと
ドンと突きあたる

(三)
風に帆綱を
きりゝとしめて
舵を廻せば
舳はおごる
おごる舳に
身をなげかけりや
夢は出船の
港へ戻る

薩摩琵琶

臺灣入
宮本まさ子

皇の御稜威は四方に輝きて清國遂に和議を請ひ臺灣島を獻上し合戰茲に治まれる君が御代こそ目出度けれ臺灣島の土賊共龍車に向ひ蟷螂の斧を揮ふと聞へしかば征討の師をぞ向はさる
近衛兵の精鋭を率ゐて御渡海召されしは陸軍中將大勳位北白川の宮とて金枝玉葉の御身なり三貂角の御上陸蓽營ありし其跡に木を削りてぞ記さるゝ炎熱燒が如き日に三貂大嶺の嶮岨をば馬にも召さず越え給ひ大雨頻りに降る時も濡にぞ濡れて進まるゝ士卒之に感激し病兵さへも立上り命を惜まず進軍す所々の壘に籠りたる賊兵共の射出す彈丸は雨か霰か白雪の降り注ぐが如くにて砲煙暗く天を蔽ひ百雷齊しく落つるに似たり
宮は矢石を冒しつゝ突貫せよと下知あれば川村少將、小島大佐を初めとし勇み立つたる近衛兵我先にと奮進し賊の本營に突いて入る賊兵之に氣をのまれ右往左往に逃散りて降參するするもの數知れず大砲小銃の戰利品山を築かむ許りにて勝鬨どつと揚げければ宮は此時
悠々として基隆城へぞ入らせ給ふ斯て六月十日には臺灣城を陷れ七月新竹を占領しあくる八月に化臺灣兩府を定め十月初めつ臺灣として進まるゝ天熱く瘴癘多く地嶮しくして糧食紀に辛萬苦の其中に宮は士卒と食ち責は汗馬に鞭を揚げ夜は荒野露營して戎衣の袖に月をやどし國の爲君のため平定の策をめぐらし給ふ
御痛はしやかなしやな竹の園生の御身にて餘りに艱苦を積ませ給ひ遂に病にかゝらせ給ふ日々に重らせ給ふにぞ御供の人々うち驚き都へ還らせ給ふやう切に御諫め申せども宮はいつかなきこし召さず我ちはたとへ臺灣の土となればとて官軍の將として賊徒平定を見ぬうちは
われのみ士卒を打ちすてゝいかで都に歸らむとかごに召されて進ませらる御臨終の其際に賊徒平定ときこし召し宮はにっこと打笑み給ひ萬歳と唯一聲叫び給ひし計りにて敢なく天に登らせ給ふ
臺北悠々仁政成　皇軍到處湧歡聲
旭光將被臺南地　磯彼渠魁安萬生
と宮のうたひ給ひし如く盛功偉烈後の世に輝き渡るぞありがたき北白川の水は逝きて還られど月影ながくすみ渡り光は代々にながるらん光は代々にながるらむ

無病長生は 物心兩道より(下)
大連醫院長　守中清

以上述べましたやうな現象に對しては現今の醫學は如何にこれを解釋するかと申しますと、人間精神の宿つて居る處は大腦でありますがこの大腦から直接出て身體の各部に分布してゐる神經に腦脊髓神經といふのがありまして、此れは主として皮膚の知覺と筋肉の運動とを司どつて居ります、大腦の神經ろから植物性神經と名付けられて居りますが、此の神經が又大腦の神經と連絡がありまして大腦の精神の影響を受けるのであります
……

保健食の單價?
彌生高女　今西ツネノ

私共が健康を維持する爲に必要な食物を榮養素の配合と分量とを合理的にして一體何錢位で出來るものかと大きい期待をもつて給食にのぞみました、保健食の價格や一〇〇カロリーを得るための食品の價格などは書物にもよく出て居りますがそれは皆内地での物價を標準にしたものでしたが今度大連での物價を基準にしたものを得ましたから御參考までに獻立と一人宛價格とを記ることに致します

今日の 榮養學では人間は一日に約二千五百カロリーを攝取することを必要とされて居りますから一食まづ八〇〇カロリー乃至九〇〇カロリーが標準と思ひますけれど生徒から考へると三度の食事中晝飯は一番大切でまた一番美味しく頂くのですから少しく分量を多くしていつも千カロリーを標準と致しました

一、ちらし壽司(かしわ卵子燒、油揚、干瓢、椎茸、人參、蓮根)奈良漬、酢生姜、單價十二錢六厘
二、黄粉俵にぎり　梅干、蒲鉾とこんにやく、うま煮、大根卽席漬、單價七錢三厘
三、鰆の照燒　いんげんバタ炒り菠薐草の浸物、酢生姜、單價七錢四厘
四、カレーライス(牛肉、玉葱、人參、馬鈴薯、グリンピース)福神漬、單價六錢四厘
五、野菜と肉團子のうま煮　菠薐草の胡麻和へ、澤庵、單價六錢五厘
六、かき揚げ(豚肉、青いんげん、さつま芋、人參)うづら豆のふくめ煮、澤庵、單價六錢六厘
七、旨煮(牛肉、人參、里芋、牛蒡)清汁(三つ葉、かまぼこ)小蕪の卽席漬、單價六錢九厘
八、オムレツ　ほうれん草胡麻和へ、澤庵、單價七錢八厘
九、コロッケ　いんげん豆の胡麻和へ、奈良漬、單價六錢八厘
十、稻荷すし、鰆の附燒、奈良漬　單價八錢三厘

隨分お安いやうですがこの中には燃料と水道料は計算して居りません材料と調味品だけで御座います、これを御覽になれば

一家の 食物費の豫算は直に立つと思ひますが、考へて頂かなくてはならないのは食物は數が多くなればなるほど單價が安くなるといふことです、八十人の臺所より五人の臺所は單價が多少高くなることは事實です燃料と水道料を加へて十錢とみれば大丈夫と思ひます、すると私共は一日三十錢になります、勿論これには人件費も營業費も器具の破損費なども加へてないのですが……六錢五厘のライスカレーを二十錢も出して喰べて居ることがいかに不經濟かお判りになると思ひます

雷太郎物語
まさもと作　河野久畫　(25)

一 眞黒い奴が手をゆるめたので雷太郎は起上りました「おれお前のお父さんだよ。雷だよ」「え、お父さん」

滿日各地版

石版　活版　滿日印刷所

時局の間隙に乘じ 不逞鮮人團の活躍
邦農から暴虐をつくして强奪 勢力の擴張に躍進

【撫順】同胞二十餘名を虐殺した國民府系「鮮匪」の惡逆が突如暴露されるに至つた事迹に至るまでの經緯を調査するに想像以上に不逞鮮人團暴虐の數々が次から次へと展開されてゐる既報の如く紛糾せる時局の間隙に乘じ支那兵匪と通謀各勢力擴大に手段を選ばざる共產系乃至民族主義を旗幟とする國民府系不逞鮮人の

跋扈　跳梁は同方面に日本官憲の手の及ばざるを奇貨とし各不逞結社の勢力挽回に狂奔してゐるが共產系は寧ろ北滿に主力を注ぎ撫順背後地新濱、清源、通化、桓仁各縣には今や國民府系不逞鮮人團が特に兇猛なる活躍をなすに至つた、而も彼等の想定敵は日本官憲なりとし着々勢力伸張に狂奔してゐる

その方法は興京に彼等の本部を置き前記各縣邦農一戶から一名以上の團員を强制加入せしむると共に元國民府員にして現在その黨籍を脱せるものをも强制召集不可思議と思はれる位多數兵器彈藥を手に入れ大集團的武力團としてその陣容を整へてゐるそれと共に支那兵匪に掠奪されつゝ日毎の食料もない位窮迫せる邦農各一戶から義務金と稱して金十圓乃至數十圓を生命に脅威を與へて

强要　しつゝある爲に邦農は搾取掠奪の八方責に遭ひ結氷期を眼前に薄衣の老幼男女相携いて日官憲の手の届く撫順等へ續々と避難し出したので彼等鮮匪の魔手は避難邦農出郷防止策を執るに至つた

その理由は純朴營々働く事より知らぬ邦農が滿鐵沿線等に避難しつくす事は彼等唯一の財源杜絕に至る故各縣大小各部落邦農何れも十戶を相互連帶責任とし內數戶が避難した殘餘の各戶に絕對責任を負はす命令を發し人類本然の要求たる生命に危險の及ばざる地帶を求めんとする邦農の行動を阻止させだに虐げの底にある邦農は今や全く渡滿以來、始めての窮境に陷るに至つた、純良なる邦農にこの壓迫を加へつゝある鮮匪も何れは日官憲の討伐を豫期し各要所に見張團員を

派遣　巧妙なるスパイ等に依つて警戒怠りなきと共に若し日官憲來らば敢然是を邀擊すべしと豪語してゐる、殊に看過し難きは右國民府の命令に背く者は事情の如何を問はず反動派として會譯なく銃殺に處しこく最近通化縣下に於て十八名新濱縣下その他で十名三十人近くの邦農が彼等鮮匪の爲め銃殺された事實が暴露されるに至つたのである

邦農歸鄕

【撫順】新濱、淸源各縣下その他より兵匪並に鮮匪に永年の耕地を追はれ命からがら撫順へ避難して來た邦農の內民會のみに收容せる數三十日現在遂に五百名を突破するに至つた、彼等邦農は假に時局納まつても歸農する意思既になく朝鮮に歸鄕し度い希望者續出撫順署では民會と協議旅費を支給三十日夜行にて第一回六十名を朝鮮に送還した

營口避難鮮人

【營口】滿洲事變突發以來牛莊領事館管內各地に居住の避難鮮人の總數は百〇七戶五百七十五名、內營口新市街の收容人員三百十九名營市街二本町其他に散在收容人員二百五十六名なるが右は何れも直に衣食に窮するものゝみにして是等は外務省に於て統一救濟することゝなり領事館に於て善處しつゝあるところなるが避難の報傳はると共に各方面共甚大なる同情を寄せ救濟金の寄贈、衣服、食料の給與又は慰問の辭を寄するもの多く軍及び奉天總領事館よりは高粱二百五十袋、牛肉罐詰四百六十九箇、干濱物十袋、毛布七十枚、東亞日報社よりは衣類一梱包、金五百圓也營口善後委員會、參百圓也匿名有志、衣服三梱包、避難同胞問題協會營口市民より衣服多數其他多數物品の寄贈ありて避難同胞鮮人は感淚に咽にんで居る

「籾は捨てゝ置け」
警官隊の搬出救援に 外務省からのお達し

【鐵嶺】過般鐵嶺軍警討伐隊出動して激烈なる戰鬪を交へ匪賊を掃蕩し窮地の鮮農を救助したる開原縣下施家堡子には今尙三千石の籾が殘されてあり其中一千石は匪賊の爲めに燒き棄てられたるも尙二千石ありこれが搬出は

鮮農の　ためには生命に次ぐ重大問題であり彼等は一刻も早く搬出したき希望を持ち警察署でも其心情を憐れみ殘留籾搬出救援隊を組織すべく關東廳に申請して其承認を得四平街開原より警察官の應援を求めて出動準備全く整ひ外務省からの承認を待ち鮮農達も蘇生の思ひして外務省の命令を鶴首してゐたところ如何なる理由によるものか去る二十六日附を以て救援隊出動に及ばずとの命令到着し遂に警察側の計畫は中止となり殘留籾は成行に委せ放擲せざるを得なくなつた、今の場合此の問題は鮮農達の死活問題であり粒々

辛苦の　收穫物を放擲するは死にまさる思ひありと悲嘆の淚

鐵嶺忠魂碑 盛大なる除幕式
九百餘の英靈を安置

【鐵嶺】鐵嶺忠魂碑の除幕式報告祭並に納骨移靈祭は豫定の如く二十九日午前十時半より執行されたがこれより先過去二十餘年の間朝夕供養怠らざりし西本願寺では日露戰役當時鐵嶺附近に於て戰病沒せる九百餘名の遺骨に對し各宗僧侶滿鐵沿線布教師等列席して遷座法要を嚴修し辰巳會員遺骨を捧げ前田祭典委員長先導して忠魂碑前に到り遺骨は別室に

安置　して除幕式並に報告祭を執行十一時遺骨を忠魂碑納骨祠に納め移靈祭を執行した、碑前には種々の獻饌あり參列者は各委員學生軍隊各團體等數百名に達し三時間近き儀式嚴寒にも拘らず一糸亂れず婦人達までよく堪へて誠に嚴粛な式典であつた、木下衛戍病院長、田所守備大隊長の祝辭朗讀、本庄關東軍司令官、關東長官滿鐵總裁以下各方面から祝電が寄せられ最後に佛式法要あり午後一時式を閉ぢた、忠魂碑の文字は既報の如く本庄關東軍司令官の揮毫であり塔の

高さ　地上より四十四尺三寸五分あり納骨祠は最下部九尺角の面積ありて日露戰役病沒勇士を始め殉職警察官及び今次の事變に戰死せる勇士の遺骨を納めてある、工事は八月四日地鎭祭を行ひ二十日より着手十月三十一日完成し工費三千三十一圓、基金は在鐵官民寄附金二千六百二十四圓餘、滿鐵からの補助金四百圓であつた、工事使傭人夫延人員一千四百六十人を要し公園境內の一隅儼然と聳ゆる守護神は鐵嶺の一偉觀である

鐵嶺忠魂碑の除幕式

奮戰激戰七十日 鐵嶺工兵隊歸る
驛頭の熱狂的歡迎

【鐵嶺】九月十八日日支事變勃發の翌未明鐵嶺を出動した花井工兵中隊は奉天から長驅長春より吉林に出動し更に旋軍今回の激戰中心地だつた嫩江に於て赫々たる武名を轟かせ遠くチ、ハルに入城東大營に滯陣してゐたが既報の如く廿七日某方面に出動任務を帶び廿八日午後五時半在鐵官民多數の見送りを受け萬歲の聲渦卷く鐵嶺驛を通過南行したが奉天到着後時局急轉し某方面出動中止となり原駐地歸還を命ぜられて廿九日朝出動後七十日目に凱旋した、鐵嶺市民は早朝なりしにも拘らず此勇士達を迎えんと驛頭に殺到し歡呼の聲天地を搖がせ熱狂的な歡迎をなした、花井中隊長以下將兵何れも雪やけの顏に一杯の元氣を見せ步武堂々懷しの兵營に入つたがチチハル附近の戰鬪に名譽の戰死を遂げた平井一等兵の遺骨も戰友に護られて到着し歡迎官民の淚を誘つた、因に平井一等兵の遺骨は工兵隊將校集會所に安置されてあり近く告別式執行の筈

營口驛頭の 感激的光景
營口部歸る

【營口】步兵第〇〇聯隊第〇大隊〇〇名は既電の如く三十日午後六時十分着の臨時列車にて來着したが驛頭には在鄕軍人分會、警察署、警備團、小學校生徒、各官衙會社等營口全市の官民は擧げて驛頭に集り軍隊歡迎の熱誠を表し一度にどつと湧き起る萬歲の歡聲は天地もゆるがんばかりの盛況であつた迎ふる者も迎へらるゝ者も皆一種言ふべからざるの感に打たれて劇的シーンを現出し全市民は翌朝各戶に國旗を揭げて歡迎の意を表し滿街狂せんばかりの歡迎振りであつたが警備團在鄕軍人分會各區長其他の宿營係員は割當て家屋に一々案內するなど多忙を極め同七時

遺骨を送る兵隊さんに 無名婦人の獻身的世話
奉天驛頭の美しい光景

【奉天】戰死者の遺骨が卅日朝奉天驛に到着の際零下七度の寒中もめげず兵隊さんのため我身を忘れてサービスを捧げた婦人の美擧……チチハル攻擊で戰死せる旅順駐屯の井上大尉以下卅一名の遺骨が卅日午前十一時着臨時列車で戰友に護られ奉天に到着した際驛は見送り人その他の人々で大混雜を呈したその間篤志婦人十數名は軍人に對して水筒に水を入れたり飲ませたり我子の如くいたはつてゐるその中で四十になる一婦人は二人の女の子をつれて來て零下七度の寒さに足袋も穿かせずホームに立たせ震へてゐるのも省みず一生懸命に飯盒を洗つたり水筒に茶を入れたりして目覺しく働いてゐた見るに見かねた驛員は

お心づくしは有難いが子供さんが震へて可愛さうでならぬ

と云へばその婦人は早速その子供を驛の待合室に待たせて置いて又も一人で出て來て甲斐々々しい献身的サービス振りに一同は淚を流さぬばかりに感激してゐた

大馬賊團移動

【鞍山】千山派出所よりの密偵の談によれば李氏房附近にありし天德、東洋の率ゐる二百餘名の大馬賊團は同部落の趙某家屋に放火し二十九日午後十二時頃中所屯信號所北方の鐵道線路を橫斷し西方に向ひ東関山子方面にある由同派出所では直に同方面に密偵を派し調査中

公安隊と交戰

【鞍山】二十日午後二時頃櫻桃園採鑛所東方約一里半の空心臺部落に於て千山より逃走中の匪賊約二十名が晝食中を七嶺子及び王家堡子の公安隊員が探知し目下交戰中であると

石頭城の匪賊

【鳳凰城】去る二十一日石頭城附近に於て狂暴の限りをつくし高島警官隊のため擊退された徐文海の率ゐる匪賊の一團二百餘名は其の後梨樹甸子に根據を構へ盛んに策動してゐるが現に余は錦州政府の命令のもとに今尙鳳城縣公安大隊長であると豪語し布告を附近各所に貼出してゐると

安東に强盜

【安東】頻々としての强盜出沒に安東署では犯人逮捕に努力を擲つてゐる矢先の二十八日午後五時半頃安東縣北第四區第六〇號安東驛運轉保線助手方に拳銃所持の四名組の强盜押入り留守中の妻女孫氏を脅迫小洋七十二圓金指輪三個合計百二十圓を强奪し何れにか逃走した此の報に接した安東署に於ては直に非常召集を行ひ犯人搜査中

村長等を脅迫

【鳳凰城】二十八日當地西南方約一里半の大梨子に於て頭目李福田の馬賊の一團現はれ村長其の他を脅迫しつゝありとの急報あり當地警察北里警部補以下五名は守備隊松田中尉の一隊四十二名と連絡を取り午後三時半同地に急行し賊團を擊退した

馬賊を銃殺

【鞍山】去る十九日千山西方十五六町の螞蟻屯自警團に逮捕された馬賊頭目北國の副頭目黑龍の親戚解福林(二〇)は千山襲擊の密偵と判明したので三十日八卦溝李公安分局長の下に護送し山本警部補立會の下に午後一時銃殺の刑に處した

三名組辻强盜

【撫順】廿九日午後五時龍鳳部落鮮人金用玉(三〇)が第二洼砂坑北方五百米の地點を通行中三名組辻强盜現はれ金品强奪逃走

映畫と講演

滿鐵沿線に在る軍隊、警察官慰問及び一般公衆のため本社では關東軍司令部附滿鐵弘報係寫眞班の撮影にかゝる皇軍活動の實況映畫「滿洲破邪行五卷」を各地に於て上映し同時に本社記者時局講演會を左の如く催すことにしました

映畫『滿洲破邪行』

- 奉天　三日　午後五時から警察署講堂で軍人及警官に對し無料公開、八時から滿鐵社員倶樂部で一般公開(一般公開の分は場內整理として金十錢宛申受けます)
- 長春　四日　長春高女講堂
- 撫順　五日
- 安東　六日　永安小學校で

時局講演　本社從軍記者　森義夫

主催　滿洲日報社

撫順守備隊 歸る

【撫順】某方面に出動すべく既報二十七日午前二時三十分奉天より命令を受け急遽臨時列車で赴奉集〇大隊に編成され同日午前九時北寧線〇〇に於て錦州方面より北上せし敵の裝甲列車の猛擊に遭ひ克く是を擊退〇〇地點を占領爾來同附近一帶の守備に當つてゐた撫順守備隊主力は二十九日午前八時十分一兵の負傷者もなく歸隊した、因にその間克く任務をつくした撫順防備隊は二十九日午後二時解散

勇敢な田中巡査 匪賊と格鬪逮捕
十里河驛附近に賊

【遼陽】十里河驛東南方の孤樹子の農家李某は廿九日午後三時頃特產物を附屬地に持ち來り之を大洋二百元に賣渡し歸途附屬地から約五支里を離れた頃二人組の匪賊現はれ拳銃と支那刀を突付け所持金を强奪逃走中なる旨派出所に訴へ出でたので田中巡査は李巡捕と共に追跡せるに賊は交界溝と稱する部落に逃げ込み田中巡査に發砲せる爲め同巡査もこに應戰漸次接近格鬪の上一名を逮捕したが他の一名は部落民家に潜伏せるが被害者の申立に依り稍人相も判明搜査中同部落での無賴漢である孫吉海方に潜伏中なるを突止め抵抗するを物ともせず格鬪の末之又逮捕したが匪賊の使用した拳銃と被害金は李某方に隱匿し居る旨申立たるを以て本署から警三十日私事隊が出動搜査せるも支那刀のみ發見拳銃と現金は預つた李某が持逃げしたもの如くであつたと尙逮捕した賊の自白する處に依れば賊の同類は十一名であると

この緊張 この敏速
警官隊出動の エピソート

【長春】これは憲兵隊の應援出動のエピソート奉天方面が極度の緊張をした二十七日のこと長春憲兵分隊に憲兵の應援派遣命令が奉天から着したのが午後四時十分頃だつた板野分隊長は直に東伍長(公主嶺から長春へ應援に來てゐた)と金澤上等兵とに速急命令を發した、處が兩憲兵が外勤から何も知らず分隊に歸つたのは四時半發の急行に僅か七分餘を殘すといふ押し迫つた時間であつた、赴命令を聞いた私服勤務の兩氏は制服制帽から拳銃、劍、長靴全部を抱たまゝ自動車に乘つて驛へ馳せつけ動き出した列車にやつと間に合つた、この敏速な活動は平素の訓練の賜ものだが如何に緊張してるかゞ窺はれる

軍隊にラヂオ

【大石橋】當地大石橋電燈株式會社專務甲斐氏は本日大石橋守備步兵第三大隊を訪れ今回の滿洲事變に活動する軍隊慰問のためラヂオ一個を大石橋電燈會社の名に於て寄贈した

外國武官一行

【長春】外國武官一行六名は廿九日夜八時半着列車で來長ヤマトホテルに一泊したが三十日吉林視察のため往復一日發ハルピン經由チチハルに赴く豫定

少年團一行

【長春】三島少年團長一行はチチハル戰に於て凜々しい後方勤務を手傳つたが三十日午後十時發列車で歸長南下した

沿線往來

- ▲大森滿鐵理事　卅日朝來奉
- ▲首藤滿鐵理事　卅日內地より歸奉
- ▲津久井三井大連支店長　卅日來奉
- ▲川上代議士　廿九日來奉
- ▲岩井少將　二十九日來遼三十日歸遼
- ▲國岸遼陽地方事務所長　三十日急行で奉天から歸遼
- ▲小野寺淸雄氏(鞍山地方事務所長)二日鞍山着任の筈
- ▲松田進氏(鞍山地方事務所地方係長)二日着任の筈
- ▲加賀雅二氏(前營口水電社長)四日離營一旦旅順に立寄り十日ばいかる丸で伊勢の津市に赴き同地で約二ケ月滯在、再び旅順乃木町二ノ三一に寄寓する豫定
- ▲竹島氏(鮮銀營口支店長)四日着任の筈

行くあてもなく彷ふ支那避難民の群々

沈着ぶりを示してゐる我居留民

天津にて　加藤特派員發

廿九日午前三時両岸いまだ暗りなりとはれ不安な暗雲に閉された天津在留五千の同胞の安否を知るべく白河遡行を決行する、乗水塘沽運輸出張所長の厚意で比治山丸が出動、折柄の月明をあび記者を乗せた比治山丸は裝甲艇『さゝがけ』とガッチリ巾を合せ白河の濁流を蹴つてグン／＼滿潮に乗つたまゝ遡つて行く、未明の河風は何處かに針で突く様な痛さを肌におぼえる、一行は乗水大尉をはじめ驅逐艦「あさがほ」の乗組水兵數名と守備の歩兵とで物々しい旅立ちだ、裝甲艇の機關銃は艇がかけてあるキラリ／＼銃身が底強く目につく、幾曲りして午前四時塘沽を過ぎる「あれが支那兵の居るところだ」西艦長の指す方にボーッと薄明の中で盛んに焚火を明滅させてゐる、一同俄に緊張、眼だけを丸窓からのぞかせてゐると「何んだ我兜か」でホッとさせるなぞ緊張しきつた空氣のうちにも何處かにパン／＼と射撃でも仕掛けたらと云ふ氣持が漸然と沸いてくる、同處は最初の天津事變當時比治山丸が兵匪の暴彈を浴びたところであると更に楊樹と蘆のおひかぶさつた河岸を眺め乍ら約一時間ぶつた頃に、こゝにも約一ケ旅團の支那兵が居り常に監視を續け航行船舶を看視してゐると云ふ物騷なところだ、大過なく此處を過ぎると大丈夫と云ふ氣持がトロくさせる……午前七時半、船は天津に入つてゐるドイツ租界、英國租界、フランス租界を通つて數々の我等が群つどふあたりをすぎ萬國橋を無事越す、中原公司の高塔、支那街郵便局の赤い屋根、いづれも天津事變でそれぞうなづける建物が櫛比してゐる、日本租界に本船が着くと共にバラ／＼と銃付の兵卒が飛び込み陸軍御用品の積上げがまたゝく間に行はれる、記者は上陸と共に先づ最初胸を何か大きな力でドカンと打ち砕かれた様な驚異と無氣味な空氣をピリッと感じた天津の街並みに漂つてゐる薄氣味悪い冷めたい流れはどうだ、おもはず總身にグッと引き締りリュックサックを肩にゆり上げた、人ッ子ひとり通らないと云ひたいこの寂寞は緊張し切つ端つまつた天津の街を物語る只一つの形容詞だ、シーンとしてゐる町家で店を開いてゐるものは一軒もない、時折義勇兵のカーキ色の制服と「何時でも來い」と頑張つてゐる歩哨の姿位だ、たまたま通行人があつたとしても燃える様な戰ひ氣分に避けて通りたい壓迫を感じる**今天津は駐屯軍、義勇軍、民團の人々それに新しい力として歡迎されてゐる陸戰隊の〇〇〇名によつて涙ぐましい様な共同攻防陣が作りあげられてゐる**、街並に義友會、守備隊本部などの掛看板が如何に切迫した空氣をはらんで居るかを裏書してゐる、廿九日午前四時半より一時間に亘り再び猛烈な銃火を交したと云ふがそのせいか午後に迫ると共に支那側避難者の群が行くあてもなくウロ／＼してゐるのはむしろ悲慘の極である、その點日本在留民は再度の事では可成りその沈着ぶりと秩序立つた統制ぶりは外國人賞讃の的となつてゐる倘事變再發當夜の如何に物凄い交戰であつたかは一體天津が何處に飛ばされるかと思つた位で百雷一時に落つの有様であつたと

日本租界の夜

皆はもう疲れ切つてゐる

新しい威力が欲しい

二十九日、夜に入ると共に天津はあたかも死の都を思はせる様な無氣味なベールに覆はれてしまふ、支那街との境界線近くは全くの眞の闇だ、人ッ子一人通らない、眞黒な道角にうづ高く土嚢が築きあげられキリッとした歩哨の凄いまなこが必ず光つてゐる、特に通行許可證をうけて自動車を眞暗な島街をわが衛光寺司令部に走らせる、時々ヘッドライトが照し出す町並はピッタリ大戸をおろしシーンとしてしまつて全く墓場の様な靜けさだ、しかしそれは爆發する前の火藥の様なもので一寸突つけばどんな力で爆發するか解らない廿六日夜來の支那側の猛烈な挑戰ぶりは言語道斷の沙汰でそれに對する我軍の正々堂々たる應戰ぶりは各國ともに賞讃してゐる、それから三日目だ**まだく何處かに危險がはらんでゐる、緊張すればする程不安の念はます／＼つのる、天津の夜の日租界を歩いて痛感した事は既に一ケ月に垂んとする間不眠不休の我が駐屯軍の犠牲的努力とその陰になり大きな力をなしてゐる義勇軍その他居留民の總てが疲れ切つてゐる事でどうしても新しい威力を加へなくては駄目だ天津居留五千の同胞にとつて今が最も重大なピンチである**、道すがら車にストップを命じ處衛角の歩哨に話かける「大した事はない樣じやないですか」すると「これでも時々何處から射つか解らない流れ彈がヒユーウン、ピユーウーと飛んで來る事がありますよ」自分は思はず首が縮まるやうな恐怖におびえた「こゝは靜かですが兵營方面には間斷的に撃ち込んで來てゐるやうです」しかしこの日からは總領事館の大英斷で境界線以外の街中には街燈が點ぜられたので一歩租界の奥深く這入ればくらやみの薄氣味悪さから逃れる事が出來る、自分は今その煌々と街燈に照し出された街道に立つて路上に人影の無くなつたガランとした諸影を見たが、更に自分は自分のみが取殘された者の様な寂寥を感じる、空の風に紙ぎれがクル／＼舞ひ上つてゐる

引揚げられた萬國橋

天津の不安

避難者の談

一日午後三時塘沽より入港した天潮丸で不安の天津より逃れて來た一等船客の山田龜代さんは天津の模様に就いて左の如く語る

私が立ちます三十日晩は鐵砲の音も聞えず平穏でした、併し二十六日以來といふもの皆の心配は一通りでなく私共も夜は窓に疊をたてかけて寝るといふ有様で毎夜びく／＼ものです、又困つたことには支那人のボーイや召使が怖れて皆出て行つて了つたことで今日本租界に四、五人も残つてゐませうか、子供のあるところなど實際困つてゐられます、店が全部閉つてゐるものですから食物に不自由でお米は何處でも買ひ貯めてゐますがお菜等には大困りです

たゞ感激！

獨立守備隊新入營兵

熱誠な見送裡に大連を出發

去る二十九日御用船〇〇〇丸で來連した獨立守備隊前期新入營兵は一日午前十時三十分の第一回輸送を皮切りに、同日午後三時二十分、同九時三十分、同十時の四回に亘り、芳賀輸送指揮官指揮の下に各々北上したが、各回ともプラットホームは見送り人に埋められ、日の丸の旗を打ちふり、軍歌を歌ひ萬歳を叫べば、出發軍人もまたこれに和し、感激に滿ちた熱狂裡に出發して[illegible]つ、帝國忠勇の守りにつくべく一路北上した（寫眞は大連驛出發列車の守備兵）

艦載戰闘機衝突

操縦者慘死

昨日横須賀沖の椿事

【横須賀一日發】一日午前九時三十分横須賀軍港碇泊中の航空母艦鳳翔の戰鬪機を以て近上空で空中戰闘演習中小川一等航空兵および井上大尉操縦の二三五號、二三九號の兩機は横須賀市外小柴沖二百米の地點約一千米の高度に於いて空中衝突し小川航空兵の搭乗機は火焰に包まれつゝ海中に墜落同氏は慘死、井上大尉は幸ひにも墜落の刹那落下傘で降下救助され負傷したのみであつた

大孤山附近に匪賊

我軍出動して交戰

鞍山署でも警官出動

一日午前十一時五十分大孤山派出所より匪賊約三十名探鐵所附近接地において自警團と交戰中との急報に接し鞍山署ではたゞちに非番員の召集を行ひ松本署長以下約四十名が歩兵砲機關銃を携へ十二時十五分發行電車にて、城前より出動した、また守備隊は長岡大尉以下約七十名が迫撃砲車、輕機關銃を携へ同車にて出動した、歩兵隊が現場に駈付け匪賊に應戰してモーゼル拳銃二挺を所持する有力なる賊目一名を射殺したので賊は四散し退却を始め千山青雲觀に引揚げた、わが警察隊および守備隊は之れを追撃したところ賊は猛射を浴せたので守備隊と共に總攻撃を始めた、先づ追撃砲を以つて地盤を打ち破り掩護射撃にて本隊前進、輕機關銃にて彈膝し手榴彈を投げ込み銃劍を以て突撃を舉げ突撃して匪賊二名を射殺したが賊には負傷者多數の見込み午後四時半大孤山に引揚げ時局委員會の炊き出しを喫し電車にて午後六時本署に引揚げた、自警團二名負傷し鞍山醫院にて加療中であるが生命に別條ない【鞍山電話】

旅順の西港から

湧出の淡水有望

關東廳技師實地調査

今夏旅順西港の一海底から淡水が湧出すると云ふので關東廳土木課淸水技師は多大の興趣を持ち研究中一日親く現場に赴き調査する處があつたが折悪しく風波強き爲め充分の調査を遂行する事が出來ず追つて再調査を行ふことにしたが氏の語る處に依ると

なか／＼面白いと思ひます、處は武田鹽田の内で四五個所が湧出してゐますが勿論淡水で然かも非常に軟かい混合物もなく高度も至つて低い水質を有し若し旅順に工業でも起ろうとすれば大したことに成ることゝ思はれます湧出の海底は大きな斷層に添うて出て來るもので相當の湧出力を持つてゐます

さあり之れに依つて見ると本淡水の活用如何に依つては旅順の工業上多大の變化を招來する事であらう

市民の慰問金

三十日沙河口、小崗子兩署を通じて目下北滿各地で活躍するわが軍隊及び警察官に對して左の諸氏より慰問金があつた

▲市内下葭町二番地山田乙治氏は本年十月豐橋歩兵第十八聯隊に入營した長男德君の入營祝として金三十圓を出動軍隊へ▲市内沙河口巳町廿九番に匪賊のため大石橋警察署にて勤務中殉職せる故河端巡査部長實姉河端よきさんより警察官並に軍隊へ各々五圓▲市内沙河口京町廿八金光敎一信者として自己の作製せるマスク百四個を慰問品として

運轉手就業停止

自動車事故防止策

自動車事故防止に對する關東廳の新方針として運轉手の嚴罰主義をもつて臨んでゐるが、最近大連署管内における事故發生の常習者五名に對し一日附關東長官から免許取消及び就業停止處分が發せられた、そのうちには十月廿九日黒礁屯三六三番地先で市の屎便車と衝突顚覆し乘客十二名の重輕傷者を出した滿電自動車部甲種運轉手山崎邊三（二）に對し就業停止四十日間處分も含まれてゐる

◇

市内淡路町三九番地櫻タクシー方乙種運轉手菅原實（二九）は去月五日正隆前で支那人に衝突重傷を負はせ免許取消處分に

◇

トキワ融會運轉手、市内富久町八三番地張永（二）は今日まで科料九回罰金一回に處せられた常習者で免許取消さる

◇

トキワ融會運轉手、市内惠比須町四四番地新村一夫（二七）は去月二十二日伊勢町上宮幸男（二七）を轢き傷し約三十七尺引摺つて重傷を負はせ就業停止四十日間

◇

太陽タクシー運轉手、市内明治町三番地藤座誠（二九）は去月廿六日山手町で衛車挽揚世廣（三〇）に衝突肋骨三本を折つた廉により就業停止四十日間に處せられた

▲市内常盤町連鎖會館女給一同去る廿九日開店當日の總チップ收入廿圓を寄贈▲市内新起街廿一金融業田中眞夫氏軍隊へ三十圓警察官に二十圓

忘れられぬ留置場の味

卅日午後八時ごろ大連署司法係へ十歳位の支那少年が出頭し「家にゐてもご飯も食べられぬから留置場へ入れて下さい」と志願するので當直の吉富警部補が取調ると市内播津町一四二番地車夫張發順の長男玉中（一〇）といひ數日前友人と三人で近江町滿鐵消費組合分配所へ忍び入り物品二圓五十錢を窃取大連署に逮捕されたが、その時の留置場の味が忘れられず結局寒さと餓に惱まされてゐるより家庭より留置場入りを志願したものと判り父親を呼び出し引き取らせた

行進歌練習

今夕本社講堂にて

わが社主催で六日擧行の護國祈願祭に合唱すべき行進歌村岡樂童氏作詩作曲「奮ひ立つべき時は來ぬ」は二日午後六時半より滿日講堂に於て第二回の練習することになつた

滿鐵從業員襲撃さる

巨流河に馬賊

一日午前十一時半ごろ巨流河新民間に於て馬賊のために破壊された電線修理中の滿鐵從事員は十數名よりなる匪賊に襲撃されたので新民守備隊より一個小隊現地に急行した、なほ守備隊は二十七日の装甲車襲撃事件および新民に於けるわが歩哨射撃事件など續々たる敵對行爲に不眠不休の活動をつゞけてゐる【奉天電話】

離婚訴訟新判例

慰藉料は女からの事

【大阪一日發】大阪市東淀川區濱本進（二）は同區三浦屋武原靜子（二）と昨年一月結納調ひ事實上の夫婦として同棲してゐたところ同年十二月女は實家に行つた儘歸らず裁判となつたが結婚破綻の責任は男の經濟力無能にあるとの非常に近代的な抗辯をしたが裁判所は男に生活の意志があり又女に虐待を加へた事實も無いのに去つた以上結婚の履行不能にしたのは女だとの認定で慰藉料三百圓結婚費用二百六十七圓七十五錢結納金百圓の支拂を女に命ずる旨の判決を下した

船客吸引戰術

禁酒の米國で成功

【東京一日發】米國では遊覧船客激減で船主は青息吐息でホワイトライン、キューナード等では碇泊中三、四日客を集め領海外を巡航し留み次第酒を賣るので押すな／＼の滿員、他の船主は不滿だが禁酒法なきため手がつかず今議會に之が停止法を出そうと奔走中

金華號の火事

一日午後二時五十分埠頭第六バースに繫留せる太古洋行扱ひの金華號煙突横より發火せるを第一埠頭係員が發見し直に埠頭消防隊、大連消防隊より駈つけ消火に努めたところ同三時二十分鎮火した原因は同船火夫が買ひ入れた薪二百七十本を煙突の傍らに積み上げておいたものが煙突の火熱の爲め燃え

立川京城間に交互飛行實施

【立川一日發】立川飛行第〇聯隊では時局重大の折柄萬一に備へるため二日より七日迄第一第二兩大隊交互に立川京城間航程二千八百五十キロの長距離空中航方飛行を實施する事となつた

苦力即死

一日午前七時五分埠頭構内第二埠頭第六番線で山東省生れ福昌華工苦力張義財（二六）は機關手廣井保之助の操縦する二百十三號機關車に跳ね飛ばされ即死した

南天棒師

滿洲駐屯軍慰問使として目下來滿中の乃木山道場總裁南天棒平松亮卿師一行は卅日旅順に於て戰蹟視察をなしたが一日來連午前中本社を訪問した

桑山畫伯個展

南支北滿上海スケッチ行脚を終え近々半歳にわたる佳品五十點を以て一日二日滿鐵社員クラブに於て個展開催

安樂椅子

「安樂椅子が消へた話」滿鐵々道部伊藤鐵道課長の部屋にはこれまで身體も深々と訪問者を全く好い氣持にさせる安樂椅子があつた、それが最近何處へともなく姿を消して後にはあの伊藤課長の眞黒な元氣な顔そつくりな頑丈極まる椅子が置かれた「何が安樂椅子をそう甦らせたか」

◇

事變以來伊藤課長は文字通り眼の廻る忙しさ、それに最近は營業課長までを兼務し退社時間は午後八時が普通である、そこでそんな苦勢は訪問者は一向に御存知なく時に安樂椅子の座り心地に誘惑されてウツラ／＼たる人が現はれやうとも限らぬ

◇

と心配したのは記者だが、この推測は課長室附のタイピスト小野嬢も強て否定はしないから全然嘘でないことを保證する

曙の鐘 (126)

倉田潮　河野想多畫

短刀（三）

あけみが一言云ふことがあると申出ると、署長は少しためらつたが
「では、署へ來て云つて下さい」
と云ひ殘して部屋を出た。その後で巡査は總ての人を室外に送り出し、死體一個を殘して其の部屋に封印をかけた。
署長は署につくと、關係人一同の到着するのを待つ間に、兇器その他の證據品を各その受持ちに分け、精細な科學檢査をして貰ふことにした。
そこへ巡査と共に大山家の殆ど總ての人が自動車で到着した。署長はあけみだけを除いて、他の總ての者を審査課に廻し、あけみだけを己の部屋に呼びつけた。
あけみは呼び出されると、平然と署長の前に步みよつた。父が殺されたと云ふのに、取り亂したところなぞ一點も見せなかつた。署長は男まさりの其の態度に先づ好意を感じて
「先程あなたが私に云ひ度いことがあると仰有つたので、取りしらべと別に私自身あなたの其の云ひ度いと云ふことを耳に入れて置かうと存じて御呼びしました」
と寧ろ署長の方が少しかたくなつたやうにぎごちない調子で云つた。
「さうですか」とあけみは鳥渡考へこむやうな風をしたが、直ぐきつとなつてハッキリした言葉でかう云つた「私は公人としてのあなたにでなく、私人としてのあなたに一つの御願ひがあるのですわ。もう御承知かも知れませんが、私の父大山剛太郎は世間的に云つて十分非難さる可き性格の所有者でした。が、死んだ以上このことだけは成る可く父の爲め佛の爲めに世間に發表したくないのですの。外のことは——父を殺したのが其の方であつたにしろ、さう云ふことは發表せねばならないことですから、いくら公然と發表してもかまひませんが、發表せずにもすむこと——卽ち大山剛太郎の過去の風儉な生活だけは成る可く新聞關係の人に申さないで下さいませんか」
「そんなことは私からは決して申しません。また係の人へも成る可く祕密にするやうに、さう申しておきませう」
「さうですか、私、ほんとに嬉しうございますわ」
とあけみは揉手と云つたやうに手をさすつて喜んだ。
そこへ取りしらべのかかりらしい部長が這入つて來て、署長を廊下に呼び出して報告を初めた。大山剛太郎の亂れた素行と、今度の事件の經緯であるらしかつた。壁をへだててゐるのに、あけみの落ちついた心には二人の話聲が時々ハッキリ聞こえて來た。最後に部長は「大山の家から連行して來た者の取りしらべは終つたし、別に怪しいものも其の中にはゐないらしいから、一と先づ歸宅を許さうと思ふが何うか」と署長の意見を求めた。
「さうだな。ぢや、ここにゐる長女のあけみと云ふ女を一應取りしらべて、一緒に歸してやつたがよい」
と署長は云つて、最後に可成り大きい聲で附け加へた。
「親父に似合はず、なかなかしつかりした女だ」
部長は部屋に戻つて來て、あけみを取りしらべ室に連れて行つた。あけみは「事件の夜洋館には行つてゐたが、犯行については何も知らなかつた」と答へて直許された。が、その部屋を出た時、彼女は壯三の狂つたやうな聲が入口の方から聞こえて來るのを知つて、顏をしかめて立止まつた。その顏には明に心の苦みが現れてゐた、が
「犧牲になつて貰ふより仕方がないわ」
と口の中で云つて、氣味惡く笑ひながら步き出した。

新刊紹介

▲陸軍全兵器寫眞集（小林勇發行）從來兵器は科學の粹を萃めその尖端の軌跡を辿つて來てゐる、若し萬人がこれに十分の注意と理解とを持たずその知識を求めることに冷淡に過したならば國防上誠に寒心に堪へない、本書は從來のこれらの書と異り十分な努力を以て材料の蒐集に努力され、專門家の嚴密なる科學的知識を常識化平易化されて軍事科學の知識を一般に知らしめるに最も適當であると考へる、これによつて直接軍に携はるものも一般國民も兵器の知識に關して得るところ甚大であらう（價七十錢、東京市神田區一ツ橋通九鐵塔書院發行）

▲支那（十一月號）滿洲事變と國際聯盟（根岸佶）國際政治學上より觀たる滿蒙問題（神川彦松）國際聯盟は犯罪人の隱家に非ず（大卯山次郎）在滿鮮人問題の重大性（星野桂吾）支那の民衆教育（竹之内安巳）對日宣戰勝算あり（梁永凱）日支交通の資料的考察　水野梅曉）價四十錢、東京市麹町區三年町一番地東亞同文會調査編纂部

▲滿鐵調査月報（第十一號）調査及、研究、資料、時事雜錄、法令等（價五十錢、大連市紀伊町九一中日文化協會取次販賣）

▲ソウエート聯邦事情（十一月號）ソ聯最近の對西歐關係と滿洲事變、日露關係と滿洲事變、ソ聯の對支關係と滿洲事變、ソ聯政府及黨中央機關紙の論調（滿洲事變に對する）東支鐵道營業成績（價五十錢、大連市紀伊町九一中日文化協會取次販賣）

▲露亞時報（第一四四號）價五十錢、北滿哈爾濱道裡東經緯街四號哈爾濱商品陳列館

▲水鳥（十二月號）價三十五錢、大阪市南區南炭屋町和田内水鳥社

▲合萌（十二月號）價二十錢、大連市柳町三番地滿洲短歌會

▲つはもの（第三百二十號）價四錢、東京牛込區原町三ノ八つはもの社

けふの放送

大連 JQAK　十二月二日

▲午前七時　ラヂオ體操
▲午後六時五十分　ニュース
▲英語講座「テキスト第三十三課」大連神明高等女學校山田長三郎
▲ヴアイオリン獨奏(イ)「カンツオアネツタ、二長調司伴樂第二樂章」(ケヤイコフスキー作)(ロ)「チヤンソン・クリステ」(チヤイコフスキー作)滿鐵音樂會阿部武夫、ピアノ伴奏吉村千代子
▲長唄「八犬傳」唄杵屋榮多賀、三味線同六榮
▲浪花節「乃木將軍」現代雲
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK

十二月二日午後六時三十分
▲講演（大阪より）「滿蒙問題の經濟的考察」經濟學博士作田莊一
▲薩摩琵琶「常陸丸」齋藤岳峰
▲獨唱「長唄越後獅子」アルト四家文子、伴奏伶明和洋合奏團指揮町田嘉章
▲連續講談「幡隨院長兵衞」（第二席）神田伯山

滿洲日報

撤兵、調査委員派遣の決議案受諾可能

日支代表正式宣言を發表

【パリ三十日發至急報】芳澤、施肇基日支兩國代表は今日それぞれ日本軍漸次撤退並に支那調査委員任命に關する理事會決議案を急速に受諾する可能性を示せる正式宣言を發表した

日本代表宣言要旨

【パリ三十日發】理事會決議案に關する日本側の公式宣言は左の如し

日本は聯盟の日支紛爭に關する決議案に對し若しそれが馬賊その他の不法分子に對する自衛行動につき日本の要望を滿たす豫示的條項（プリコーションナリークローズ）を規定するものにあるならばこれを受諾する用意有るものである

支那代表聲明要旨

【パリ三十日發】本日支那代表部は若し日本軍が遼河以東に撤退したとの報道が事實なりとすれば支那代表部は理事會に對する用意ありとし左の如く聲明した

若し日本軍が錦州方面より撤退し遼河以東に後退したとの報道が事實なる事判明すれば、支那は日本軍の完全なる撤退を要求する事なく滿洲問題解決に關して理事會の決議案を受諾する用意を有するものである

匪賊討伐に對しては わが軍の行動自由を主張

【パリ三十日發】本日の決議案起草委員會は午前十一時開會施肇基代表も出席午後一時まで決議案を討論更に午後四時より再開、再び伊藤述史氏が出席一時間に亘り討議を行つた、之に先立ち伊藤氏は昨夜起草委員會議長に對し決議草案に關する日本政府よりの訓令を認めた覺書の飜譯を手交した後、理事會代表にも配布されん事を求めたが、本日の委員會においては右覺書を中心に討議をなした、覺書の内容は調査委員會の機能に對する日本の立場を明かにし且つ匪賊に對する日本軍の行動の自由を主張したものである、而して本日の討議の結果は僅に一個の問題、即ち匪賊に對する自由行動の議題が未解決に殘されたものと觀てゐる、而してこの難關も決議案の全文に之を言及する事に依つて除去されるものとみられてをりその他の未解決の點は概して障碍にならぬものと觀測される

撤兵問題の修正承認

決議案起草委員會の形勢

【パリ三十日發】目下起草委員會「一に懸つてゐる決議文草案は水曜日「一に草案し非公式に發表されてゐるが、起草委員會における討議の狀況は左の如し

一、第一點は九月三十日の理事會決議を繰返してゐるが**撤兵に關する點は日本の修正を承認**されてゐる

一、第二點は**戰鬪行爲に關するイニシエチーブを執らぬこと**、司令官に命令することゝ、事態の擴大防止等が要點となつてゐるも、司令官に對する命令の點は日本の主張通り削除し理事會議長の宣言中に入る模樣

一、第三點、兩國政府は事件發展につき理事會に情報を送る事

赤十字看護婦、滿洲へ出發 一日本赤十字社から滿洲に派遣される看護婦廿名は廿七日午後一時より東京芝の本社前に甲斐々々しく婦長高橋たかのさん以下勢ぞろひし明夜出發戰地へ臨む事になつた【寫眞は赤十字本社前にて】

直接交渉に不干渉

日本のオブザーバー反對にブリアン議長釋明

【パリ三十日發】理事會の一般空氣は日本の中立地帶オブザーバー設置反對により再び紛糾して來たが芳澤代表は昨夜ブリアン議長との會見で再び日本の態度を力說したが其後ブリアン議長は芳澤代表宛發せられた書翰を本日左の如く公表された

余は理事會提案に關し何等か誤解あるものと思考する、理事會提案は日支紛爭の直接解決し得るものを第三國に依つて解決せんとするものでなく、危險な事態において執る或方法であつて之は錦州において對峙して居る兩軍の戰鬪を避け人命の損傷を避けんとする例外のものであつて、之は日本政府が將來支那政府に提出すべき最も廣汎なる提案を何等害する事なく實行出來るものであると思ふ、支那の提案は國際軍派遣を含んでゐたが理事會は之を困難と思惟し之が代案を提出したのである

一兩日中に公開會議

【パリ三十日發】聯盟理事會の日支紛爭に關する決議案起草委員會は三十日日支兩代表が右決議案受諾の可能性につきそれぞれ公式の說明をなした結果、俄に活氣づき**一日は終日に亘つて文案の完了に努力**することゝなり、これがため十二ケ國秘密理事會も一日は會合を休み專ら起草を急がしめ出來れば**二日遲くも三日には公開理事會を開き右決議案を可決し波瀾多かりし理事會に一段落**を與ふることゝなつた

中立地帶設置問題

聯盟の干與には反對

參謀本部首腦部の意見一致

【東京一日發】參謀本部は三十日午後四時首腦部會議を開き錦州、天津方面に對する軍部の方針につき種々協議した結果

一、錦州方面に中立地帶或は緩衝地帶設定の根本趣旨には贊成するも聯盟がこれに干與することは日支直接交渉に牴觸する種々の不都合な點少なからざるためこれを實現せんとせば日支直接交渉を鐵則とし且つ支那軍の關內撤兵を條件とす

二、天津方面も自衛權の發動を餘儀なくせらるれば軍事行動を執るも今のところ支那側の行動は著しく發展してゐない、しかし充分の準備の下に深甚の考慮を拂はねばならぬ

旨に意見一致し六時半散會した

一、第四點、理事國は現場で蒐集せる情報を理事會へ送る事

一、第五點、支那に調査委員を派遣する點につき議長の宣言は議長の自由に委すべきだが本日まで決定せる件左の如し

一、兩國政府が特に調査を要求する事あらば理事會に申出られたし

一、調査委員會は必要の場合理事會に報告して可なり

滿洲問題の解決の方針

南京外交部長顧維鈞氏の聲明

【南京三十日發】外交部長顧維鈞氏は本日左の聲明を發した

余は現下の國難に際し國民黨幹部及特別外交委員會と協力して邦家の利益擁護のため最善を盡す決心なり、目前の急務は滿洲問題で、余は正義の原則と東洋永遠の平和を基礎とし國際聯盟並に關係友邦と協力し支那の領土保全に奮闘す、依つて吾人は自衛行動の準備を怠らぬと共に平和解決のあらゆる方法を講究せん【寫眞は顧部長】

秘密理事會

修正案協議

【パリ三十日發】聯盟十二ケ國秘密理事會は卅日午後五時四十分開會、決議案起草委員會の進行狀況日本の第二項修正要求の強硬なる事等につきブリアン議長より報告を受け對策を協議し午後六時五十分散會した

國際的支持を

施代表希望

【パリ三十日發】本日決議起草委員會と支那代表施肇基氏との會見において日本側が支那の受諾すといつてゐる錦州不攻擊の日本の誓約をもつと強いものにするかといふ事が討議されたが、施代表は或種の國際的支持を得たいと述べたと傳へらる

蔣氏、主席代理を汪精衞氏に依頼

汪氏は婉曲に辭退す

二十九日蔣介石氏は汪精衞氏に對し速かに南京に來り余に代つて政府の主席並に行政委員長を代理して貰ひたいことを申出で汪氏來れば自分は北上したいと稱してゐるが汪氏は自己の立場上今急に南京に行くことは廣東政府の承認を得なければならぬと婉曲に辭退してゐる【奉天電話】

錦州以東の張學良軍

きのふ約二倍に増加

錦州以東に兵を増加しつゝあり三十日列車に滿載して東方に輸送せる兵力は廿九日に比較して約倍である

偵察たちの確認せる情報を綜合するに張學良は依然として錦州以東に兵を増加しつゝあり三十日列車に滿載して東方に輸送せる兵力は廿九日に比較して約倍である、この増兵は何れも列車生活を續けてをり移動性を持つてゐる【奉天電話】

舊吉林軍將領續々歸順

農安駐屯の吉林騎兵旅團長常堯...

自動車路を完成

錦州へ兵を輸送

張學良の對日戰備

背信の支那軍隊

事毎に日本を敵視

天津邦人成行を警戒

【天津特電一日發】支那側は頻りに支那街の對日陣地を撤去してゐるが一方

段氏を盟主として北平に新政權

策源地は天津佛租界

王樹常、學銘益々反日

【天津特電一日發】王樹常は頻りに對日敵對行爲を辭めて居るが學銘は依然としてその態度を改め...

チチハル部隊交代

馬占山軍と再び相對す

天津事件を抗議

重光公使顧部長に

天津の支那兵が我航行權を蹂躙

與黨、増税に反對

藏相は増税案を固執

明年度公債發行額

三億二千萬圓に上らん

參議官、司令長官親補式を御擧行

けふ宮中鳳凰間にて

【東京一日發】軍事參議官並に司令長官の親補式は一日午後一時三十分宮中鳳凰間において若槻首相侍立の上行はせられ、在京の山本大角の兩大將及び小林中將に天皇陛下より順次親補の勅語を賜り若槻首相からそれぞれ職記を授けられ地方在職中の山梨、野村、中村、末次四中將の職記は内...

高松宮殿下

海軍砲術學校御入學

海軍大尉大勳位 宣仁親王

海軍砲術學校高等科學生

海軍異動

（一日附）

海軍將士にも續々慰問品

教育會派遣員講演終る

帝國新聞社長 內海安吉氏

北平排日感情激化

東北艦隊革命未だ表面化せず

事實無根

假協定調印

駐屯部隊の在營延期

施行範圍を改正

馬占山が強制募兵

濱縣臨時政府自滅か

徐軍進擊を馬占山阻止說

失言問題落着

蛇角

『東亞の鐘』休載

旅順聯隊戰死者に驛頭感謝の涙
けさ戰友に護られて大連驛に着く

昂々溪附近の激戰に於て名譽の戰死を遂げた旅順歩兵第三十聯隊の井上中尉以下三十一勇士の遺骨は榎本中佐以下十七名の戰友に護られて一日午前七時の十八列車で大連驛着、直に

靈柩車 のみを旅順線百一列車に連結し同七時四十五分旅順に向つた、朔風吹き荒ぶ北滿の原野に力戰力鬪、斃れて護國の鬼神となつた勇士の遺骨を出迎えんとする市民は未だ明け切らぬ午前六時半頃より大連驛に參集し降車ホーム並に旅順線ホームは市民並に各團體旗、校旗、會旗によつて埋められた、午前七時肅々とホームに入つた十八列車の機關車直後に靈柩者は連結されてゐたが「昂々溪附近戰鬪戰歿者、歩兵第三十聯隊、靈柩車」と記した白木の札を眺めては出迎の市民一同思はず

敬禮を せずにはゐられなかつた、靈柩車を百一列車に連結後出迎への公私各機關代表者並に各團體代表者に靈柩車内の燒香が許された、既に幾度か戰歿勇士の遺骨を出迎へ戰傷者を迎へたことではあるが香煙立ち罩めた靈柩車の内勇士の遺骨を並べた祭壇の前に立つては更に新たなる感謝さ感激に燒香する手はふるへ自から目に涙の浮び來るのを禁じ得なかつた、午前七時四十五分遺骨車は感謝にむせぶ多數市民の見送りのうちに再び榎本中佐以下の戰友に護られて旅順へと急いだ

遺族の姿痛ましく
悲しき勇士を迎へる
遺骨は旅順驛から偕行社へ

勇士の遺骨を乘せた列車は一日午前九時十分旅順驛着、驛頭には塚本長官、大谷司令官、津田第二遣外艦隊司令官を始め在旅文武官、各團體、學校生徒、一般市民約四千名はプラットホームより朝日町西側に堵列、嚴肅裡に下車、榎本中佐の挨拶の後警察官、騎馬憲兵二騎前驅に先頭に戰友に捧持されたる遺骨、次に徳田大佐、榎本中佐、井上、岡村、水口各遺族が自動車にて、續いて各團體旗、町内旗が肅々と乃木町大通りを經て偕行社に到着、十一時より在旅各宗僧侶により官民參列の上讀經回向が行はれたが、英靈に接して切々たる思ひに胸を打たれてゐた出迎へ人一同は更に遺族の痛々しい姿を見ては流れ出る涙を禁じ得なかつた、なほ一日晝間は在旅陸海軍將校婦人團によつて英靈は護られ夜間は在郷軍人旅順分會、青聯義勇警備團員によつて通夜が營まれ二日以後は歸還出發まで市民交互通夜が營まれる筈であるが、市を中心とする慰靈祭は五日午後一時より昭和園において執行されることゝなつた

遺骨歸國日取

一日到着した歩兵三十聯隊戰歿者の遺骨は全部一先づ原隊に歸還する筈であるが、歸還日取りは二日に協議決定する筈である

遺骨を迎へた旅順驛頭

滿鐵社員の奮鬪に續々謝電

十一月廿三日チチハルに駐在してゐた多門師團長から滿鐵總裁宛左記鄭重な謝電があつた

御懇電を謝す、困難なる鐵道輸送に關る貴社現業員各位の熱誠なる援助に對し其の勞苦を感謝す

また鐵道同志會長根津嘉一郎氏から滿鐵總裁宛左記の通り慰問電報があつた

滿蒙に事端を發せし以來貴社員一同日夜危險を冒し寒威と戰ひ粉骨碎身帝國の威信と權益の擁護とに盡瘁せらるゝ御勞苦に對し深甚の謝意を表す、今や貴社の使命益々重きを加ふるに當り邦家の爲貴社御一同の御健康を祈ると共に益々御奮鬪あらんことを希ふ、右全國鐵道軌道會社を代表し謹んで御慰問申上ぐ

戰死者陞叙
四將校餘榮に浴す

【東京一日發】支那事變戰死者に對し左の如く陞任及び特旨叙位の御沙汰があつた

騎兵第二聯隊附 騎兵少尉 吉澤留吉
任騎兵中尉叙從七位

歩兵第七十八聯隊 歩兵少佐 衣笠繁一
關東軍輜重兵少佐 川野寛一
叙正六位（各通）

工兵第二十大隊 工兵少尉 阪本健三
任工兵中尉叙從七位

けさ重任へ
元氣潑剌と出發
各地の守備隊初年兵

來連中の獨立守備隊前期新入營兵の中第一回輸送の公主嶺第一大隊第二、三中隊九十三名、長春同大隊第四中隊四十七名、大石橋第三大隊第二、三中隊九十四名、鞍山第四大隊第一中隊四十七名、安東同大隊第四中隊四十六名、合計三百二十七名は輸送指揮官芳賀長春守備隊長に統率され一日午前十時三十分發列車で北行した、驛頭には宇島民政署長、小川市長、山西滿鐵理事、各警察署長、在郷軍人、市會議員、區長および各學校生徒、各團體、その他多數市民見送り各自日の丸の國旗を打ち振り熱狂裡に萬歳を絶叫すれば出發の軍隊もまたこれに應へ元氣潑剌として出發した

練習艦隊參觀

練習艦隊旗艦磐手及び戰艦淺間の二艦は五日午前仁川より來連入港九日まで碇泊するが、五日午後より八日午前まで日本人の身許確實なる者に限り艦内參觀を許可される、磐手は丙埠頭三十七番、淺間は第四埠頭三十八番に着けられるが、團體參觀希望者は磐手に架設された滿鐵電話三一二二番宛申込まれたしと

眞綿は各一個づゝ
在滿將士に賜はる
農林省で目下謹製中

【東京三十日發】野口皇后宮事務官謹話 兩陛下には酷寒の野に活動する將兵を勞らせらるゝ思召しから眞綿御下賜の御沙汰があつたので目下農林省に依賴して謹製中であるが眞綿は將兵に一個づゝあたる筈で陸軍省を經由し傳達の筈

伏見宮大妃殿下 金一封を御下賜

【東京一日發】愛國婦人會副總裁伏見宮大妃殿下には滿洲派遣軍將士御慰問の思召しから總裁宮の御資格で三十日同會事務總長を通じて金一封を御下賜遊ばされた

擧國一致の眞心!
一儲け當て込んで來た品を投出して自分は彈丸を運ぶ
『愛國エピソート』

約十日間に亙りチチハルに出張中であつた滿鐵地方部人事係主任武田胤雄氏は一日朝歸連したが語る 今度の黒龍江省軍との戰爭で皇軍が現はした威力は既に周知のことであるが非戰鬪員である滿鐵社員や一般在留邦人の蔭の努力も非常なもので軍部方面でも口を極めて讃めてゐた、擧國一致の強さを今度ほど感じたことはない、これは中谷警務局長の話であるが内地の或カフエー經營者が滿洲事變をあてこんで來滿し果物やその他色々な料理の材料を多量に仕入れて奥地に入り込まうとした時偶然今度の戰に遭つた、その男は戰が始まるや自分の持つて來た商賣用の食物は全部投げ出して兵隊さんに贈り、自分は彈丸運びなどを手傳つた、その男が後で述懷して「私のこれまで歩いた道は間違つてゐた、私ははじめて日本人としての喜びを感じた」と言つたさうだ、まだチチハルの支那人は日本軍の秩序正しいのに感心をし皆安心して商賣にいそしんでゐた、黒龍江軍側で觀戰してゐた外國武官は日本の突擊の勇猛敏速を口を極めて賞めてゐた

全國を遊說する
滿鐵の講演と映畫班

【東京特電一日發】「當面せる滿蒙の危局を打開し、友誼と協調との可能なる新關係を設定せんがためには、この機會に於て萬難を排除し、吾國の滿蒙に於ける指導的地位を確立せざるべからず、之がためには何よりも先づ國論の大乘的結束こそ刻下の急務である」といふ見地から滿鐵及び東亞經濟調査局に於ては滿蒙の事情に精通せる左記九氏を選拔し四班に分ち十一月二十九日東京出發、全國に亙り滿洲事變大講演會行脚の途に就いたが、これに對し軍部方面でもこの計畫に贊成し、一行に加はることゝなり滿鐵守備の實情より、滿蒙の眞相を說明することゝなつた、又同時に事變映畫をも上映する筈である、尚各班人名、並に講演地左の如し

▲第一班 八木沼丈夫、永迫正男（若松、新潟、高田、新發田、秋田、弘前、青森、盛岡、仙臺、福島、米澤、山形）

▲第二班 石岡武、村田愁（甲府、松本、長野、上田、浦和、高崎、前橋、宇都宮、水戸、沼津、靜岡、濱松、豐橋、名古屋、岐阜）

▲第三班 石原秋朗、渡邊諒（富山、高岡、金澤、福井、敦賀、舞鶴、京都、大津、奈良、津、鳥取、松江）

▲第四班 佐藤貞治郎、中島信一、片岡鐵介（神戸、姫路、岡山、尾ノ道、廣島、下關、高松、松山、徳島、和歌山）

北滿の勇士
雪の長春に歸還
城内を行進し南嶺へ

寒風凜烈たる昂々溪戰に參加して名譽の殊勳を樹てた第○○聯隊歩兵主力隊は一日午前七時三十五分臨時列車で雪の長春驛に到着、驛頭は歡喜と感激で迎へられた人も迎へた人も嬉し淚が光つた、ホームは旗の波、劍の林、實に形容の出來ない場面で凍てつく寒さも何處へやら吹きとばされた賑やかさであつた、驛前廣場に整列後の主力は同八時四十五分隊伍堂々昨朝來引續き降り積んだ雪を踏んで長春城内通過二里餘を徒歩で南嶺の兵營に向つた、なほ一部は吉長吉敦の鐵道警備に當つてゐた公主嶺の守備隊と交代して鐵道守備の任についた【長春電話】

時局に備へ
全旅順射擊大會
來る六日に聯隊射擊場で

旅順では時局柄一般市民に射擊訓練を施して萬一の際に備へんとて在郷軍人分會及び關東廳體育研究所が率先主催して來る六日（雨天暴風の時は開會前白玉山に大國旗を揭げ中止を報じ十三日擧行）午前九時より舊市街歩兵聯隊射擊大會を開催する參加者は

第一班在郷軍人分會員、第二班中學生、青訓生、第三班大學々生々徒、第四班青年警備隊員、第五班一般市民

とし分會員以外の者は老幼男女會費十錢を出せば係員が銃の取扱ひ射擊方法等一切懇切に說明指導することになつてゐるので當日は誰でも出場射擊されたいと希望してゐる

なほ各班毎に一等より十等迄の入賞者には夫々賞品を授與する筈で射擊方法は二百米突十圈的發射彈五發、姿勢は伏射又は依托、使用銃は分會員はモーゼル歩兵銃、其他は歩兵銃で時局柄極めて適切なる試みとして好評を博してゐるので當日は定めて參加者も多く盛會を豫想されてゐる

振ひ立つラガー
滿鐵對大倶戰を催して入場料を獻金する

時局に奮起した滿洲體育團體聯盟は既報の如く來る六日午前八時半より大連神社にて結團式を行ひ後本社主催の護國祈願祭に參加し大いに氣勢を擧げることゝなつたが同聯盟の一員たる滿洲ラグビー協會では西部ラグビー協會の了解を得て同日午後一時半より大連運動場に於て大連滿鐵對大連倶樂部のラグビー戰を擧行し同入場料を聯盟に寄附し聯盟では同寄附金を獻金及び慰問金となすことに決定した、なほ入場料は金十錢であるが愛國の人々は奮つて寄附參觀せられたしと

大孤山で交戰中
匪賊と公安隊

一日午前十一時五十分大孤山採鑛所東方にて匪賊と公安隊と交戰中の急報に接し鞍山署では非番巡査を非常召集して運行電車に便乘し討伐に出動した【鞍山電話】

井杉氏弔慰金

井杉延太郎氏弔慰金はその後左の通り寄贈があつた

▲十圓相生由太郎氏、福昌公司工事部▲五圓清水本之助氏▲二十七圓鞍山有志各位（鞍山在郷軍人會分會、上阪清新氏、藤津甚一氏、戸上榮氏、川瀬由之介氏、伊藤忠房氏、木村廣吉氏、村山哲男氏、福井眞氏、相馬時太郎氏、河野通徳氏、武井定一氏、植田勝政氏、大八木周吉氏、藤井仁作氏、古川用氏、吉川泰氏、田川鐵藏氏▲一圓早川國輿氏▲小計金五十三圓也▲累計金六百十二圓也

三島團長赴奉

日本少年團長三島子爵は防寒具に身をかため一日午前八時三十分發列車で南下奉天に向つたが一兩日滯奉の上チチハルに於て濺ぐましい活躍を續けてゐた團員を引率赴連の筈である、なほ驛頭には長春健兒團多數の見送りがあつた【長春電話】

花代値下
ごう裁くか
調停案は一蹴

藝妓置屋と料理屋待合側との間で紛糾に紛糾を重ねてゐる三業組合花代値下げ問題はその後組合顧問大津、加藤兩氏が調停に立ち双方斡旋の勞を執つた結果、約束花十本四圓二十錢で折合つては如何との調停案を提出双方の諒解を求むるところあつたが料理屋待合側では、さきに總會に於て十本四圓を決議し監督官廳に認可を受けんとしてゐる矢先、たとへ顧問案といへどこれに應ずる場合は最高機關たる總會決議を輕視することゝなり將來悪例を殘す重大な結果を招來するといふので反對說多く、遂に顧問の調停も甲斐なく組合は近く決議に基き十本四圓案によつて大連署の認可を受けることになるらしく、大連署の裁斷は注目されてゐる

不信、奇怪極まる
支那軍を監視せよ
天津居留民の猛運動
一日天津にて 加藤特派員發

わが軍の支那側二度目の挑戰に徹底的な應戰ぶりは全く敵を沈默せしめ今や支那側は自ら掘つた墓穴に片足をつき込んでゐる有樣だ、然し未だ天津居留民の胸の何處かには薄氣味惡い不安な氣持が逃れない、その後に來るものは何か、今や居留民一同は血の出るやうな思ひで今日までわが國威の墮落ゆるものを犧牲として鬪つて來た經緯を靜觀し更に確乎たる對支策の決行を熱烈希望してゐる、例の白旗を揭げる戰法は未だに公然と行はれてゐる、相手がたゞ王の名に於て絶對無抵抗を誓つたその日既に我陸戰隊搭乘の御用船が白河に於て暴戾な支那兵の奇怪な攻擊を受け北平に於ては爆彈騷ぎを惹起してゐる、斯の如く全く信のおけない支那側に對しては假へ一時平靜に復したといへどあくまでこれを監視する必要がある、この意味から天津在留民から選拔された義勇軍、在郷軍人團は國家のために在留民のために今や猛烈な運動を起し各方面の諒解を得、更に輿論の喚起に務めてゐる、三十日午後在郷軍人團はその第一擊を内地に向け打電することゝなつた

急派部隊天津着
我租界に入る

【天津特電一日發】天津に急派された○○部隊は一日午前九時英租界碼頭に上陸し同十時五十分居留民の熱烈な出迎へと萬歳の聲裡に堂々日本租界に入り直に領事館構

の廣場に集結しつゝあり義勇隊は一兩三日中に解隊のはずである

增兵を語り
久振りの笑ひ聲
吉報相次ぎ漸く平靜

【天津特電一日發】再びの砲擊に驚愕し門戸を閉ざした天津日本租界も四日目頃から義勇隊の解散說が傳へられ支那側防禦線の撤退が報ぜられ幾分平靜に復し支那街はぼつぼつ通行の人の姿を見漸くホッとしたといふ態だが更に天津在留民を喜ばせ安心させたものは第○○隊の增兵である、今や警備のため新に來津の軍隊の噂で何れの家庭も樂しい笑ひ聲が聞えもう大丈夫、これからは今まで失つた權威の償ひのため大きな希望を以て平和の鬪ひに勝たねばならぬと意氣込んでゐる、なほ增兵軍○○隊は一日午前十時イギリス租界に上陸隊伍を整へ天津に入ると

射擊を止め頗る平穩
增兵に縮上る

【天津一日發】我陸海軍の增援に縮上つたか支那兵の射擊はぱつたり止み昨夜も極めて平穩であつた第一線警備に就いた陸戰隊將士も些か拍子拔けの形だ、本日午後一時から我軍部代表は支那街の防禦施設撤去と武裝保安隊の撤退狀況を實地視察する

天氣豫報

二日 北西の風（晴）

各地温度

地名	一日午前十一時	三十日最低
大連	零下二、二	〇、〇
旅順	同一、四	〇、七
營口	同四、八	零下八、一
奉天	同六、二	同一〇、七
長春	同一〇、〇	同一三、三

けふの小洋相場（正午） 金百圓は二二七圓九〇錢

護國祈願祭協議會開催

護國祈願祭擧行に關する協議會は二日午後一時から本社會議室で開催致します、參加各團體代表者は同時刻までに是非共御來會下さい

暗流阿修羅館 (259)

生田蝶介　挿畫 藤井耕造

及傷（三）

キネマと演藝

軍隊慰問の映寫隊

活動寫眞協會から派遣

零下三十度の極寒滿洲の野に活躍してゐるわが忠勇な將士た慰安の…

遭難同胞救濟義捐映畫會

基督教聯合婦人會が主催し「日本廿六聖人」を上映

日本廿六聖人

新棋戰

土居八段講評

買物ニュース

支那水災附加税 大連での徴收遲る

關税保護の增税主旨でない限り 一時的增税に止らう

大連海關における中國水災救濟のための輸出入關税附加税徴收問題に就ては一日より實施の筈であつたので三十日福本海關長は關東廳に出頭のうへ右實施に關し正式に同廳の承認を求め告示方を要求した、而して右附加税は現在の輸出入税に對して明夏八月迄は一割、八月以降は五分を新たに增徴するもので、この結果は昨年度に於てさへ大連一千二百萬兩、營口二百萬兩、安東三百萬兩、計一千七百萬兩に達する關税收入があつてゐるので海關では年額約百五十萬兩の增收を見るわけであるが、關東廳では種々調査事項もあることゝて要求通りの實施不可能で兩三日後になる模樣である、尚右につき河相關東廳外事課長は語る

附加税にしろ中國政府が海關税として徴收するのだつたらそれは支那の自由になつてゐるので別に文句も云へない併し之は恐らく水災救濟の一時的附加税だらうし、そうでなくて若し永久に設定するといふのだつたら輸出入の減退となり從つて海關收入も減少する結果となるであらうから、支那側が關税保護の增税主旨でない限り一時的の增税に止るであらう

外務省から指令 到着次第承認されよう

福本大連海關長談

昨日關東廳を訪問し水災救濟附加税を一日より徴收するの件につき諒解を求めたのですが關東廳としては外務本省の指示を得るに非ざれば一存を以て承認することは出來ないとの事でしたこれは寔に無理からぬことでありますから私の方もその意を諒として直ちに上海總税務司に對し外務省の指示が到達し關東廳の承認を得るまでこゝ兩三日中は附加税の徴收が出來ない所以を打電しておきました、そんな譯で今日も徴收の告示は出來ないわけです、然しながら關東廳としても拒否するやうな事は先づない筈であると推測されるから外務省からの指令がつき次第その承認を得て明日にでも告示したいと思つて居ります

天津では布告

【天津特電一日發】十一月廿八日附政府の命令により天津海關は本月一日以降輸出入税並に沿岸貿易税に對し水害救濟附加税を徴收することゝなり布告を發した

貨客ともに激減

滿洲事變で蒙れる 大連汽船の打撃

大連汽船では滿洲事變の海運界に及ぼせる影響に就いて調査中であつたが、同社船舶の蒙れる打撃は左の如く排日排貨の結果、支那人貨物の輸送は皆無となり青島、上海航路の貨物十二分の一に激減を始めとしいづれも激減してゐる

▲大連青島上海線（大連丸、奉天丸、長春丸就航）この航路は現在月十一往復してゐるが事變前の一往復の積載貨物二千五百噸前後で月平均二萬七千噸あつたところ事變後排日の結果華商貨物は跡を斷ち最近一般海積載貨物二百噸位しかなく激減した、華人乘客もまた半減した

▲天津、芝罘、青島、上海線（天津丸、長平丸就航）該航路は月六回往復してゐるが事變前千五百噸の貨物は排日の結果二百噸平均に激減し華人貨物絶無となり乘客また六割減となつた

▲安東、大連、天津線（天潮丸、濟通丸就航）日貨低制の提唱あるも邦船不積には至らず、併し積荷二割減じた、乘客は北寧線不通により輻湊してゐる

貨物船の影響については左の如くである

▲上海には從來撫順炭の輸送最月平均六萬噸に上つてゐたが最近は華商荷受の撫順炭は全部杜絶し僅かに電燈會社、日清汽船その他邦人工場に向けられたもののみでこの頃月平均一萬七千噸に減じた、現在のところ積出は可能であるが何時荷揚人夫の强制罷業により積出不能になるやも圖られぬ不安あり

▲揚子江沿岸　從來撫順炭輸送月平均一萬噸あつたが今日寧波、廈門では一切荷受せず荷揚人夫また荷役を拒絶してゐる、現に過日所屬船神光丸が東北鑛務局の石炭を滿載して入港せるところ受荷主、出荷主、品物とも支那品に拘らず積載船が日本船といふ理由のみで荷揚を拒絶せる事實あり排日の勢力旺盛なるものである

▲漢口には撫順炭が從來から月平均三萬噸輸送してゐたが、長江の減水期を控え冬期貯炭の焦眉の急なる爲め今日まで排斥はない、既に十月中に十七隻六萬五千五百噸輸送の配船決定し內一萬七千噸（五隻）は輸送濟となつてゐる、併し十月一日以後の入貨に對して日貨登錄税として從價の一割五分を混税されることゝなつた爲め俄然荷受困難となり約定炭の契約廢棄をみるかも知れず憂慮されてゐる

▲香港、廣東方面　事變直後香港は一時荷役せられなかつたため輸送不能となつた華商貨物は全滅となつてゐる、その後中央國官憲の取締りにより撫順炭だけ荷受差支なし（從來撫順炭輸送最月平均四萬噸）となつたが依然として輸送遲滯してゐる、廣東向配船は荷役絶望となり配船停止した

委託販賣制に 値付取引を還元

日本柑橘中華輸出組合

日本柑橘中華輸出組合が大連における荷受組合との間に最近行ひ來つた値付取引は各種の缺陷を指摘され成績を疑はれてゐることを屢々詳報したがその後輸出組合では値付取引が實際上思はしくないのに鑑み斷然方針を改め十二月一日より委託販賣制に還元することになつた、今回の委託販賣は

埠頭渡　として委託手數料六分八厘である、そこで出荷主にとつては從來中央卸賣市場に上場の際は一割の手數料中五厘の步戻しを受けるに過ぎなかつたので遙かに有利なることいふまでもない而して問屋にとつても從來は一割の手數料中

出荷者への步戻し	五厘
仲買人への步戻し	一分六厘
卸賣組合精算費用	一分五厘
合計	三分六厘

を差引き手取り六分四厘だつたので新委託手數料手取りの方が四厘多く而も從來の如く荷揚げの手續が除かれるのでこれまた有利なるが如く見えるが實際はこれに反してゐる、といふのは荷受組合員の大部分は荷受後仲買人に販賣せざるを得ないのでその場合相當の

步戻し　を餘儀なくされず然も從前と違つて仲買人に對する貸倒れを相當見込まざるを得ないのみか當然組合費の負擔もあるからである、なほ元來輸出組合に加入せざる生產者も少からずこれらの柑橘類は依然として當方面の問屋に送り付けられるが問屋側ではこれらの荷受品については一割の手數料が得られるので自然輸出組合外の荷を熱心に捌き組合扱品は疎略にされるといふ點を見逃せないこれに對し輸出組合側では荷受組合に對し輸出組合以外の柑橘類を取扱はざるやう懇談してゐるがその目的を遂げることは至難のことに屬するであらう

日本炭の上海 輸移入漸次減退

これに反し支那炭出廻り旺盛

最近上海駐在商務參事官代理の報告によれば上海における日本炭の輸移入は漸次減退し去る十月中撫順炭を加へ約五萬噸と一と頃の夫れに比し四分の一に減じた、他方中國炭の出廻りは激增し開原炭十六萬、山東炭四萬、中國無煙二萬その他一萬五千及び鴻基海防二萬合計二十五萬五千噸と去る五月の最減少出廻り當時に比し實に十八萬噸を增加し邦炭の地盤に蠶食しつゝある、炭價は銀高ながら貯炭の減少と運賃高等にて聢り氣配であるが目先需要期に入りたるところこれ迄生糸工場の閉鎖並に水害及び對日經濟絶交に因る原料手當難等にて工場の閉鎖並に操短するもの多く消費減退せしに加へ中國炭出廻り順調にて目下のところ何とかやり繰出來る模樣なるも從來邦炭のみ使用せる工場は急に開平其他中國炭に代ゆることも相當困難らしく抗日會に對し種々運動行はれ居る現狀なるが該會にて之を許すや否や一般より成行注目さる

時局樂觀で 上海市場は好況

國民政府公債暴騰

【上海三十日發】暴落續きで實價の三分の一以下に落ちてゐた國民政府發行の公債は今日に至り日本軍の撤兵開始その他時局樂觀で一躍各公債とも四弗方以上放れ立會停止となつた其他爲替、株等も景氣附き圓爲替は百圓につき八兩方跳上つて百五十八兩となつたが爲替の反騰はロンドン市場の銀塊持籌の總投げ豫想も手傳つてゐる、一方金塊市場は久方振りで七百兩臺を演じ時局樂觀は早くも市場各方面に好影響を及ぼしてゐる

一千五百萬圓 あす更らに現送

累計二億九千六百五十萬圓 これを以て最後か

【東京特電一日發】正金の正貨現送は十月三日以來十一月三十日までに二億八千百五十萬圓に達したが、なほ十二月二日にも一千五百萬圓を現送するのでその累計は二億九千六百五十萬圓となる、而して日銀及び正金當局の言明に依ると正貨の現送はこれが最後であると

滿鐵當面の 資金繰りは安定

首藤理事の歸任談

首藤滿鐵理事は豫てシンジケート銀行團並に生保、證券會社方面より短期資金調達の用務を帶び東上中であつたが一日朝陸路歸任し左の如く語る

內地の金融市場の逼迫、梗塞ぶりは實に驚くべきものがある、何しろ先月來約二億四千萬圓の正貨が流出したのだから兌換券の收縮の程度も察せられる、それがために銀行方面の警戒は非常なもので、シンジケート銀行團に對し諒解を求めるため大阪にも行つたりしたが幸ひに滿鐵の特殊使命なり時局の重大性が理解されてゐるので千六百萬圓の融資をまとめることが出來たがこれが他の事業會社の場合だと到底銀行團の方で相手にしなかつただらうと思ふ、生保、證券方面へ申込んだ二千萬圓も借入れることが出來たしこれで先づ當面の滿鐵の資金繰りは安定することになつた

市內五市場 十月中賣上

前月に比して增加

十月中における市內五公設市場の賣上高は二十八萬二千九百十六圓にして前月に比し三千三百三十二圓を增加したが前年同期に比ぶれば二萬八千七百四十四圓を減じてゐる、各市場別による賣上高及び合計の前月、前年同期との對比左の如し（單位圓）

▲信濃町市場

野菜部	四五、九三二
魚類部	七二、六八八
肉類部	一六、三一六
食料雜貨部	二四、四一七
生鳥部	七、七七六
外雜部	三二、二四三
合計	一九九、三七四
前月	一九六、一三九
前年同期	二一七、六一九

▲小崗子市場

野菜部	四、二七一
魚類部	二、一四一
肉類部	三、八七五
食料雜貨部	八一[illegible]

朝鮮銀行券發行高

十一月二十七日現在、朝鮮銀行券發行高左の如し（單位圓）

發行高	八九、一三九、四一一
正貨準備	二九、七五二、七三〇
限外發行	九、三八六、六八一
補證準備	五〇、〇〇〇、〇〇〇

角野滿洲福紡專務

大連の工場檢査のため滯連中の滿洲福紡專務角野久造氏は一日午前十時出帆のはるびん丸にて歸神した

黄塵

◇…支那における日貨排斥は結局日本のみならず支那に取つても大苦痛であることは屢報の通りであるが最近の情報を綜合すると華商自身の窮迫はますます甚だしいらしい。

◇…卽ち多數の破產者續出しつゝあると共に現在華商側手持ちの日貨は八九千弗とみられ是等死藏日貨のため舊正前の決濟は無論不可能とみられ一大恐慌來を懸念されてゐるさうだ。

◇…この狀態では有力商民間に反日運動反對の聲が漸次昂まりつゝあるのも當然の成行きだらう

◇…國境なき經濟にそんな不自然な現象が永く續き得る筈はない日本側も餘り取越し苦勞をせずに今後は却つて日貨排斥終熄後における反動的需要に對する準備でもやつてゐる方が良さそうだ

支那水災 救濟附加税實施と 滿洲の特產物

負擔增加は幾何？（上）

支那政府は水災救濟附加税を愈々今一日から實施する旨を發表した、卽ち十二月一日から明年七月末日迄の支那輸移出入關税及沿岸貿易税に對して一割、更に八月以後は米國小麥借款に關する元利償還に充當し、その小麥購買代金の決濟が完了するまで五分の附加税を徴收するのである。右は屢報の通り國民政府が過般の長江一帶の水害救濟に要する費用一億元を、各方面よりの寄附金、公債發行及び賑外購入代金の支拂猶豫等によつて處理せんとしたのであつたがどうしても捗々しく行かないので遂に前記の案を樹て中央政治會議の決議を經、條例草案を去る十月三十一日附を以て立法院に回附したものである、從つて爾來同院に於て審議されつゝあつたが、遂に議案が中央政治會議に於てその原則を決定通過したことが報ぜられたとき既にわが官民の間には日貨排斥運動と共に容易ならぬものとして早くも頭痛の種を一つ增したのであつた。

…◇…

現下の日本は、實に世界的經濟恐慌激化のため高率關税の砲火の下に立たしめられその打撃は全面的に及んでゐるが、主として綿織物、絹織物等わが國の加工輸出品に甚だしい、高關税網を張る主なる國々を拾つてみても、最近のイギリス、佛國を始めとし、アルゼンチン、カナダ、濠洲、インド、南アフリカ、イタリー、シヤム、米國、トルコ等々で寔に威容堂々たるの觀がある。要するに世界的の不況が深刻化すると共に各國はそれぐ關税の障壁を高め、外國品の輸入を抑壓し國內產業の保護に全力を傾注する傾向が頗る濃厚となり露骨な手段が講ぜられるのである。支那今回の附加税徴收は國內產業保護の見地から出發したものではないにせよ、その性質如何を問はず貿易業者からみればその高關税の負擔は同じことであらねばならない。

…◇…

支那が既に關税自主權を獲得してゐる以上附加税を徴收するからとて今更文句は言へないわけだ。但し輸出入貿易の圓滑を期するためには貿易業者をして充分の準備を行はしめ關税增徴による損害を可及的に輕微ならしむるため相當の豫告期間を置くことが至當である。然るに今回の支那政府の救濟附加税の徴收は、例によつて例の如く十二月一日から實施するといふのに大連海關には十一月廿九日夜に電報が到着したといふ始末である。從つて大連海關としてはその設置假規則による特殊の事情により關東廳の諒解を求め、その承認を得るに非ざればこれが實施の告示をなすことが出來ないため、結局十一月三十日中にもその告示を出し得なかつたのである。これでは全く豫告期間が全くなく拔打的にバツサリやられたのも同然である。但し支那の關税增徴が拔打的であるのは今に始まつたことではない。曾て輸出附加税增徴の時でも輸出關税引上げの時でもそうであつた。

…◇…

ところが拔打的であるのは又單に支那ばかりではないやうだ。現にイギリスの如き去る廿五日から實施した關税は、關税引上見越しの輸入を防遏する緊急關税であつて從價十割以內を關税表第三種に屬するものに課せんとするものだが、來年中には正式に關税表に加へらるゝと言はれてゐる。これなども殆ど豫告期間を置かず拔打的に行はれたものゝ一つだ。又拔打的であると否とを問はず今や各國の間に殆ど最後的な關税戰が開かれようとしてゐるのは事實である。結局それが自殺的行爲だといふことを知りながら。

…◇…

わが井上藏相の如きも來議會に提出すべき關税改正案の立案方針につき「政府は從來國際間の常態的經濟事情を基礎として關税政策を實行し來つたが、最近のイギリスが金本位制を停止して以來、金輸出禁止の爲替下落によるダンピングが行はれ、各國の態度もまたこれに對應して著るしく保護關税政策に傾いてゐるから政府としては關税改正に當り右の事情を調査考慮して決定する筈である」と述べてゐる。關税改正が國內產業の保護と赤字對策に出發した增徴案であることは疑ふの餘地がない。政府は來議會に輸入農產物の關税引上並に新設を提案するらしい。滿洲特產物は曩に支那輸出税の改訂增徴によつて多大の打撃を受けたが、またその餘燼すらやまぬに水災救濟附加税を徴收され、更に半年を出ですして日本の輸入關税引上げの憂き目に逢着せんとしてゐるのだ。只內地輸入關税の引上については他の機會に讓ることゝしこゝでは今回の支那水災救濟輸出附加税徴收による滿洲特產物の負擔が幾何に達するかを檢討することにしたい。

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊	十八片十六分の十三
同　先物	十九片〇分〇
紐育銀塊	六十仙八分三
孟買銀塊	六十〇留比三分一
スチール	三十弗四分三
アナコンダ	十四弗四分一
英米爲替	三弗三十一仙〇分〇
米日爲替	四十九弗六十二仙
米支爲替	三十一弗八分七

棉花

●米棉

限月	値
現物	六仙三〇
十二月	六仙〇七
一月	六仙一三
三月	六仙二九
五月	六仙四四
七月	六仙五三
十月	六仙六九

●印棉

ベンゴール	一五三留比
ブローチ	一八四留比

特產

市況（一日）

大豆軟調 銀安關係で

今朝の定期は差したる材料はなが銀價の軟弱氣配を移して大豆、豆粕、豆油はそれぐ強調を辿り高粱は振はず弱合を呈した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇
一月末	三四九〇	三四九〇	三四九〇	三四九〇
二月末	三五〇〇	三五一〇	三五〇〇	三五一〇
三月末	三五三〇	三五三〇	三五三〇	三五三〇
四月末	三五四〇	三五四〇	三五四〇	三五四〇

出來高　二百十一車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一七三五	一七三五	一七三五	一七三五
一月限	一七四〇	一七四〇	一七四〇	一七四〇
二月限	一七六〇	一七六〇	一七六〇	一七六〇

出來高　六萬六千枚

▲豆油（強調）單位錢

▲高粱（弱合）單位厘

出來高　一萬七千圓

▲包米（出來不申）

出來高　四十八車

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）	四九八〇	五〇二〇
大豆（裸物）		
出來高	百二十車	
普通大豆（袋物）	四九二〇	四九六〇
大豆（裸物）		
出來高	五車	
豆粕	一七一〇	一七三〇
出來高	五萬枚	
豆油	一二三五	一二六〇
出來高	八千五百箱	
高粱	二八五〇	二八五〇
出來高	四車	
包米	三六五〇	三六五〇
出來高	五車	

定期喰合高（三十日帳入）

		前日對比 △印減
大豆	三五五二車	△六一二車
高粱	九三九車	△九一車
豆粕	三八九三千枚	六千枚
豆油	四四三〇百箱	二五百箱

錢鈔

材料區々 當市保合

今朝海外銀塊は倫敦近物十八片十六分の十三（十六分の五安）同先物十九片丁度（八分の三安）紐育二十八仙八分の三（一仙安）孟買…米日四十九弗六十二仙（同事）日米四十九弗十六分の十一（十六分の一高）

相場となるであらうが米財界の狀態をみては未だ米極の不安は去りさうにない

◇定期前場（單位錢）

寄付　高値　安値　大引

埠頭在高貨物

11月22日（單位瓲）

品目		本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆	混保	661,481.9	51,138.5
	非混保		
	白眉豆	7,752.9	3,345.4
	青豆	3,082.2	1,741.4
	合計	172,317.0	56,225.3
小豆		2,824.0	4,100.7
吉豆		741.9	1,584.6
高粱		19,318.6	3,782.1
包米		3,304.8	704.1
大米		2,106.9	
小米		336.7	349.3
麥子			4.4
蕎麥		481.3	132.7
芝麻		256.5	6.5
大麻子		120.8	23.0
小麻子		961.7	391.6
蘇子		669.1	279.1
落花生		2,384.2	1,353.9
雜穀		539.2	516.1
豆粕		52,091.6	5,298.7
雜粕		1,210.8	744.5
獸骨		140.2	269.5
豆油		1,316.9	670.0
其他ノ油類			
麥粉		2,817.9	4,817.6
[illegible]			5.9
[illegible]		1,451.9	2,091.5
セメント		371.3	556.3

株式

內地株安で 當市も保合

滿洲日報
發行人 ［…］ 編輯人 ［…］ 印刷人 本村武［…］
發行所 大連市東公園町第一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

日支中立地帶設置は直接交渉を原則とす
錦州方面は我根本精神に反す
我軍部の正當な主張

【東京三十日發】錦州中立地帯設置案は次第に實現の可能性を加へて來たので陸軍としては最後的態度決定のため首腦部において協議中なるが、大體

一、聯盟の中立地帶設置案は日支直接交渉の原則となす
二、錦州、山海關は遼寧省內で滿蒙に舊政權の存在を許すべからずとする根本精神に反す
三、北支に禍亂起り滿洲より增援部隊を送る必要生ぜる際、我國としては海路よりしなければならぬといふ統帥上の一大支障に遭遇す
四、本問題は支那側の提議で而かも聯盟が採用せるものなればその動機において不純なること
五、本問題を實現するとせば日支直接交渉により決定すべきもので且つ地域は山海關以西とす

而して軍部は錦州政府と支那軍の山海關以西後退を要求し支那側より中立地帶設定を要求する場合直接交渉においてこれを研究するの方途に出るものと見らる

中立地帶は河北省に

【東京三十日發】錦州より山海關に亘る支那軍を撤退して同方面地域を中立地帯とする事につき支那側はブリアン氏に大體贊意を表明してゐるが右に對しわが軍部側では錦州より山海關の地域は滿蒙の地域で中立地帶を設置する場合當然山海關以南、灤州、天津方面の河北省に中立地帶を設置すべきであるといふ意見が有力になつて來た

拒絶に近い正式通牒
ブリアン議長は失望の色

【パリ三十日發】國際聯盟理事會日本代表芳澤大使は二十九日夜中立地帶設定に關する理事會の要求に對し、事實上拒絶に相當する正式通牒をブリアン議長に交附し、その結果ブリアン議長は非常に失望の色を現はし、支那側が既に大體右案受諾の意嚮を表明したにかゝはらず問題はまたもや逆轉の傾向を示すに至つた、從つて三十日以降の秘密理事會の進行もなほ多分の曲折を要すべしと見らる

中立地帶と主張要點

【東京三十日發】錦州、山海關間の中立地帶の設定については軍部ではその影響重大なる爲め慎重協議されてゐるが軍部の意向右の如くである

一、中立地帶に第三國のオブザーバーを置く事には絶對反對である
二、中立地帶設定の場合は行政權は現在の行政區劃に依り遼寧省の新政權管下に置かしむ
三、中立地帶において匪賊が滿鐵沿線の治安を脅かす場合は我軍はこれを討伐する權利を持つ事
四、北支那方面に重大事態惹起の場合に中立地帶を經由軍隊輸送し得る事

天津の我海軍陸戰隊本部

加藤特派員三十日撮影

外交部長顧氏正式就任

【南京三十日發】顧維鈞氏は今朝十一時國民政府大禮堂において蔣介石、立法院長林森兩氏立會の下に宣誓し外交部長に正式就任した

第三國の介在は絶對認めず
芳澤代表通牒の內容

【パリ三十日發】芳澤大使よりブリアン議長に手交された中立地帶設定に關する日本の通牒左の如し
日本は支那軍の山海關以西へ撤退を要求してゐる、直接交渉に依り解決し得る日支諸紛爭に第三國の介在を認めない

錦州附近に在る支那軍の關內撤退に關する保障條件につき協議したもの、如く、なほ支那施肇基代表は支那側が嘗に提議した中立地帶設定要求は日本側で該中立地帶を決して侵害せざる旨の滿足な保障を與へるならば右要求の撤回に應諾せんと答へたものと傳聞す

するとの回答を附した

中立地帶と支那側意見

【パリ三十日發】施肇基支那代表は本日午前十一時半ドラモンド事務總長と會見したが、その內容は

中立地帶案全く愚論
奉天方面の輿論

錦州、山海關中立地帶問題につき當地軍民一般の輿論は滿洲の實情に即せざる認識不足の愚論なりとして一笑に附してゐる、即ち
一、支那軍撤退すればその地帶は馬賊橫行の馬賊地帶となるは必然で今日の狀態と何等變りはない
二、中立地帶を挾んで日支兩軍の駐屯するといふことは中立地帶が馬賊地帶たる以上天津の現狀と同樣地方の不安は依然として存續する
三、中立地帶は奉天省內であるから日支兩國民の張學良政權否認の立前に相反する【奉天電話】

觀察員派遣の再考慮要求

【パリ三十日發】日本が錦州附近の中立地帶設定に關し第三國の介入に反對する旨述べた芳澤代表の書翰に對しブリアン議長は本日中立地帶へオブザーバー派遣は日支兩軍の衝突を防止する例外的手段なれば再考慮せられんことを希望

聯盟決議案折衝經緯
日支双方主張の形勢

【パリ三十日發】既報の通り日支兩國代表はそれ〴〵公式に理事會決議案に對し受諾の可能性あることを闡明し約二週間に亘り揉みに揉んだ聯盟理事會決議案は明一日中にはその起草を完了すべしと信ぜらるゝに至つたがこの間の經緯及び決議案に關する形勢は左の如くである

支那側主張

支那代表施肇基氏は今朝に至り日本軍隊の即時撤退に關する第一の修正要求を撤棄した一方起草委員會は支那側に對しその第二の要求たる

支那が日本人の生命財產の保護のため執る手段を不十分と調査委員會で認めた場合調査委員會は保護方法を擴大し補足的保障を勸奬することを得

との一項はこれを決議案中に止め第三の要求たる調査委員會は國際關係に及ぼすが如き總ての他の事項を調査すると同樣九月十八日に於ける奉天の出來事を調査するものとすとの修正條項に就ては或程度までこれを容認すべきことを約した

日本側主張

一方日本の修正要求に就てはそれ〴〵左の如き解決方法を執る事となつた
（イ）決議草案中の全文の文句は九月三十日の理事會の決議の程度に止むること
（ロ）決議草案の原文中「日本及び支那はそれ〴〵其軍司令官に對し如何なる能動的行動をも執らざる樣訓令することを誓約す云々」の文句は單に「日本及び支那は苟くも能動的行動を執らざることを誓約す」と云ふ如く變更し「軍司令官に訓令云々」の文句を削除すること

殘る問題

只目下困難とされてゐるのは日本の保留條項たる兵匪土匪に依る日本居留民の生命財產が危險に曝さるゝ場合は日本軍は自由行動を執るの權限を保留すとの主張につき如何に折合ひをつけるかの問題であるが起草委員會は本件に關しその最善を盡して日本の要求を滿すべきことを日本側伊藤述史氏に約束した、然しこの點に關して支那代表が飽くまで頑強に反對する樣なことがあれば形勢逆轉しないとも限らぬ、中立地帶問題に關しては日本は絶對に第三者の干渉を受けずと主張しこれに對しブリアン議長は理事會としては決して事實上これに干渉することを企てゝゐるものではないと論じ日本代表はこれに對し若し第三者の干渉問題が起らねば夫れ丈け結構である、然しその問題が起るならば日本は飽くまでその主張を維持せねばならぬと述べて居り同時に日本側は中立地帶設定以前に支那軍隊の錦州撤退を主張して居る、從つて本問題に關する解決は尚疑問を殘してゐるが更に今明日の交渉に俟たねばならぬ

聯盟の懸引

これを要するに理事會の懸引は一方支那に對しては理事會が日本軍の錦州進擊を阻止しこれを後退せしめた旨の事實を振り翳して支那の日本軍撤退期日確定明示の要求を撤棄せしめ置き他方日本に對しては支那をして日本軍撤退期日確定の要求を撤棄せしめたる事實を振り翳して中立地帶に對する仲裁的オブザーバー派遣の件を承認せしめんとするにあることは最早明確となつた、然してブリアン議長は成るべく速かにこれ等の題目を公開會議に移し以て支那又は日本の要求に依り決議案から除外された若干の字句に就てはブリアン議長の演說にその逃げ場を求めんとする模樣である

チチハル再び不安
馬軍態度再び變化
我軍○大隊卅日夜半出動

馬占山の態度再び變化を來しチチハル方面危急をつげたので○○方面より歸奉待機中なりし鈴木混成旅團の內○大隊は司令部と共に三十日夜半同方面に向つた、又步兵第○○聯隊は長春へ移駐した【奉天電話】

黒龍江軍の精鋭
徐寶珍軍三千名
愈よチチハルへ進出

チチハル來電によれば黒龍江軍の一精鋭徐寶珍は部下約三千名（新募兵多し）を率ゐて日本軍主力撤退に乘じチチハル奪還の目的を以て廿九日午後泰安を發しチチハルに進出した、因に徐は萬福麟直系の將である【奉天電話】

敗殘支那兵三百名
滿洲里に流れ込む
日本人を極度に敵視

【滿洲里特電卅日發】ダライ湖を迂回して支那敗殘兵三百名が滿洲里市內に流れ込み各所で暴行を働いてゐるが日本人を極度に敵視し本日午後に至り遂に邦人商店を襲ひ多數邦人を毆打暴行を働き目下同地在住邦人は極度に戰々兢々としてゐる

陸軍非公式軍事參議官會議

【東京一日發】陸軍では一日午後一時より省內で非公式軍事參議官會を開き閑院、梨本兩殿下を始め各參議官（上原元帥缺席）南、金谷、武藤三長官、小磯軍務局長以下關係官出席し先づ聯盟軍縮會議陸軍側全權に對する訓令案を議題とし兵員、機材、豫算其の他全般に亘る細目の訓令案に就き南陸相金谷參謀總長より詳細說明し參議官側と質問應答あつて全部原案通り可決次いで軍制改革案に移り三長官よりそれ〴〵所管事項に就き說明あり格別の議論もなく之亦原案を承認し最後に參議官側より右兩案の達成に努力するやう希望意見の開陳あり更に當面の時局問題に就きそれ〴〵關係官より說明あつてこれに關する重要な方針の打合せを爲し四時過ぎ散會した、尚正式の軍參議會は三日午前宮中にて 陛下御親臨の下に擧行さるゝ筈

馬占山の別働隊活動

チチハルを中心として三十支里外の周圍には敗殘兵及び馬賊集結してゐるが、此等兵匪はいづれも先に馬占山が釋放出獄せる頭目を編成せる特殊別働隊であるこの別働隊はその後さかんに密偵をチチハルに派遣して日本軍の行動を偵察したるもので三十日以來、馬占山軍の泰安鎭より行動を起せるものと緊密な連絡を有してゐると【奉天電話】

馬占山から英順に通告

二十九日夜在海倫の馬占山より突如チチハル政權代表英順に對し部下將領のチチハル復歸論強硬にして今や余としてこれを抑止することは能はずと通達し來つた、このため人心極度に動搖し折角安靜に赴きし同方面の情勢一變の惧れあり、我が軍への助力を求め來つたので遂に二十三日夜わが○○部隊急行のこととなつたのである【奉天電話】

于芷山態度變る
わが軍の撤退を見て
さかんに軍資金徵發

東邊道保安司令于芷山氏は曩に我軍に對し恭順の意を表し再三欵男を奉天につかはし我が方へ意思表示をなしつゝあつたが本人は今もつて來奉せざるのみならずかへつて皇軍の○○方面より撤退後張學良との連繫密接の度を加へたる疑ひあり、且北山城子の官銀號支店より九萬元、邊業銀行支店より二萬五千元、假稅捐局より十萬元を徵發せるためたゞに金融硬塞せるのみならず人心動搖、刻下の特產出廻り期に際し日支經濟界に與ふる影響また大である、我が軍では治安の維持と權益確保のためこの種の地方長官に對してはこの際容赦なく適切の手段に出づる模樣である、尚右は錦州政權の存在と我が軍の撤退の結果の齎せる一現象で現狀を以てすればこの種の狀勢は各方面に現はれ來るべく錦州政權掃蕩の拔本的處置こそ緊急の問題だとの聲が高い【奉天電話】

徐軍貨車準備
二百餘車

【チチハル特電卅日發】泰安に本據を置く徐寶珍の大部隊が卅日の列車にてチ、ハルに向つて出發したとの報が來た、なほ同驛には約二百貨車の準備がある模樣

吹雪と寒氣に
我軍の行動頗る苦痛

【チチハル特電三十日發】馬占山軍がチチハルへ進擊を開始したとの報に我軍部は極度に緊張し卅日午前十時○○行隊○中隊は泰安方面の敵情偵察に出發したが、卅日は北滿特有の吹雪襲來寒氣酷烈でわが軍の行動に多大の苦痛を感じてゐる

海軍大異動
一日愈よ正式發表

【東京三十日發】海軍大異動は十二月一日正式發表、同日午後一時半宮中で左の如く親補式擧行のはずである

第一艦隊司令長官兼聯合艦隊司令長官 中將 山本英輔
橫須賀鎭守府司令長官兼將官會議々員 中將 大角岑生
補軍事參議官（各通）
海軍次官中將 小林躋造
補第一艦隊司令長官兼聯合艦隊司令長官
第二艦隊司令長官 中將 中村良三
補佐世保鎭守府司令長官
吳鎭守府司令長官 中將 野村吉三郎
補橫須賀鎭守府司令長官兼將官會議々員
佐世保鎭守府司令長官 中將 山梨勝之進
補吳鎭守府司令長官
舞鶴要港部司令官 中將 末次信正
補第二艦隊司令長官

任中將（各通）
少將 濱野英次郎 同 臼井國 同 伊地知清弘 同 松浦松見 同 松山茂 同 湯地秀生 同 重岡信治郎 同 吉岡保貞
大佐 山口清七 同 武田維幸 同 相良達夫 同 松本忠左 同 井上肇二 同 秋山虎六 同 和波豐一 同 小野彌一 同 濱田吉治郎 同 豐田副武 同 倉賀野明 同 中村龜三郎 同 山下兼滿 同 植松練磨 同 毛內效 同 原敬太郎 同 市川大治郎 同 服部正計 同 河村重幹 同 佐藤三郎 同 長尾秀二

任少將（各通）
機關大佐 河瀨眞 同 氏家長明 同 古市龍雄
軍醫大佐 丸田幸治 同 阿部文五郎 同 伏島忠雄

任軍醫少將（各通）
主計大佐 三輪寛

任主計少將
造船大佐 八代準 同 河東卓四郎

任造船少將（各通）
中將 山下龜八郎
軍令部出仕被仰付 中將 左近司政三
補將官會議議員 中將 大湊直太郎
補舞鶴要港部司令官 中將 岸本信太
軍令部出仕被仰付 中將 杉政人
補海軍省軍需局長 中將 黑田琢磨
補佐世保工廠長 中將 臼井國
同 中將 伊知地清弘
同 重岡信治郎
軍令部出仕被仰付（各通） 中將 吉岡保貞
補海軍燃料廠長 少將 長谷川清
補吳工廠長 少將 松下元
補海軍兵學校長 少將 小野寺恕
補海軍機關學校長 少將 藤吉曉
補第一戰隊司令官 少將 堀悌吉
補第三戰隊司令官 少將 小野德三郎
補橫須賀海軍工廠長 少將 吉田善吾
補第一艦隊參謀長兼聯合艦隊參謀長（以下省略）

社說

直接交涉相手は何處に

滿洲を知らぬ者は資格無し

凡そ今次の滿洲事變に關する交涉は、日支直接でなければならぬとは日本が始めから一貫して主張する所である。其理由は支那の事情に通じない者が介入すれば、徒らに事件の解決を困難ならしむる虞れがあるからである。しかも滿洲事情は、一般の支那とは又更に特異性を持つのであるから、只支那を知つたのみの人ではいけない。殊に滿洲を知つた人でなければならないのである。故に調停委員の說が出たり、オブザーヴアーの說が出たりする毎に、我政府は常に之れを拒絕して一顧をも與へない態度を取り、第三國の介入を絕對に許さずとして居る。此れ第三國人は到底支那を知悉せず、假令支那に關して多少の知識ある人々と雖も、滿洲に關しては全然無識であるからである。如何に說明しても之れを理解するだけの豫備知識をも有して居ないと爲すからである。

◇

此理由によつて、我政府は第三國人が事件中に介入するのを回避するのであるが、吾人は此理由を以て單に第三國人を忌避するのみならず、假令支那人と雖も、支那を知らず、殊に滿洲を知らない人達との交涉は避けねばならぬと考へるものである。實に支那の土地は廣大無邊であつて、其政情は不可思議千萬なものである。支那人だとて決して支那を知つて居るわけではない。殊に現在の政局に、有力な地位を占むる國民黨の少壯者は、十分に支那を知らないと云ひ得る。現在の黨部及び政府の有力者で、支那語を知らない人があるのは、隱れもない事實であるが、更に此人達に支那の事を知つて居るものが何人居るか。邊境の地域の事は云ふまでもないが、最近非常に開發された滿洲各地を旅行した人が何人居るか。又滿洲の歷史を知つて居る人が何人居るか。殊に滿洲が露國と深き關係を生じて以來、それが更に日本と深き關係をした歷史的事實、日支間の滿洲に於ける關係を、詳しく知つて居る者が何人居るか。

◇

此等の滿洲の事情並に日滿關係は、北方人が割合に多く知つてゐるが、現在の政局は有力なのは多くは南方人で、北方人が其中に居ても、北から南に傭はれて行つた樣な關係にある。斯樣な說を出すと頗る突飛な說の樣で、故意に支那人を傷けるが如く聞えるかも知れないが、之れ實に其の實情である。斯くの如きは歐米人士の恐らく夢想にも及ばぬ事であらう。吾人は近代國家の概念を以て、支那にあてはめんとし、國家領土の通念を以て、滿洲にあてはめんとする歐米人の、無認識に關して常に警告を發するのであるが、之れは必ずしも歐米人を侮辱するものではない。支那人其れ自身に於ても、其通りなのが甚だ多いのである。況んや歐米人に於てをやである。歐米人の支那及び滿洲に對する無知識は、決して歐米人の恥辱ではない。

◇

南京政府の人達には、實に上流の知識、支那を知らぬ人もあるのだが、それは少數であるとしても、滿洲を知らぬ人は、其の大部分を占めると云つても決して過言ではない。況んや黨部の青年の如き、且云はゞ東北をも辨へぬ學生の如きは、決して支那の本質を知るものではない。又決して滿洲の何たるかを知るものではない。彼等が東北をも辨へぬうちから、無理矢理に頭の中に押し込まれたのは「琉球、朝鮮、臺灣、安南、香港が支那の領土であつた。それが各國に掠奪された。滿洲は支那のものであるのに、日本が侵入して我物顏に振舞つて居る。それを足場にして、支那全土を侵略せんとするのが日本の傳統的政策である。日本人憎むべし、日本討つべし」といふのである。支那自國に關する反省の如きは少しも教へられない。そこに近代國家の理論や、國際法を持つて來て、勝手な理窟を捏ね返すべく吹き込まれてゐる。

◇

斯樣な人達の尻押によつて、其の顏色を窺つて行動するのが南京政府である。大ザツパな國際問題ならば、此政府を相手にして決着をつけるのが便利であるけれども、滿洲に於ける日支問題の如き、複雜微妙であり、且つ日本國民の生命に關する重大問題を、斯くの如く人達の寄合世帶である政府との間の交涉が、元來困難なのである。併しながら今日の狀態としては、南京政府が支那の政府であるから已むを得ずして我政府は之れと交涉する建前にはなつて居る。それだけに、種々の不安がある。隨つて交涉の前には種々の保障やら、取極めやらが必要なわけである。日本が日支直接交涉を希望しながら、それが容易に運ばないのは、日本としてはそれだけの大事を取らねばならぬ理由があるからでもある。而して南京政府なるものが、滿洲の事を知らないから、進んで直接交涉を開く途を發見する事が出來ないからでもある。

◇

此點から云へば、瘦せても枯れても、滿洲に實權を握つて居た舊奉天政權の方が、まだしも滿洲の事情を知つて居る。然るに此人達は、知つて知らぬ顏をする。知らぬ顏をして無理難題を日本に吹きかける。事が面倒になると逃げて、南京政府に責任を讓る。舊奉天政權は斯樣な捉へ所のないものであるから、日本が之れと直接の交涉を開かんとしても出來ない。日本政府は直接交涉を主張して居るけれども、現在の所では、安んじて之れと交涉し得る相手を發見し得ない狀態にある。さりとて國際聯盟や米國政府を相手にして滿洲に關する交涉を開くわけにもいくまい。之れは支那の國民を無視し侮辱する事になるのだ。日本は滿洲の事情をよく知つた、しかもしつかりした交涉相手を發見せねばならぬ事になつてゐる。日本の立場も亦困難なりと謂ふべきである。

關東廳明年度豫算 拓務省、原案を承認

警察官增員費は大藏省承認し 國庫豫備費で支出

【東京特電卅日發】昭和七年度關東廳特別會計國費豫算案は過般松峠總理課長の手により拓務省に提出され、内容につきしばしば說明するところあつたが卅日午後原案通り一千九百五萬九千八百四圓の査定を終り承認することになつたなほ滿鐵沿線における警察官二百名增員の件は堀切拓務次官の斡旋によつて大藏省において承認、國庫の豫備費よりその財源を捻出することに決定した

增稅案大綱

【東京一日發】井上藏相が三十日の閣議と與黨幹部に諒解を求めた歲入缺陷補塡策としての增稅大綱左の如し

一、增稅額四千萬圓(稅制整理に依る增收二千萬圓、新規增稅二千萬圓)

イ、種目別金額

所得稅 千七百餘萬圓

麥酒稅 二百三十餘萬圓

ロ、增稅率

所得稅 第一種百分の一・五を增率、第二種百分の一を增率、第三種現行累進稅率を全部一割以上增率、同族會社加算現行率を一割以上增率

麥酒稅 現行一石二十五圓を五圓引上げる

ハ、期限 昭和七年より九年度まで施行す

ニ、稅制整理に依る增稅恒久的改正としてこれに依る增收額は約二千萬圓

期間昭和七年より三ケ年)これに赤字公債六五〇〇萬圓を發行し辻褄を合はせる

公債、增稅 計畫內容

【東京三十日發】歲出豫算及び公債發行並に增稅に關し井上藏相は三十日午後三時官邸に瀨母木、富田兩總務を招き詳細說明諒解を求めたが、その內容左の如し

歲出一四七九〇〇萬圓、歲入一三一七〇〇萬圓、差引不足一七二〇〇萬圓、これが補塡方法は失業公債四三〇〇萬圓、電話公債一七〇〇萬圓、震災善後公債七〇〇萬圓、事業公債計六七〇〇萬圓、增稅整理に依るもの二千萬圓新規增稅二千萬圓計四千萬圓(新增稅所得稅ビール稅に〇萬圓、增稅整理に依るもの二千萬圓)してこの增額一七七〇萬圓、此

敵彈を浴びつゝ 鐵橋修理の苦心

嫩江へ一番乘りした 竹村滿鐵派遣員講演

去る十月十五日黑龍江省軍によつて破壞された嫩江鐵橋の破壞現場に一番乘として視察に赴き、敵軍の猛烈な一齊射擊を浴びつゝ、勇敢にその職責を果した洮昂鐵路局技術顧問、滿鐵派遣員竹村勝清氏は業務上の用件を帶び卅日朝來連正副總裁に洮昂線の現狀を說明したが在連社員のため同日午後四時半から滿鐵社員俱樂部會議室で約一時間半に亘り事變以後の洮昂線の實情を講演した、左に氏の講演中の鐵橋修理における滿鐵社員の活躍についての話の大要を紹介する

十一月四日いよいよ嫩江の鐵橋はわが軍掩護のもとに滿鐵の手で修理することになり僅な軍隊と共に滿鐵社員三十名、日本人請負人約五十名、支那人職工等約五百名から成る滿鐵橋梁

修理班は 江橋に赴いたのですが四日正午十分すぎ遂に敵兵は少數の我軍に發砲をはじめ所謂戰爭狀態になつたのです、砲擊が起るとともに工兵隊は早速橋梁の應急修理にかゝる、滿鐵社員も一緒になつてそれを手傳ふ、そして私達非戰鬪員も皆一緒になつて橋が人の通れるやうに更に大砲が渡れるやうにと應急の修理を遂げ砲丸その他の彈藥運びなどを一生懸命になつて手傳つたのでした、そしてこの苦しい戰は四、五、六と三日間つづきました、勿論この間私達は橋の修理をつゞけてゐたのでしたがその後は更に馬力をかけて徹夜の馬力で修理をつゞけ十三日の午前中には既に

試運轉を なし得るまでになつたのでした、さきにわが軍がこの鐵橋の修理を黑龍江省軍に要求した時同軍は「世界のあらゆる國の有能の技師が集まつたとしてもこの鐵橋の修理には廿日間を要する」と世界に發表したといはれてゐる橋を滿鐵社員の者達はその間戰の手傳をつゞけ砲擊の中に働きながら十日間で完成したのです、しかも交通遮斷を行つたのは僅に一晝夜にすぎません、この酬いられた苦心に勇んだ私達は江橋で機關車を仕立て午前六時に第一鐵橋の試運轉を終り更に第二鐵橋から後は二輛の機關車で第五鐵橋まで全部の試運轉を終り大興に來たのは忘れもしない午前九時でした、この時の

私達の喜 びはどんなであつたでせう、黑龍江省軍の聲明を見事に打破りこの難工事を十日間で仕遂げた私達の到着を迎へてくれた軍隊の人々も双手を擧げて萬歲々々と叫んで下さいました私達は萬歲を叫びながら思はず嬉し淚に暮れてしまひました

新兵さんを招き

仙臺鄉友會が一夕の宴

三十日午後六時半から朝日小學校の講堂で二十九日來連の獨立守備隊新入兵中の仙臺出身者百名を招き在連の仙臺鄉友會の人々が一夕の宴を催した、勿論質素な獻立ではあつたが主客共に歡を盡し全く打とけた快い會合であつた(寫眞は歡迎會場)

山東、南支邦人の 頗る强硬な意見

邦人大會の意氣込み

來る六日上海に開催される在支日本人大會へ在滿日本人後援會より代表として出席すべく赴滬した小澤太兵衛氏より三十日午後後援會あて左記電報があつた

民團長、商議會頭、紡績その他の首腦者と面會能く諒解され、上海大會には增兵その他最も强く最後的決議にするやう打ち合せた、山東在住民はこの滿蒙權益が確保されず不得要領に兵を引く事になりては全支那居住民は全部引き揚ぐるより致し方なき慘狀となるため、われ等滿洲在住者より以上强き意見を持つてゐる、陸軍が滿鐵線へ兵を引き揚ぐるとの新聞を見て憤慨もし悲觀するものもある、上海着の上打ち合せ、大會までに案を練る事に努力する、此方から特に提案する事あれば指圖を乞ふ

運賃を合理化し 新等級制定

東北交通委員會で

面目を一新した東北交通委員會では着々業務の進捗につとめてゐるが、いよいよ貨物運賃の合理化についても研究を進め世界各國から間斷なく苦情を申込まれてゐた貨物の差別等級についてもこれを撤廢し新等級の制定近く同委員會加盟の鐵道で實施するものゝ如くである、卽ち從來南京政府は國內貨物、輸入貨物に等級の差別をつけ同品種のものであつても輸入貨物に對しては不當に高級の等級をつけ結果において國內貨物に比し高價な運賃を徵收しこれが實施を支那各鐵道に命じてゐたゝめこれは九ケ國條約に違反するものとして列國から再々撤廢方を要求されてゐたもので今回東北交通委員會がこれ等不平等なまた條約違反的な規定はことごとくこれを合理化する方針を立てたものと見られてをり同交通委員會今後の活躍は世界各國から大いに期待されてゐる

基教婦人聯合會

來る四日に發會式を擧げ 遭難同胞救濟映畫會開催

大連に於けるキリスト教各派の日本キリスト教會、組合教會、聖公會、メソヂスト教會、カトリック教會、沙河口日本基督教會、ホーリネス教會の各婦人會及び基督教婦人矯風會大連支部は時局に際し一致團結日本婦人としての使命遂行を圖る目的を以て先般來各教會の代表者集合大連基督教聯合婦人會の組織に關し協議中の處、三十日午前十時よりメソヂスト教會に開催したる準備委員會に於て一切の準備完了し愈々來る四日午後一時より西廣場教會に於いて全會員出席盛大なる發會式を擧ぐることゝなつた

この新舊各派を網羅したる基督教婦人會八團體の聯合に依りて從來兎角立遲れ氣味だつたクリスチヤンの時局に對する活動が本筋に入るものと期待されてゐる、その第一着手の事業として同聯合婦人會の主催にて來る八九兩日協和會館の遭難同胞救濟義捐映畫會を開催するが寫眞は日活秋季巨大作殉教血史「日本廿六聖人」十九卷で會員は三十日より一齊に切符前賣りに着手した

巡査採用試驗

關東廳警務局では十二月六日午前十時から奉天、旅順兩警官教習所にて巡査採用試驗を施行することゝなつたが、應募者資格は滿二十一歲から卅五歲まで、身長五尺三寸以上であり、希望者は當日履歷書及び願書を攜帶されたいと

土木書記一名增員

關東廳では地方待遇職員令改正の結果土木書記一名增員となつた

人事

▲百武軍令部次長 卅日廿二時列車で奧地に

▲鶴見祐輔氏(前代議士)同上

▲鶴見祐輔氏 三十日午後二時赴旅關東廳に塚本長官を訪れて大連に引返したが同夜急行にて奉天に向つた

▲大森滿鐵理事 三十日午前八時四十分奉天着ヤマトホテル止宿

在滿邦人救濟金

千五百萬圓追加要求

【東京三十日發】今回の滿洲事變に依つて滿蒙在住邦人並に鮮人等の損害救濟その他警察官の增派費用支出に關し卅日午後二時より首相官邸に川崎翰長、齋藤法制局長官、永井外務、川田大藏、堀切拓務各次官等參集協議の結果救濟金額は約千五百萬圓に達する見込みとなつたが、これ等は今議會に追加豫算として計上提出に決定した

空輸會社總會

【東京三十日發】日本空輸會社は三十日午前十時より第六回總會を開き株主配當年六分を決定した、なほ原邦造氏社長戸川政治氏常務に就任した

「奮ひ起つべき時は來ぬ」 行進歌々詞

本社主催の護國祈願祭は愈々來る六日を期して擧行することとなり目下各參加團體と交涉し着々その準備中であるが當日市內行進の際合唱する「奮ひ起つべき時は來ぬ」は村岡樂童氏の作歌作曲でその歌詞並に歌譜は以上の通りである

奮ひ起つべき時は來ぬ

Tutta Forza.

八相

大連のマダム連 はつ子

投書歡迎 五十行以內 中傷はさらす

◇私は最近西廣場の電車停留場に通行人に千人結びをたのんでゐる一婦人に對し、大連のマダム連のあまりに冷淡なのに驚かされた一人である。

◇私は白い布をもつて立つてゐる千人結びの婦人があるので寄つて結んでみるとまだ二三十しか結んでない、しかも誰も結んでやらうと寄つて來る人がない。

◇伊勢町の方から三越の包紙を持つたマダムが來たので、件の婦人は結んで貰ふべくいんぎんに頼んだが、該マダムは忙しいと稱して通り過ぎた、しかも彼女は決して忙しいやうではなかつた。

◇續いて大廣場の方から女事務員がやつて來て「御苦勞さまです」といひながら結んだ、三越電車から安い狐にくるまつたブチブルマダムが降りたが、千人結びが依賴しても見て見ぬ振りで立ち去つた。次いで女學生の一團が通りかゝつて各々結んだ

◇かくて暫くの間ではあつたが私の見てゐた間には、マダム風の女性はすべてたのむのを拒んで過ぎ去るものゝみであつた、忙しいといふが二三分を要して結んであげたとてその奥服屋に入る時間には何の影響もない、大連の第二のマダムとなるべき人はもツと目覺めてゐる。

大觀小觀

スチムソン長官の御日聲明問題、事が判つて見れば驟か呆ッ氣ない、泰山鳴動して鼠一匹の感▲だが事の起りは一たい新聞記者の誤聞か、通信の誤りか、それとも長官自身の失言の祟りか▲もう濟んだ以上どちらでもよいけれど物事は「火のないところに煙りはたゝぬ」▲斯ういふ誤傳?の原因をなしたス氏の輕率さ、その背景をなす何ものかについて日本國民はよく記憶にとめて置く方がよい▲「北空に流るゝ雁や窓を閉づ=邪道句子」▲一方では特使まで派して陳謝的の妥協申込▲かと思へば他方では平氣で土匪を操縱し、益々敵對行爲の準備を進め、相變らず變幻極まりないのが支那側の態度だ▲これでは恰で擧を固めて「さア握手!」といふに同じ▲巫山戲まいぞッ▲「中立地帶設定案」なるものは支那不還軍閥の「策謀地設定案」に一致す▲ウカウカその手に乘つて飴をねぶらされて堪るかい▲これまた巫山戲まいぞ▲論より證據、日本軍の手が一寸緩められるともうすぐ東北軍匪が盛に錦州へとのさばる▲昭和の一太郎木澤君に感激した一少女の志、當の木澤君とその戰友を感激さす▲美談は美談を產む▲「寒菊を飾る紡あり里飾り=邪道句子」

市況(一日)

株式 後場 內地變らず 當市閑散

內地主力株保合を入れて當市も氣配變らず閑散

錢鈔 標金保合 當市變らず

上海標金の保合を眺めて當市變らず

◇定期後場(單位錢)

◇現物後場(單位錢)

商品 麻袋變らず 綿糸反落

綿糸 大阪三品大引は前場寄に比し當限二圓十錢安中先七八十錢乃至一圓五十錢安と反落を入れ當市は氣配ひ見送つた

麻袋 出來不申

奧地市況 奉天票

市場電報 特產 東京株式(短期) 東京株式(長期) 大阪株式 大阪綿糸 橫濱生糸 東京期米 大阪期米 神戶期米

家庭

果然、人氣を呼んだ 恤兵献金大演藝會
演奏歌詞、曲の解説（上）

滿日婦人團主催の恤兵献金大演藝會の番組が一度紙上に發表されるやその純眞崇高なその趣旨と、和洋音樂舞踊方面の權威者を網羅したその素晴らしい番組に各方面に豫想外の人氣をよび、豫約の申込みは本社事業部に殺到し早くも會員券の不足を豫想しなければならぬ有樣です、で當日來會の方々のために演奏歌詞、曲の解説等をかゝげる事にしました

歌謠曲舞踊
關は大瀬戸
有光夢聲作　杵屋佐吉曲　杵屋六紫

（一）
後へ戻るは黒い船
汐に押されりや舳が曲ろ
關は大瀬戸流れが速い
流れ眺めて河豚のちり

（二）
月の朧ろに雨が降る
壇の浦から赤間の澳り
神代ながらの繪巻の夢を
月にかこつは平家蟹

（三）
戀ぢやなけれど一夜の遊び
月の無い夜に連れ立ちましよか
汐が渦巻きや魚が跳る
小門の夜焚の流し船

花嫁（中井修作　杵屋佐吉曲）

（一）
あれよ行く行く花嫁ゆくよ
馬に乗つたが花嫁さまで
手綱とるのが花婿さまよ
ほいのほいのほいほい

（二）
あれよ行く行く花嫁ゆくよ
嫁御十七婿どの二十
恥かしいのかもの言はぬ
ほいのほいのほいほい

（三）
あれよ行く行く花嫁ゆくよ
峠三里のあの坂越えて
ざんざざんざと驛鈴の音
ほいのほいのほいほい

舞踊
出船の港
上野霑子

（一）
ドンとドンとドンと
波のり越えて
一擬　二擬　三擬
八擬櫓で飛ばしや
さつと上つた
鯨の潮の
潮のあちらに
朝日が昇る

（二）
エッサ　エッサ　エッサ　エッサ
押し切る腕は
みごと黒がね
その黒がねを
波はためそと
ドンと突きあたる
ドンとドンとドンと
ドンと突きあたる

（三）
風に帆綱を
きりゝとしめて
舵を廻せば
舳はおごる
おごる舳に
身をなげかけりや
夢は出船の
港へ戻る

薩摩琵琶
臺灣入
宮本まさ子

皇の御稜威は四方に輝きて清國遂に和議を請ひ臺灣島を献上し合戰茲に治まれる君が御代こそ目出度けれ臺灣島の土賊共龍車に向ひ蟷螂の斧を揮ふと聞へしかば征討の師をぞはさる

近衛兵の精鋭を率ゐて御渡海召されしは陸軍中將大勳位北白川の宮さて金枝玉葉の御身なり三貂角の御上陸嘉營ありし其跡に木を刷りてぞ記さるゝ炎熱焼が如き日に三貂大嶺の嶮岨をば馬にも召さず越え給ひ大雨頻りに降る時も濡にぞ濡れて進まるゝ士卒之に感激し病兵さへも立上り命を惜まず進軍す所々の壘に籠りたる賊兵共の射出す彈丸は雨か霰か白雪の降り注ぐが如くにて砲煙暗く天を蔽ひ百雷齊しく落つるに似たり

宮は矢石を冒しつゝ突貫せよと下知あれば川村少將、小島大佐を初めとし勇み立つたる近衛兵我先にと奮進し賊の本營に突いて入る賊兵之に氣をのまれ右往左往に逃散りて降參するもの數知れず大砲小銃の戰利品山を築かむ許りにて勝鬨どつと揚げければ宮は此時悠々として基隆城へぞ入らせ給ふ

斯て六月十日には臺灣城を陷れ七月新竹を占領しあくる八月には彰化臺灣兩府を定め十月初めつかた臺灣さしてぞ進まるゝ天熱くして瘴癘多く地嶮しくして糧食乏に千辛萬苦の其中に宮は士卒と食を分ち晝は汗馬に鞭を揚げ夜は荒野に露營して戎衣の袖に月をやどし唯國の爲君のため平定の策をめぐらし給ふ

御痛はしやかなしやな竹の園生の御身にて餘りに艱苦を積ませられ遂に病にかゝらせ給ふ日々に重らせ給ふにぞ御供の人々うち驚き都へ還らせ給ふやう切に御諫め申せども宮はいつかなきこし召さず我官軍の將として賊徒平定を見ぬうちはたとへ臺灣の土となればとて

われのみ士卒を打ちすてゝいかでか都に歸らむとかごに召されて進ませらる御臨終の其際に賊徒平定ときこし召し宮はにつこと打笑み給ひ萬歳と唯一聲叫び給ひし計りにて敢なく天に登らせ給ふ

臺北悠々仁政成　皇軍到處湧歡聲　旭光將被臺南地　殲彼渠魁安萬生

と宮のうたひ給ひし如く盛功偉烈後の世に輝き渡るぞありがたき北白川の水は逝きて還られど月影ながくすみ渡り光は代々にながるらん光は代々にながるらむ

保健食の單價？
彌生高女　今西ツネノ

私共が 健康を維持する爲に必要な食物を榮養素の配合と分量とを合理的にして一體何錢位で出來るものかと大きい期待をもつて給食にのぞみました、保健食の價格や一〇〇カロリーを得るための食品の價格などは書物にもよく出て居りますがそれは皆内地での物價を標準にしたものでしたが今度大連での物價を基準にしたものを得ましたから御參考までに獻立と一人宛價格とを記るすことに致します

今日の 榮養學では人間は一日に約二千五百カロリーを攝取することを必要とされて居ります から一食まづ八〇〇カロリー乃至九〇〇カロリーが標準と思ひますけれど生徒から考へると三度の食事中晝飯は一番大切でまた一番美味しく頂くのですから少しく分量を多くしていつも千カロリーを標準と致しました

一、ちらし壽司（かしわ卵子焼、油揚、干瓢、椎茸、人參、蓮根）奈良漬、酢生姜、單價十二錢六厘
二、黄粉俵にぎり　梅干、蒲鉾とこんにやく、うま煮、大根卸席漬、單價七錢三厘
三、鰆の照焼　いんげんバタ炒り　菠薐草の浸物、酢生姜、單價七錢四厘
四、カレーライス（牛肉、玉葱、人參、馬鈴薯、グリンピース）福神漬、單價六錢四厘
五、野菜と肉團子のうま煮　菠薐草の胡麻和へ、澤庵、單價六錢五厘
六、かき揚げ（豚肉、青いんげん、さつま芋、人參）うづら豆のふくめ煮、澤庵、單價六錢六厘
七、旨煮（牛肉、人參、里芋、牛蒡）清汁（三つ葉、かまぼこ、小蕪の卸席漬、單價六錢九厘
八、オムレツ　ほうれん草胡麻和へ、澤庵、單價七錢八厘
九、コロッケ　いんげん豆の胡麻和へ、奈良漬、單價六錢八厘
十、稻荷すし、鰆の附焼、奈良漬　單價八錢三厘

一家の 食物費の豫算は直に立つと思ひますが、考へて頂かなくてはならないのは食物は數が多くなればなるほど單價が安くなるといふことです、八十人の臺所より五人の臺所は單價が多少高くなることは事實です燃料と水道料を加へて十錢とみれば大丈夫と思ひます、すると私共は一日三十錢を以て相當の御馳走で榮養價の充分な食事をすることが出來ることになります、勿論これには人件費も營業費も器具の破損費なども加へてないのですが……六錢五厘のライスカレーを二十錢も出して喰べて居ることがいかに不經濟かお判りになると思ひます

無病長生は物心兩道より（下）
大連醫院長　守中清

以上述べましたやうな現象に對しまして今の醫學は如何にこれを解釋するかと申しますと、人間精神の宿つて居る處は大腦でありますがこの大腦から直接出でて身體の各部に分布してゐる神經に腦脊髓神經といふのがありまして、此れは主として皮膚の知覺と筋肉の運動とを司どつて居ります、大腦の神經作用たる意志によつてその働きをする事が出來るのであります。

◇

然るに人間が生きて行く爲めに最も重大なる作用をいたして居る心臟、血管、肺、肝、腎等の働きは他の系統の神經によつて自治的に營まれて居ります、この神經は大腦よりの意志を傳へず感覺をも傳へませんので動物的でないといふところから植物性神經と名付けられて居りますが、此の神經が又大腦と連絡がありまして大腦の精神作用の影響を受けるのであります、即ち吾々は胃、腸、心臟、肺、腎臟等を意志を以てどうしやうといふことは出來ぬけれど、精神作用は矢張り無意識的に此等の器官の作用に及ぶのであります、又外に更に一つの現象があります、それは人體には内分泌腺といふものが數個ありましてこの腺から化學的物質を出しまして血中に送り血液は此れを各器官に送りてその器官の作用動作を左右致します、この内分泌が又、植物性神經を通じて大腦の影響を受けるのであります。

◇

かく考へますると、身體の何れの部分でも何れの器官でも皆直接間接に精神的の影響を受けない所はないといふ事が分るのであります從つて身體の健康と否とに關心を以て居るわけであります、即ち實際に於ては病氣の症狀や經過や、治不治に關係し又健康の增進にも低下にも與るわけであります。然らば精神的養生が保健衞生上重大な譯がおわかりになる事と思はれます、それでは精神的養生とは如何にすればよいかと申しますと此は矢張り肉體の養生と同樣でありまして消極的と積極的の二方法が考へられるのであります、消極的には第一精神の過勞をさけ、相當の休養を要するのであります、この休養と申しますと肉體を靜かにしましても精神は却て働く場合もありますので、肉體の安靜は必ずしも必要としないのであります然し目さめて居て精神を無爲無思の狀態又は無念無想の境地に持來すことは修練を要しまして誰にでもは出來ないのでありますが、最良の精神安靜は熟睡であります、充分なる睡眠を取るといふ事は勿論第一の養生であります、又精神は働いて居りましてもこれを他へ轉回せしむるといふ事が又休養になるのでありまして、疲勞せる精神も他の愉快なる娯樂などによつて休まれるのであります、第二に恐怖、煩悶、不安、悲觀等は人體の生活諸機能を障害し病體に對してはその自療力を減殺するものとせられて居りまして、此れを避くるを心的養生の重要事といたします、然しながら實際吾々の生活戰場に於きまして以上の樣な精神苦惱から逃避するといふ事は到底不可能で日常これらの不快に遭遇しない譯に行かぬのであります。

◇

こゝに於てこの精神的苦惱から蟬脱して絶對安心平靜なる心境にあるべく積極的の精神修養法なるものが工風せられ宛も肉體の鍛練と同樣に養生の秘訣とせられて居るのである、特にこれに就ては東洋古聖賢の教へが最も有意義であります、老子の虚無恬憺、孟子の浩然の氣を養ふといひ、その他宗教的信仰皆これ精神的養生の方法でないものはないのであります、又民間に於ても或は靜坐、調氣、内觀、坐禪等といふ精神修養にして同時に養生の方法とせられて居るのであります。

◇

最後に私はかく精神的養生が保健衞生の上に重要なる要件である事を申ましたが、これは物的養生の不要であるといふ意味ではないのでありまして、否前述の樣な肉、心の關係により見ましても精神が肉體を司配して居りましてもその肉體生活は物質の出納によつて行はれ、物的環境に於ける適當なる條件が必要である以上物質的養生が重要であるのは當然であります兎角心靈信仰者とか申して物質を無視し精神的養生一點張りで健康を祈り出さんとする者がありますが、矢張、物心兩輪を以て運轉するにあらざれば無病長生の車は進まぬものとお承知を願ひたいのであります。

雷太郎物語（25）
まさもと作　河野久畫

滿日各地版

時局の間隙に乘じ 不逞鮮人團の活躍
邦農から暴虐をつくして强奪 勢力の擴張に躍進

【撫順】同胞二十餘名を虐殺した國民府系「鮮匪」の惡逆が突如暴露されるに至つた事迹に至るまでの經緯を調査するに想像以上に不逞鮮人團暴虐の數々が次から次へと展開されてゐる既報の如く紛糾せる時局の間隙に乘じ支那兵匪と通謀各勢力擴大に手段を選ばざる共産系乃至民族主義を旗幟とする國民府系不逞鮮人の

跋扈 跳梁は同方面に日本官憲の手の及ばざるを奇貨とし各不逞結社の勢力挽回に狂奔してゐるが共産系は寧ろ北滿に主力を注ぎ撫順背後地新濱、清原、通化、桓仁各縣には今や國民府系不逞鮮人團が特に猛烈なる活躍をなすに至つた、而も彼等の想定敵は日本官憲なりとし着々勢力伸張に狂奔してゐる

その方法は興京に彼等の本部を置き前記各縣邦農一戸から一名以上の團員を強制加入せしむると共に元國民府員にして現在その黨籍を脱せるものをも強制召集不可思議と思はれる位多數兵彈藥を手に入れ大集團的武力をもつてその陣容を整へてゐると共に支那兵匪に掠奪され日毎の食料もない位窮迫せる邦農各一戸から義務金と稱し金十圓乃至數十圓を生命に脅威を與へて

强要 しつゝある爲に邦農は搾取掠奪の八方責に遭ひ結氷を眼前に薄衣の老幼男女相抱いて日官憲の手の屆く撫順等へ避難し出したので彼等鮮匪の魔手は避難邦農出郷防止策を執るに至つた、由は純朴營々働く事より知らぬ邦農が滿鐵沿線等に避難しつゝある事は彼等唯一の財源杜絶に至る各縣大小各部落邦農何れも十相互連帶責任とし內數戸が避難せば殘餘の各戸に絶對責任を負はし命令を發し人類本然の要求たる生命に危險の及ばざる地帶を求めんとする邦農の行動を阻止させきだに虐げの底にある邦農は今や全く渡滿以來、始めての窮境に陷るに至つた、純良なる邦農にこの迫を加へつゝある鮮匪も何れは日官憲の討伐を豫期し各要所に見張團員を

派遣 巧妙なるスパイ等に依つて警戒怠りなきと共に若し日官憲來らば敢然是を邀撃すべしと豪語してゐる、殊に看過し難きは右國民府の命令に背く者は事情の如何を問はず反動派として會釋なく銃殺に處しごく最近通化縣下に於て十八名新濱縣下その他で十名三十人近くの邦農が彼等鮮匪の爲め銃殺された事實が暴露されるに至つたのである

邦農歸鄕

【撫順】新濱、清源各縣下その他より兵匪並に鮮匪に永年の耕地を追はれ命からがら撫順へ避難して來た邦農の內民會のみに收容せる數三十日現在遂に五百名を突破するに至つた、彼等邦農は假に時局納まつても歸農する意思既になく郷鮮に歸鄕し度い希望者續出撫順署では民會と協議旅費を支給三十日夜行にて第一回六十名を朝鮮に送還した

營口避難鮮人

【營口】滿洲事變突發以來牛莊領事館管內各地に居住の避難鮮人の總數は百〇七戸五百七十五名、內營口新市街の收容人員三百十九名舊市街二本町其他に散在收容せし人員二百五十六名なるが右は何れも直に衣食に窮するもの、みにして是等は外務省に於て統一救濟することゝなり領事館に於て善處しつゝあるところなるが避難の報傳はると共に各方面共甚大なる同情を寄せ救濟金の寄贈、衣服、食料の給與又は慰問の辭を寄するもの多く軍及び奉天總領事館よりは高粱二百五十袋、干漬物十袋、牛肉罐詰四百六十九箇、毛布七十枚、金五百圓東亞日報社よりは衣類一梱包、金五百圓也營口善後委員會、參百圓也匿名有志、衣服三梱包、避難同胞慰問會營口市民より衣服多數其他多數物品の寄贈ありて避難同胞鮮人は感淚に咽んで居る

「籾は捨てゝ置け」
警官隊の搬出救援に外務省からのお達し

【鐵嶺】過般鐵嶺軍警討伐隊出動し激烈なる戰鬪を交へ匪賊を掃蕩し窮地の鮮農を救助したる開原縣下施家堡子には今尚三千石の籾が殘されてあり其中一千石は匪賊の爲めに燒き棄てられたるも尚二千石ありこれが搬出は

鮮農の ためには生命に次ぐ重大問題であり彼等は一刻も早く搬出したき希望を持ち警察署でも其心情を憐れみ殘籾搬出救援隊を組織すべく關東廳に申請して其承認を得四平街開原より警察官の應援を求めて出動準備全く整ひ外務省からの承認を待ち鮮農達も蘇生の思ひして外務省の命令を鶴首してゐたところ如何なる理由によるものか去る二十六日附を以て救援隊出動に及ばずとの命令到着し遂に警察側の計畫は中止となり殘籾は成行に委せ放擲せざるを得なくなつた、今の場合此の問題は鮮農達の死活問題であり粒々

辛苦の 收穫物を放擲するは死にまさる思ひありと悲嘆の淚

鐵嶺忠魂碑の除幕式

鐵嶺忠魂碑 盛大なる除幕式
九百餘の英靈を安置

【鐵嶺】鐵嶺忠魂碑の除幕式報告祭並に納骨移靈祭は豫定の如く二十九日午前十時半より執行されたがこれより先過去二十餘年の間朝夕供養怠らざりし西本願寺では日露戰役當時鐵嶺附近に於て戰病沒せる九百餘名の遺骨に對し各宗僧侶沿線布敎師等列席して還座法要を嚴修し辰巳會員遺骨を捧げ前田祭典委員長先導して忠魂碑前に到り遺骨は別室に

安置 して除幕式並に奉告祭を執行十一時遺骨を忠魂碑納骨祠に納め移靈祭を執行した、碑前には種々の獻饌あり參列者は各委員學生軍隊各團體等數百名に達し三時間近き儀式嚴寒にも拘らず一糸亂れず婦人達までよく耐へて誠に嚴肅な式典であつた、木下滿鐵病院長、田所守備大隊長の祝辭、本庄關東軍司令官、關東長官、滿鐵總裁以下各方面から祝電が寄せられ最後に佛式法要あり午後一時式を閉ぢた、忠魂碑の文字は既報の如く本庄關東軍司令官の揮毫であり塔の

高さ 地上より四十四尺三寸五分あり納骨祠は最下部九尺角の面積ありて日露戰病歿勇士を始め殉職警察官及び今次の事變に戰死せる勇士の遺骨を納めてある、工事は八月四日地鎭祭を行ひ二十日より着手十月三十一日完成し工費三千三十一圓、基金は在鐵官民寄附金二千六百二十四圓餘、滿鐵からの補助金四百圓であつた、工事使傭人夫延人員一千四百六十人を要し公園地內の一隅巍然と聳ゆ守護神は鐵嶺の一偉觀である

奮戰激戰七十日 鐵嶺工兵隊歸る
驛頭の熱狂的歡迎

【鐵嶺】九月十八日支事變勃發の翌未明鐵嶺を出動した花井工兵中隊は奉天から長春より吉林に出動し更に嫩江の激戰中心地だつた嫩江に於て赫々たる武名を轟かせ遠くチ、ハルに入城東大營に滯陣してゐたが既報の如く廿七日某方面に出動任務を帶び廿八日午後五時半在鐵官民多數の見送りを受け萬歲の聲渦卷く鐵嶺驛を通過南行したが奉天到着後時局急轉し某方面出動中止となり原駐地歸還を命ぜられて廿九日朝出動後七十日目に凱旋した、鐵嶺市民は早朝なりしにも拘らず此勇士達を迎えんと驛頭に殺到し歡呼の聲天地を搖がせ熱狂的な歡迎をした、花井中隊長以下將兵何れも雪やけの顏に一杯の元氣を見せ步武堂々

懷しの兵營に入つたがチチハル附近の戰鬪に名譽の戰死を遂げた平井一等兵の遺骨も戰友に護られて到着し歡迎官民の淚を誘つた、因に平井一等兵の遺骨は工兵隊將校集會所に安置されてあり近く告別式執行の筈

營口驛頭の感激的光景
營口部隊歸

【營口】步兵第〇〇聯隊第〇大隊〇〇名は既電の如く三十日午後六時十分着の臨時列車にて來營したが驛頭には在鄕軍人分會、警察署、警備團、小學校生徒、各官衙會社等營口全市の官民は擧げて驛頭に集り軍隊歡迎の熱誠を表し一度にどつと湧き起る萬歲の歡聲は天地もゆるがんばかりの盛況であつた迎ふる者も迎へらるゝ者も皆一種言ふべからざるの感に打たれて劇的シーンを現出し全市民は歡迎に國旗を揚げて歡迎の意を表し滿街狂せんばかりの歡迎振りであつたが警備團在鄕軍人分會各區長其他の宿營係員は夫々擔當で家屋に夫々案內するなど多忙を極め同七時

遺骨を送る兵隊さんに 無名婦人の獻身的世話
奉天驛頭の美しい光景

【奉天】戰死者の遺骨が卅日朝奉天驛に到着の際零下七度の寒中もめげず兵隊さんのため我身を忘れてサービスを捧げた婦人の美擧…チチハル攻擊で戰死せる旅順屯營の井上大尉以下卅一名の遺骨が卅日午前十一時着臨時列車で戰友に護られ奉天に到着した際驛頭は見送り人その他の人々で大混雜を呈したその間篤志婦人十數名は兵隊に對して水筒に水を入れたり飲ませたり我子の如くいたはつてゐるその中で四十になる一婦人は二人の女の子をつれて來て零下七度の寒さに足袋も穿かせずホームに立たせて置いてゐるのも省みず一生懸命飯盒を洗つたり水筒に茶を入れたりして甲斐甲斐しく働いてゐた見るに見かねた驛員は

お心づくしは有難いが子供さんが寒くて可愛さうでならぬさ云へばその婦人は早速その子供を驛の待合室に待たせて置いて又も一人で出て來て甲斐々々しい感激サービス振りに一同は淚を流さんばかりに感激してゐた

この緊張 この敏速
警官隊出動のエピソード

【長春】これは憲兵隊の應援出動のエピソード來天方面が極度の緊張をした二十七日のこと長春憲兵分隊に憲兵の應援派遣命令が來天

大馬賊團移動

【鞍山】千山派出所よりの偵偵の談によれば李氏房附近にありし天德、東洋の率ゐる二百餘名の大馬賊團は同部落の趙某家屋に放火し二十九日午後十二時頃中所屯信號所北方の鐵道線路を橫斷し西方に向ひ東関山子方面にある由同派出所では直に同方面に密偵を派し調査中

公安隊と交戰

【鞍山】二十日午後二時頃櫻桃園探礦所東方約一里半の空心臺部落に於て千山より逃走中の匪賊約二十名が晝食中を七嶺子及び王家堡子の公安隊員が探知し目下交戰中であると

石頭城の匪賊

【鳳凰城】去る二十一日石頭城附近に於て狂暴の限りをつくし高島警官隊のため擊退された徐文海の率ゐる匪賊の一團二百餘名は其の後梨樹甸子に根據を構へ盛んに策動してゐるが現に余は錦州政府の命令のもとに今尚鳳城縣公安大隊長であると豪語し布告を附近各所に貼出してゐると

安東に强盜

【安東】續々としての强盜出沒に…

…に移れてゐるが何れ近く施家堡子居住鮮農(目下全部鐵嶺に避難中)によつて出救援實施の嘆願運動を起す模樣である

村長等を脅迫

【鳳凰城】二十八日當地西南方約一里半の大梨子に於て頭目李福田の馬賊の一團現はれ村長其の他を脅迫しつゝありとの急報あり當地警察北里警部補以下五名は守備隊松田中尉の一隊四十二名と連絡を取り午後三時半同地に急行し賊團を擊退した

馬賊を銃殺

【鞍山】去る十九日千山西方十五六町の蜂蟻屯白警團に逮捕された馬賊頭目北國の副頭目黑龍の親戚鄭福林(二〇)は千山襲擊の密偵と判明したので三十日八卦溝李公安分局長の下に護送し山本警部補立會の下に午後一時銃殺の刑に處した

三名組辻强盜

【撫順】廿九日午後五時龍鳳部落鮮人金用玉(三〇)が第二注砂坑北方五百米の地點を通行中三名組辻强盜現はれ金品强奪逃走

安東署では犯人逮捕に努力を拂つてゐる矢先の二十八日午後五時半頃安東驛北第四區第六〇號安東驛運輸保線課方强盜男方に拳銃所持の四名組の强盜押入り留守中の妻女孫氏を脅迫小洋七十二圓金指輪三個合計百二十圓を强奪し何れにか逃走した此の報に接した安東署に於ては直に非常召集を行ひ犯人捜査中

映畫と講演

滿鐵沿線に在る軍隊、警察官慰問及び一般公衆のため本社では關東軍司令部附滿鐵弘報係寫眞班の撮影にかゝる皇軍活動の實況映畫『滿洲破邪行五卷』を各地に於て上映し同時に本社記者時局講演會を左の如く催すことにしました

映畫『滿洲破邪行』

奉天　三日　午後五時から警察署講堂で軍人及警官に對し無料公開、八時から滿鐵社員倶樂部で一般公開(一般公開の分は場內整理として金十錢宛申受けます)

長春　四日　長春高女講堂

撫順　五日

安東　六日　永安小學校で

時局講演　本社從軍記者　森義夫

主催　滿洲日報社

撫順守備隊歸る

【撫順】某方面に出動すべく既報二十七日午前二時三十分奉天より〇大隊に編成され同日午前九時北大營〇〇に於て錦州方面より北上せし敵の裝甲列車の猛擊に遭ひ克く是を擊退〇〇地點を占領爾來同附近一帶の守備に當つてゐた撫順守備隊主力は二十九日午前八時十分一兵の負傷者もなく歸隊した、因にその間克く任務をつくした撫順防備隊は二十九日午後二時解散

…順次終了した

勇敢な田中巡查 匪賊と格鬪逮捕
十里河驛附近に賊

【遼陽】十里河驛東南方の孤樹子の農家李某は廿九日午後三時頃特產物を附屬地に持ち來り之を大洋二百元に賣渡し歸途附屬地から約五支里を離れた頃二人組の匪賊現はれ拳銃と支那刀を突付け所持金を强奪逃走中なる旨派出所に訴へ出たので田中巡查は李巡捕と共に追跡せるに賊は交界溝と稱する部落に逃げ込み田中巡查に發砲せる爲め同巡查も之に應戰漸次接近格鬪の上一名を逮捕したが他の一名は部落民家に潛伏せるが被害者の申立に依り賴人相も判明捜查中同部落での無賴漢である孫吉祥方に潛伏中なるを突止め抵抗するを物ともせず格鬪の末之又逮捕したが匪賊の使用した拳銃と被害金は李某方に隱匿し居る旨申立たるを以て本署から警三十日刑事隊が出動捜査せるも支那刀のみ發見拳銃と現金は預つた李某が持逃げしたものゝ如くであつたと尙逮捕した賊の自白する處に依れば賊の同類は十一名であると

から着したのが午後四時十分頃だつた板野分隊長は直に東伍長(公主嶺から長春へ應援に來てゐた人)と金澤上等兵とに速急命令を發した、處が兩憲兵が外勤から何も知らず分隊に歸つたのは四時半發の急行に僅か七分餘を殘すといふ押し迫つた時間であつた、赴任命令に驚いた私服勤務の兩氏は制服制帽から拳銃、劍、長靴全部を抱たまゝ自動車に乘つて驛へ馳せつけ動き出した列車にやつと間に合つた、この敏速な活動は平素の訓練の賜ものだが如何に緊張してるかゞ窺はれる

軍隊にラヂオ

【大石橋】當地大石橋電燈株式會社愛甲專務は本日獨立守備步兵第三大隊を訪れ今回の滿洲事變に活動する軍隊慰問のためラヂオ一個を大石橋電燈會社の名に於て寄贈した

外國武官一行

【長春】外國武官一行六名は廿九日夜八時半着列車で來長ヤマトホテルに一泊したが三十日吉林視察のため往復一日發ハルビン經由チチハルに赴く豫定

少年團一行

【長春】三島少年團長一行はチチハル戰に於て凜々しい後方勤務を手傳つたが三十日午後十時發列車で歸長の途に就いた

沿線往來

▲大森滿鐵理事　卅日朝來奉
▲首藤滿鐵理事　卅日內地より歸奉
▲津久井三井大連支店長　卅日來奉
▲川上代議士　廿九日來奉
▲岩井少將　二十九日來遼三十日歸遼
▲關東遼陽地方事務所長　三十日急行で奉天から歸遼
▲小野寺清雄氏(鞍山地方事務所長)二日鞍山着任の筈
▲松田蓮氏(鞍山地方事務所地方係長)二日着任の筈
▲加賀雅二氏(前營口永田社長)四日鐵嶺へ旅順に立寄り十日ばかり丸で伊勢の津市に赴き同地で約二ケ月滯在、再び旅順乃木町二ノ三一に寄寓する豫定
▲竹島氏(鮮銀營口支店長)四日着任の筈

顏面と肌膚と毛髮の

ミツワ石鹼

肌膚を整へるには

純正の質で作用の緩和な石鹼を使ふことが肝要です。特に邦人の荒れ易い肌膚に適ふことを目的として、研究されてゐるのが此石鹼の特徴であります。

不斷の品質向上の爲日夜科學的研究に盡しつゝある主要たる技術家諸氏

理學博士 小平 勳氏
藥學士 河村正鑑氏
農學士 三貫次郎氏
工學士 野中正夫氏
工學士

本舖東京 ◎丸見屋商店

溶崩れず 三倍保つ

溫雅に床しい芳香、豊に湧き立つ泡沫、汚垢を良く落して、後に石鹼分を殘さないので、サツパリと心地爽かに肌膚は滑かに美しく整へられて、生彩を發揮した化粧が容易く出來るのであります。

特に作用の緩和な

◎ミツワ石鹼

で汚垢を落して、良く整へた肌膚へ、絕對無鉛の

サーワ白粉

をつけて、乾いたら水刷毛をすると、他の化粧の時とは、全く違つて白粉は冴々して、美しい化粧栄が致します。

◎ミツワ石鹼で洗ひ整へた地肌へ、完全に絕對無鉛でツキの良いサーワ白粉をツケて、乾いたら水刷毛して仕上げ、さて寫眞を撮つて見ると、他の化粧の時とは全く違つて斷然と鮮かな美しさに寫ります。

K.22

每度ありがたう御座います

お買物上手の皆様に

逸早く選ばれた….

福助足袋

さすがに皆様のお眼が高い。一等品福助の特長をよく御存知で、足袋は福助こ御指定には一同感激

姉妹品

家庭足袋
萬歲足袋

曙の鐘 (126)

石田潮 作　河野想多 畫

短刀（二）

あけみが一言云ふことがあると申出ると、署長は少しためらつたが

「では、署へ來て云つて下さい」

と云ひ殘して部屋を出た。その後で巡査は總ての人を室外に送り出し、死體一個を殘して其の部屋に封印をかけた。

署長は署につくと、關係人一同の到着するのを待つ間に、兇器その他の證據品を各その受持ちに分け、精細な科學檢査をして貰ふことにした。

そこへ巡査と共に大山家の殆ど總ての人が自動車で到着した。署長はあけみだけを除いて、他の總ての者を審査課に廻し、あけみだけを己の部屋に呼びつけた。

あけみは呼び出されると、平然と署長の前に歩みよつた。父が殺されたと云ふのに、取り亂したところなぞ一點も見せなかつた。署長は男まさりの其の態度に先づ好意を感じて

「先程あなたが私に云ひ度いことがあると仰有つたので、取りしらべと別に私自身あなたの其の云ひ度いと云ふことを耳に入れて置かうと存じて御呼びしました」

と寧ろ署長の方が少しかたくなつたやうにぎごちない調子で云つた。

「さうですか」とあけみは鳥渡考へこむやうな風をしたが、直ぐきつとなつてハッキリした言葉でかう云つた「私は公人としてのあなたにでなく、私人としてのあなたに一つの御願ひがあるのですわ。もう御承知かも知れませんが、私の父大山剛太郎は世間的に云つて十分非難さる可き性格の所有者でした。が、死んだ以上このことだけは成る可く父の爲め佛の爲めに世間に發表したくないのですの。外のことは――父を殺したのが其の實子であつたにしろ、さう云ふことは發表せねばならないことですから、いくら公然と發表してもかまひませんが、發表せずにもすむこと――卽ち大山剛太郎の過去の亂倫な生活だけは成る可く新聞關係の人に申さないで下さいませんか」

「そんなことは私からは決して申しません。また係の人へも成る可く秘密にするやうに、さう申しておきませう」

「さうですか、私、ほんとに嬉しうございますわ」

とあけみは揉手と云つたやうに手をさすつて喜んだ。

そこへ取りしらべのかかりらしい部長が這入つて來て、署長を廊下に呼び出して報告を初めた。大山剛太郎の亂れた素行と、今度の事件の經緯であるらしかつた。壁をへだててゐるのに、あけみの落ちついた心には二人の話聲が時々ハッキリ聞こえて來た。最後に部長は「大山の家から連行して來た者の取りしらべは總つたし、別に怪しいものも其の中にはゐないらしいから、一と先づ歸宅を許さうと思ふが何うか」と署長の意見を求めた。

「さうだな。ぢや、ここにゐる長女のあけみと云ふ女を一應取りしらべて、一緒に歸してやつたがよい」

と署長は云つて、最後に可成り大きい聲で附け加へた。

「親父に似合はず、なかなかしつかりした女だ」

部長は部屋に戻つて來て、あけみを取りしらべ室に連れて行つたが、あけみは「事件の夜洋館には行つてゐたが、犯行については何も知らなかつた」と答へて直許された。が、その部屋を出た時、彼女は壯三の狂つたやうな聲が入口の方から聞こえて來るのを知つて、顏をしかめて立止まつた。その顏には明に心の苦みが現れてゐた、が

「犠牲になつて貰ふより仕方がないわ」

と口の中で云つて、氣味惡く笑ひながら歩き出した。

新刊紹介

▲陸軍全兵器寫眞集（小林勇發行）従來兵器は科學の粋を萃めその尖端の軌跡を辿つて來てゐる、若し萬人がこれに十分の注意と理解とを持たずその知識を求めることに冷淡に過したならば國防上誠に寒心に堪へない、本書は從來のこれらの秘密と異り十分な努力を以て材料の蒐集に努力され、專門家の緻密なる科學的知識を常識化平易化されて軍事科學の知識を一般に知らしめるに最も適當であると考へる、これによつて直接軍に携はるものも一般國民も兵器の知識に關して得るところ甚大であらう（價七十錢、東京市神田區一ツ橋通九鐵塔書院發行）

▲支那（十一月號）滿洲事變と國際聯盟（根岸佶）國際政治學上より觀たる滿蒙問題（神川彦松）國際聯盟は犯罪人の隱家に非ず（大卯山次郎）在滿鮮人問題の重大性・星野桂吾）支那の民衆教育（竹之内安巳）對日宣戰勝算あり（梁永凱）日支交通の資料的考察（永野梅曉）價四十錢、東京市麹町區三年町一番地東亞同文會調査編纂部

▲滿鐵調査月報（第十一號）調査及、研究、資料、時事雜錄、法令等（價五十錢、大連市紀伊町九一中日文化協會取次販賣）

▲ソウエート聯邦事情（十一月號）ソ聯最近の對西歐關係と滿洲事變、日露關係と滿洲事變、ソ聯の對支關係と滿洲事變、ソ聯政府及黨中央機關紙の論調（滿洲事變に對する）東支鐵道營業成績（價五十錢、大連市紀伊町九一中日文化協會取次販賣）

▲露亞時報（第一四四號）價五十錢、北滿哈爾濱道裡東經緯街四號哈爾濱商品陳列館

▲水島（十二月號）價三十五錢、大阪市南區南炭屋町和田内水島社

▲合崩（十二月號）價二十錢、大連市柳町三番地滿洲短歌會

▲つはもの（第三百二十號）價四錢、東京牛込區原町三ノ八つはもの社

けふの放送

大連 JQAK 十二月二日

▲午前七時 ラヂオ體操

▲午後六時五十分 ニュース

▲英語講座「テキスト第三十三課」大連神明高等女學校山田長三郎

▲ヴァイオリン獨奏（イ）「カンツォアネッタ、二長調司伴樂第二樂章」（ケヤイコフスキー作）（ロ）「チヤンソン・クリステ」（チャイコフスキー作）滿鐵音樂會阿部武夫、ピアノ伴奏吉村千代子

▲長唄「八犬傳」唄杵屋榮多賀、三線同六榮

▲浪花節「乃木將軍」現代雲

▲職業紹介事項

▲天氣豫報

▲ニュース

東京 JOAK 十二月二日午後六時三十分

▲講演（大阪より）「滿蒙問題の經濟的考察」經濟學博士作田莊一

▲薩摩琵琶「常陸丸」齋藤岳峰

▲獨唱「長唄越後獅子」アルト四家文子、伴奏伶明和洋合奏團指揮町田嘉章

▲連續講談「幡隨院長兵衛」（第二席）神田伯山

([illegible] 第三種郵便物認可)

滿洲日報

發行人 鈴木[illegible] 編輯人 橋本喜代治 印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

撤兵、調査委員派遣の決議案受諾可能

日支代表正式宣言を發表

【パリ三十日發至急報】芳澤、施肇基日支兩國代表は今日それぞれ日本軍漸次撤退並に支那調査委員任命に關する理事會決議案を急速に受諾する可能性を示せる正式宣言を發表した

日本代表宣言要旨

【パリ三十日發】理事會決議案に關する日本側の公式宣言左の如し

日本は聯盟の日支紛爭に關する決議案に對し若しそれが馬賊その他の不法分子に對する自衞行動につき日本の要望を滿たす豫示的條項（ブリコーショナリークローズ）を規定するものにあるならばこれを受諾する用意有るものである

支那代表聲明要旨

【パリ三十日發】本日支那代表部は若し日本軍が遼河以東に撤退したとの報道が事實なりとすれば支那代表部は理事會に對する用意ありとし左の如く聲明した

若し日本軍が錦州方面より撤退し遼河以東に後退したとの報道が事實なる事判明すれば、支那は日本軍の完全なる撤退を要求する事なく滿洲問題解決に關して理事會の決議案を受諾する用意を有するものである

匪賊討伐に對しては

わが軍の行動自由を主張

撤兵問題の修正承認

【パリ三十日發】本日の決議案起草委員會は午前十一時開會施肇基代表も出席午後一時まで決議案を討論更に午後四時より再開、再び伊藤述史氏が出席一時間に亘り討議を行つた、之に先立ち伊藤氏は昨夜起草委員會議長に對し決議草案に關する日本政府よりの訓令を認めた覺書の飜譯を手交した後、理事會代表にも配布されん事を求めたが、本日の委員會においては右覺書を中心に討議をなした、覺書の內容は調査委員會の機能に對する日本の立場を明かにし且つ匪賊に對する日本軍の行動の自由を主張したものである、而して本日の討議の結果は僅に一個の問題、即ち匪賊に對する自由行動の議題が未解決に殘されたものと觀てゐる、而してこの難關も決議案の全文に之を言及する事に依つて除去されるものとみられてをりその他の未解決の點は概して障礙にならぬものと觀測される

決議案起草委員會の形勢

【パリ三十日發】目下起草委員會「一に懸つてゐる決議文草案は水曜日「一に草案し非公式に發表されてゐるが、起草委員會における討議の狀況は左の如し

一、第一點は九月三十日の理事會決議を繰返してゐるが撤兵に關する點は日本の修正を承認されてゐる

一、第二點は戰鬪行爲に關するイニシエチーブを執らぬこと、司令官に命令すること、事態の擴大防止等が要點となつてゐるも、司令官に對する命令の點は日本の主張通り削除し理事會議長の宣言中に入る模樣

一、第三點、兩國政府は事件發展につき理事會に情報を送る事

一、第四點、理事國は現場で蒐集せる情報を理事會へ送る事

一、第五點、支那に調査委員を派遣する點につき議長の宣言は議長の自由に委すべきだが本日まで決定せる件左の如し

一、兩國政府が特に調査を要求する事あらば理事會に申出られたし

一、調査委員會は必要の場合理事會に報告して可なり

赤十字看護婦、滿洲へ出發

日本赤十字社から滿洲に派遣される看護婦廿名は廿七日午後一時より東京芝の本社前に甲斐々々しく婦長高橋たかのさん以下勢ぞろひし明夜出發戰地へ臨む事になつた【寫眞は赤十字本社前にて】

參議官、司令長官

親補式を御擧行

けふ宮中鳳凰間にて

【東京一日發】軍事參議官並に司令長官の親補式は一日午後一時三十分宮中鳳凰間において若槻首相侍立の上行はせられ、在京の山本大角の兩大將及び小林中將に對し天皇陛下より順次親補の勅語を賜ひ若槻首相からそれぞれ職記を授けられ地方在職中の山梨、野村、中村、末次四中將の職記は內閣より海軍省を經て傳達された、なほ同日內閣より左の如く海軍次官交迭を發表した

海軍中將 從四位勳一等 左近司政三
任海軍次官 敍高等官一等
海軍次官 小林躋造
依願免本官

高松宮殿下

砲術學校御入學

海軍大尉大勳位 宣仁親王
海軍砲術學校高等科學生

海軍異動

（一日附有刊續き）

【東京卅日發】海軍大異動は十二月一日附を以て發表された、既報の外主なる者左の如し

永雷部長海軍少將 小栗信一
補軍令部出仕 橫須賀人事部長

補第二水雷戰隊司令官 海軍少將 亥角喜藏
補霞ケ浦航空隊司令 海軍少將 後藤章
補海軍大學校教頭 海軍少將 小林省三郎
補軍令部出仕（各通） 海軍少將 井上繼松
補佐世保艦船部長 海軍少將 太田質平
補軍令部出仕 航空本部總務部長 海軍少將 前原謙治
補橫須賀工廠造兵部長 海軍砲術學校長 海軍少將 大野寬
補第一潛水戰隊司令官 第一艦隊參謀長 海軍少將 島田繁太郎
補潛水學校長 平壤鑛業部長 海軍少將 伊地知四郎
補軍令部出仕 佐世保海軍人事部長 海軍少將 柴山司馬
補橫須賀防備隊司令 吳防備隊司令 海軍少將 岩村兼言
補軍令部出仕 吳鎭守府參謀長

補佐世保防備隊司令 海軍少將 [illegible]義一
補佐世保鎭守府參謀長 海軍少將 河村儀一郎
補航空本部總務部長兼技術會議々員 佐保防備隊司令
補佐世保鎭守府參謀長 海軍少將 新山良幸
補海軍大學教頭兼技術會議々員 ウエート大使館附武官 海軍少將 有馬寬
補艦政本部造船監督兼造兵監督 橫須賀艦船部長 海軍少將 在塚喜友
同 海軍少將 金谷三松
同 山口清七
同 武田維幸
同 相良達夫
補軍令部出仕（各通） 松本忠佐
補吳鎭守府參謀長 海軍少將 井上[illegible]治
補橫須賀海兵團長 海軍少將 秋山虎六
補艦政本部第五部長 海軍少將 南豐一
補日向艦長海軍少將 豐田副武
補軍令部參謀兼技術會議々員 海軍少將 小野彌一

補軍令部出仕 海軍少將 倉賀野明
補吳軍需部長 海軍少將 山下兼満
補吳工廠水雷部長兼工手養成所長 海軍少將 植松練磨
補第二水雷戰隊司令官 陸奧艦長海軍少將 毛內炳効
補佐世保艦船部長 海軍少將 原慶太郎
補砲術學校長 海軍少將 市川大治郎
補橫須賀鎭守府出仕兼橫須賀工廠 航空機實驗部長、艦政本部出仕 海軍少將 服部正計
補艦政本部出仕 橫須賀鎭守府附 海軍少將 佐藤三郎
補霞ケ浦航空隊司令兼技術會議々員 海軍少將 長尾秀二
補橫須賀艦船部長 吳工廠電氣部長 海軍少將 古市龍雄
補艦政本部第二部長 佐世保海軍病院長 軍醫少將 今吉政吉
軍醫學校教頭 軍醫少將 石原亮
軍醫學校教官

補軍令部出仕（各通） 軍醫少將 [illegible]幸治
濟海軍病院長 軍醫少將 阿部文五郎
補軍醫學校教頭兼教官技術會議々員 軍醫少將 伏島忠雄
補佐世保海軍病院長兼佐世保鎭守府軍醫長
補軍令部出仕 主計中將 刑部齊
吳鎭守府主計長 主計中將 入谷清長
補經理學校長 艦政本部第二課長
主計少將（進級） 永宮二男造
補吳經理部長兼吳鎭守府主計長 舞鶴要港部經理部長 主計少將 三輪寬
補艦政本部出仕兼造船造兵監督會計官 佐世保造船部長 造船少將 久保綱彥
補艦政本部出仕（各通） 造船少將 中川[illegible]
補佐世保工廠造船部長 舞鶴要港部工作部長 造船少將 河東卓四郎
補艦政本部出仕 佐世保造機部長 造機少將 吉原重時

中立地帶設置問題

聯盟の干與には反對

參謀本部首腦部の意見一致

【東京一日發】參謀本部は三十日午後四時首腦部會議を開き錦州、天津方面に對する軍部の方針につき種々協議した結果

一、錦州方面に中立地帶或は緩衝地帶設定の根本趣旨には贊成するも聯盟がこれに干與することは日支直接交涉に牴觸する種々の不都合な點少なからざるためこれを實現せんとせば日支直接交涉を鐵則とし且つ支那軍の關內撤兵を條件とす

二、天津方面も自衞權の發動を餘儀なくせらるれば軍事行動を執るも今のところ支那側の行動は著しく發展してゐない、しかし充分の準備の下に深甚の考慮を拂はねばならぬ

旨に意見一致し六時半散會した

秘密理事會

修正案協議

【パリ三十日發】聯盟十二ケ國秘密理事會は卅日午後五時四十分開會、決議案起草委員會の進行狀況日本の第二項修正要求の强硬なる事等につきブリアン議長より報告を受け對策を協議し午後六時五十分散會した

國際的支持を

施代表希望

【パリ三十日發】本日決議起草委員會と支那代表施肇基氏との會談において日本側が支那の受諾するといつてゐる錦州不攻擊の日本の誓約をもつと强いものにするかといふ事が討議されたが、施代表は或種の國際的支持を得たいと述べたと傳へらる

錦州以東の張學良軍

きのふ約二倍に增加

密偵たちの確認せる情報を綜合するに張學良は依然として錦州以東に兵を增加しつゝあり三十日列車に滿載して東方に輸送せる兵力は廿九日に比較して約倍である、この增兵は何れも列車生活を續けてをり移動性をもつてゐる【奉天電話】

舊吉林軍將領

續々歸順

農安駐屯の吉林騎兵旅團長常堯臣は最近熙洽氏に歸順し吉林省政府の命令に服することになつたので熙氏は同旅團に冬服を支給した、吉海沿線警備の李桂林も完全に熙氏の節度に服し熙氏の命令で吉海線の大馬賊團頭目殿臣の討伐に着手した、吉林警備司令たりし熙政知氏が任命された【長春電話】

滿洲問題の解決の方針

南京外交部長顧維鈞氏の聲明

【南京三十日發】外交部長顧維鈞氏は本日左の聲明を發した

余は現下の國難に際し國民黨幹部及特別外交委員會と協力して邦家の利益擁護のため最善を盡す決心なり、目前の急務は滿洲問題で、余は正義の原則と東洋永遠の平和を基礎とし國際聯盟並に關係友邦と協力し支那の領土保全に奮闘す、依つて吾人は自衞行動の準備を怠らぬと共に平和解決のあらゆる方法を講究せん【寫眞は顧部長】

蔣氏、主席代理を汪精衞氏に依賴

汪氏は婉曲に辭退す

二十九日蔣介石氏は汪精衞氏に對し速かに南京に來り余に代つて政府の主席並に行政委員長を代理して貰ひたいことを申出で汪氏來れば自分は北上したいと稱してゐるが汪氏は自己の立場上今急に南京に行くことは廣東政府の承認を得なければならぬと婉曲に辭退してゐる【奉天電話】

直接交涉に不干涉

日本のオブザーバー反對にブリアン議長釋明

【パリ三十日發】理事會の一般空氣は日本の中立地帶オブザーバー設置反對により再び紛糾して來た芳澤代表は昨夜ブリアン議長との會見で再び日本の態度を力說したが其後ブリアン議長は芳澤代表宛發せられた書翰を本日左の如く公表された

余は理事會提案に關し何等か誤解あるものと思考する、理事會提案は日支紛爭の直接解決し得るものを第三國に依つて解決せんとするものでなく、危險な事態において執る或方法であつて之は錦州において對峙して居る兩軍の戰鬪を避け人命の損傷を避けんとする例外のものであつて、之は日本政府が將來支那政府に提出すべき最も廣汎なる提案を何等害する事なく實行出來るものであると思ふ、支那の提案は國際軍派遣を含んでゐたが理事會は之を困難と思惟し之が代案を提出したのである

一兩日中に公開會議

【パリ三十日發】聯盟理事會の日支紛爭に關する決議案起草委員會は三十日日支兩代表が右決議案受諾の可能性につきそれぞれ公式の言明をなした結果、俄に活氣づき一日は終日に亘つて文案の完了に努力することゝなり、これがため十二ケ國秘密理事會も一日は會合を休み專ら起草を急がしめ出來れば二日遲くも三日には公開理事會を開き右決議案を可決し波瀾多かりし理事會に一段落を與ふることゝなつた

自動車路を完成

錦州へ兵を輸送

張學良の對日戰備

【天津一日發】張學良は

一、北平、通州、順宜、密雲、小北口、熱河、朝陽に至る線

二、灤縣、喜峰口、熱河に至る線

の自動車道路を完成しごしく錦州に兵を輸送してゐる、これは萬一の時の退路とも見られるが學良の對日戰備として注目されてゐる

背信の支那軍隊

事毎に日本を敵視

天津邦人成行を警戒

【天津特電一日發】支那側は約りに支那街の對日陣地を撤去してゐるが一方

一、聯合記者がイタリー租界で支那便衣隊に狙擊され

二、日本租界通過の通行證所持の支那人はみつけられ次第殺され

三、その首は金鋼橋で晒され

四、日本人使用のボーイを脅迫して日本租界を退去せしめ

五、滅茶苦茶の新聞を發行して日本討伐を宣傳する

など事毎に日本を敵視して居る故一般邦人は決して日支官憲の交涉[illegible]

段氏を盟主として

北平に新政權

策源地は天津佛租界

【天津一日發】韓復榘、孫殿英、孫傳芳氏等が段祺瑞氏を盟主として反蔣張運動を開始してゐるが、右運動はいよいよ具體化し北平に新政權樹立も近しと見らるゝに至つた、更に山西派、馮玉祥、吳佩孚系も參加し對內外的にも鞏固なものとすべく目下密使の往來織るが如く天津フランス租界を策源地としてゐる

王樹常、學銘

益々反目

【天津特電一日發】王樹常は頻りに對日敵對行爲を辭めて居るが張學銘は依然としてその態度を改めず學良の命を含んで未だに頑張振りを續けて居る、從つて王と學銘の間に常に反目し學良は南京行きの豫定であつた張作相を監視のため天津に寄越した、一說によると王樹常は學良の評判を落すため便衣隊を組織したともいはれ今後兩者の間は注目に價する、その本部はフランス租界の西開方面らしい

便衣隊を充實

暗中飛躍

【天津特電一日發】王樹常は新に張學良よりの命令により河北省大名の王玉如を旅長に任命、河北省暫編第一旅としたが目下天津四鄉の土民より募兵中、そして八里臺と楽家口に辦公處を新設、今後對日活動を嚴にするといひ、仄聞する處によると一日までに五百の便衣隊を充實しこれに暗中飛躍させる、王はこれが經費として一萬元を計上した

チチハル部隊交代

馬占山軍と再び相對す

關東軍司令部當局の語るところによればチチハル方面におけるわが軍はさきに僅少なる一部を同地に殘置しその主力を撤去したところ馬占山部下徐寶珍の指揮する約三千名は張學良、錦州政府と氣脈を通じわがチチハル部隊を反擊すべく既に前進を開始し刻々チチハルに接近しつゝあり今やチチハルは容易ならしき危險に直面するにいたつた、依つてわが軍では一日新鋭なる一部隊をチチハル方面に急派して殘置部隊と交代すると共に馬占山軍と再び相對するのやむなきにいたつた【奉天電話】

馬占山が强制

募兵

【ハルビン一日發】馬占山は十一月二十一日廣信公司總部と海倫に到着し廣信公司支店を本營として盛んに募兵し一井子（黑龍江省では部落を井子と稱し海倫縣のみで百二十八井子あり）から二十五名の壯丁を强制徵募してゐる、一方軍用麥粉を製造するため小麥を買占めてあり、チ、ハルから持去つた無電臺も海倫に建設中である

徐軍進擊を

馬占山阻止說

【チチハル一日發】大安に在る徐寶珍のチチハル進擊計畫は馬占山の阻止により目下停頓の態である一が我軍は應戰の準備中

濱縣臨時政府

自滅か

【ハルビン一日發】濱縣の臨時吉林省政府は熙洽氏の吉林政府に壓迫されて今や孤城落日の窮境に在り、政府首腦者も代理主席誠允、建設廳長王賓毅、財政廳長徐靖遠の三名のみで省政府の體を成さず、濱縣を中心とする各縣政府に租稅の送金を命令してゐるが熙洽氏の

天津事件を抗議

重光公使顧部長に

【南京三十日發】重光公使は三十日午後四時顧維鈞氏を訪ひ新任の祝辭を述べ先づ口頭で天津事件に關する支那側の不正に抗議を提出し、中立地帶其他諸懸案問題につき協議した、公使は一週間滯在の豫定なるが公使は語る

先方の出樣によつては日支直接交涉開始の豫備的折衝をやつて見たい

明年度公債發行額

三億二千萬圓に上らん

【東京一日發】今日迄に決定せる明年度の公債發行總額は既に二億千五百八十萬圓の巨額に達してゐる卽ちその內譯は（單位千圓）

一般會計

項目	金額
赤字補塡公債	六五、〇〇〇
事業公債	四一、二〇〇
行財政整理に依る退職資金交附公債	一五、〇〇〇
電話擴張事業公債	一七、〇〇〇
震災善後公債	七、〇〇〇

特別會計

項目	金額
鐵道公債	四〇、〇〇〇
朝鮮事業公債	一五、〇〇〇
關東州事業公債	六〇〇
（以上既定計畫に基くもの）失業公債（鐵道省）	一五、〇〇〇
合計	二一五、八〇〇

で右の外六年度歲入缺陷は六千萬圓を下らないものとされてゐるので決算に當つては之亦赤字補塡公債に依るの外なく滿洲出兵費二千萬圓、同救恤費千五百萬圓、合計三千五百萬圓見當の軍事公債も發行の要あり、更に交附公債等を總計すれば明年度には三億二千萬圓以上の公債を發行する事となるであらう

失言問題落着

【ワシントン三十日發】出淵大使は本日電話で國務長官スチムソン氏と會見、スチムソン氏の說明により日本外務當局は失言問題を水に流すべき旨を告げ、この問題は落着した、出淵大使は更に滿洲の事態につき說明し日本軍は概して滿鐵沿線地方に次第に撤退しつつあり、今ではチチハルにも僅か一千以下の日本軍を有するに過ぎずこの結果滿洲の事態は大いに樂觀されてゐる

與黨、增稅に反對

藏相は增稅案を固執

【東京一日發】與黨內には增稅案に代るに小麥以下五種の關稅引上げによる增收を以て增稅案は見合はすべしとの意見起り井上藏相は三十日夜、俵、川崎、增田の政務調査委員と會合し與黨側は增稅案中關稅案を織り込み增稅額を最少限度とするか或は增稅案を全然撤回するかを主張したるに對し井上藏相は增稅案を固執し意見一致を見なかつた、これがため一日の幹部會は井上藏相を廻り異論續出の形勢に在り、而も安達內相は增稅よりも關稅改正に依るべしとの意嚮を有し居り或は井上藏相の面目問題ともなる處あり、政局に重大影響あらん

海軍將士にも

續々慰問品

【橫須賀三十日發】支那沿岸警備の任に當る海軍各艦乘組員に對しても陸軍と同樣國民からの同情溢れる慰問品が續々持込み鎭守府では三十日初めて右の取扱ひ規定を設け海軍省經理局へ報告すると共に海軍當局よりそれぞれ發送する事となつた

教育會派遣員

講演終る

南滿教育會內地派遣員は三班に別れて三府十八縣に亘り十六日間晝夜の活動を續けその講演九十三回聽衆約六萬を數ふるの盛況を以て二十八日終了せる旨入電あつた因に第一班の丸山大連二中校長等は二日着うらる丸にて歸連の筈

內海安吉氏

帝國新報社長に

元日本電報通信社理事大連支社長內海安吉氏は今般東京市日本橋區蠣殼町株式會社帝國新報社の去る十一月廿四日の株主總會において取締役社長に選任直に就任受諾同廿五日より社務を執掌するに決した

天津の支那兵が我航行權を蹂躪

【天津特電三十日發】廿九日陸戰隊を天津に輸送したるはんよう丸を支那兵は白河河口にて停船を命じ乘組支那人に輸送を詰問し今後軍隊を輸送せば銃殺すると脅迫しまた陸軍比治山丸に對し無禮にも停船を命じたるも勇敢なる船長はこれを一笑に附し溯航した、軍當局は目下支那側に對し嚴重抗議中白河の航行權は完全に蹂躪されつゝある

假協定調印

事實無根

【北平一日發】張學良は昨夜深更聲明書を發表した

過日矢野參事官との會見において錦州軍を撤退し中立地帶設置に贊成して卽時假協定に調印せりとの風說は事實無根の臆說に過ぎぬ

省政府よりも同樣の命令があるので各縣政府は去就に迷ひ兩方に稅金を送つてゐない

北平排日感情

激化

【北平一日發】天津事件をきつかけに當地學生を中心とする民衆の不穩分子は「卽時日本人を國外に放逐せよ」「中日分子を斬せ」との傳單を街路隈なく撒布し排日感情頓に激昂した市當局は直に武裝保安隊を出動し警備に當つてゐる

東北艦隊革命

未だ表面化せず

【青島三十日發】當地を根據地とする東北艦隊は張學良の勢力失墜の折柄動搖の色あり、然し青島で事を起せば日本海軍を刺戟し自滅の惧れありとの自重論あり獨立の强硬論を押へ未だ表面化するに至らない

駐屯部隊の

在營延期

施行範圍を改正

【東京一日發】陸軍では曩に關東州又は滿洲に在る部隊及び飛行第六聯隊に屬する現役兵並に支那駐屯軍司令部に屬する電信兵の復役又は在營延期を發表したが、更に一日陸軍省令で滿洲を支那に改めた結果、支那駐屯部隊及び天津第一回出動部隊にも及ぶ事となり、同時に支那駐屯軍に屬する電信兵を除る旨發表した

うらる丸

二日午前九時大連港外着の豫定

人事

◀清水豐太郎氏（滿鐵商事部庶務課長）卅日夜發奉天へ
◀首藤正壽氏（滿鐵理事）一日朝着歸任
◀吉村市太郎氏（陸軍二等獸醫正）一日午前十時出帆のばるびん丸にて離連
◀角野久造氏（滿洲福紡專務）同上

蛇角

新政權は滿洲ばかりの問題でなくなつた、北平でも張學良歿落しの計畫が漸く熟した。

◇

韓復榘、孫殿英、孫傳芳に山西派、馮玉祥、吳佩孚等の反蔣張大同盟が出來かゝつた、之れ固より北平に新政權樹立の運動。

◇

青島の東北艦隊は張學良からの支給不渡りで不平、溫樹德と提携して此處に新政權樹立計畫。

◇

其他東北軍の中でも、獨立して新政權樹立を目論むものなしとせず、腹心の人でもあてにならぬが常、天津も滿州も錦州も必ずしも强の確乎たる地盤ではない。

◇

一日の大連市民は我忠勇三十一士の遺骨を奧地より迎へ、更に新來錦銳の獨立守備隊を奧地に送る送迎共に感激の渦だ。

『東亞の謎』休載

旅順聯隊戰死者に驛頭感謝の涙
けさ戰友に護られて大連驛に着く

昂々溪附近の激戰に於て名譽の戰死を遂げた旅順歩兵第三十聯隊の井上中尉以下三十一勇士の遺骨は榎本中佐以下十七名の戰友に護られて一日午前七時の十八列車で大連驛着、直に

靈柩車 のみを旅順線百一列車に連結し同七時四十五分旅順に向つた、朔風吹き荒ぶ北滿の原野に力戰力鬪、斃れて護國の鬼神となつた勇士の遺骨を出迎えんとする市民は未だ明け切らぬ午前六時半頃より大連驛に參集し降車ホーム並に旅順線ホームは市民並に各團體旗、校旗、會旗によつて埋められた、午前七時粛々とホームに入つた十八列車の機關車直後に靈柩車は連結されてゐたが「昂々溪附近戰鬪戰歿者、歩兵第三十聯隊、靈柩車」と記した白木の札を眺めては出迎の市民一同思はず

敬禮を せずにはゐられなかつた、靈柩車を百一列車に連結後出迎への公私各機關代表者並に各團體代表者に靈柩車内の燒香が許された、既に幾度か戰歿勇士の遺骨を出迎へ戰傷者を迎へたことではあるが香煙立ち罩めた靈柩車の内勇士の遺骨を並べた祭壇の前に立つては更に新たなる感謝と感激に燒香する手はふるへ自から目に涙の浮び來るのを禁じ得なかつた、午前七時四十五分遺骨車は感謝にむせぶ多數市民の見送りのうちに再び榎本中佐以下の戰友に護られて旅順へと急いだ

遺族の姿痛ましく
悲しき勇士を迎へる
遺骨は旅順驛から偕行社へ

勇士の遺骨を乗せた列車は一日午前九時十分旅順驛着、驛頭には塚本長官、大谷司令官、津田第二遣外艦隊司令官を始め在旅文武官、各團體、學校生徒、一般市民約四千名はプラットホームより朝日町西側に整列、戰鬪神に下車、榎本中佐の挨拶の後警察官、騎馬憲兵二騎前驅に先頭に戰友に捧持されたる遺骨、次に德田大佐、榎本中佐、井上、岡村、水口各遺族が自動車にて、續いて各團體旗、町内旗が粛々と乃木町大通りを經て偕行社に到着、十一時より在旅各宗僧侶により官民參列の上讀經回向が行はれたが、英靈に接して切々たる思ひに胸を打たれてゐた出迎へ人一同は更に遺族の痛々しい姿を見ては流れ出る涙を禁じ得なかつた、なほ一日晝間は在旅陸海軍職員婦人團によつて英靈は護られ夜間は在郷軍人旅順分會、消防義勇隊、警備團員によつて通夜が營まれ二日以後は歸還出發まで市民交互に通夜が營まれる筈であるが、市を中心とする慰靈祭は五日午後一時より昭和園において執行されることゝなつた

遺骨歸國日取

一日到着した歩兵三十聯隊戰歿者の遺骨は全部一先づ原隊に歸還する筈であるが、歸還日取りは二日に協議決定する筈である

滿鐵社員の奮闘に續々謝電

十一月廿三日チチハルに駐在してゐた多門師團長から滿鐵總裁宛左記鄭重な謝電があつた

御懇電を謝す、困難なる鐵道輸送に關る貴社現業員各位の熱誠なる援助に對し其の勞苦を感謝す

また鐵道同志會長根津嘉一郎氏から滿鐵總裁宛左記の通り慰問電報があつた

滿蒙に事端を發せし以來貴社員一同日夜危險を冒し寒威と戰ひ粉骨砕身帝國の威信と權益の擁護に盡瘁せらるゝ御勞苦に對し深甚の謝意を表す、今や貴社の使命益々重きを加ふるに當り邦家の爲貴社御一同の御健康を祈ると共に益々御奮闘あらんことを希ふ、右全國鐵道軌道會社を代表し謹んで御慰問申上ぐ

遺骨を迎へた旅順驛頭

戰死者陞叙
四將校餘榮に浴す

【東京一日發】支那事變戰死者に對し左の如く陞任及び特旨叙位の御沙汰あつた

歩兵少佐 衣笠繁一
關東軍輜重兵少佐 川野寛一
叙正六位(各通)
工兵第二十大隊 工兵少尉 阪本健三
任工兵中尉叙從七位
騎兵第二聯隊附 騎兵少尉 吉澤留吉
任騎兵中尉叙從七位
歩兵第七十八聯隊

けさ重任へ
元氣潑剌と出發
各地の守備隊初年兵

來連中の獨立守備隊前期新入營兵の中第一回輸送の公主嶺第一大隊第二、三中隊九十三名、長春同大隊第四中隊四十七名、大石橋第三大隊第二、三中隊九十四名、鞍山第四大隊第一中隊四十七名、安東同大隊第四中隊四十六名、合計三百二十七名は輸送指揮官芳賀長春守備隊長に統率され一日午前十時三十分發列車で北行した、驛頭には辛島民政署長、小川市長、山西滿鐵理事、各警察署長、在郷軍人、市會議員、區長および各學校生徒、各團體、その他多數市民見送り各自日の丸の國旗を打ち振り熱狂裡に萬歳を絶叫すれば出發の軍隊もまたこれに應へ元氣潑剌として出發した

練習艦隊參觀

練習艦隊旗艦磐手及び戰艦淺間の二艦は五日午前仁川より來連入港九日まで碇泊するが、五日午後より八日午前まで日本人の身許確實なる者に限り艦内參觀を許可される、磐手は丙埠頭三十七番、淺間は第四埠頭三十八番に着けられるが、團體參觀希望者は磐手に架設された滿鐵電話三一一二二番宛申込まれたしと

擧國一致の眞心!
一儲け當て込んで來た品を投出して自分は彈丸を運ぶ
『愛國エピソート』

約十日間に亘りチチハルに出張中であつた滿鐵地方部人事係主任武田雄氏は一日朝歸連したが語る今度の黑龍江省軍との戰爭で皇軍が現はした威力は既に周知のことであるが非戰鬪員である滿鐵社員や一般在留邦人の隆の努力も非常なもので軍部方面でも口を極めて讃めてゐた、擧國一致の強さを今度ほど感じたことはない、これは中谷警務局長の話であるが内地の或カフエー經營者が滿洲事變をあてこんで來滿し果物やその他色々な料理の材料を多量に仕入れて奧地に入り込まうとした時偶然今度の戰に遭つた、その男は戰が始まるや自分の持つて來た商賣用の食物は全部投げ出して兵隊さんに贈り、自分は彈丸運びなどを手傳つた、その男が後で述懷して「私のこれまで歩いた道は間違つてゐた、私ははじめて日本人としての喜びを感じた」と言つたさうだ、まだチチハルの支那人は日本軍の秩序正しいのに感心をし皆安心して商賣にいそしんでゐた、黑龍江軍側で觀戰してゐた外國武官は日本の突撃の勇猛敏速を口を極めて賞めてゐた

全國を遊説する
滿鐵の講演と映畫班

【東京特電一日發】「當面せる滿蒙の危局を打開し、友誼と協調との可能なる新關係を設定せんがためには、この機會に於て萬難を排除し、吾國の滿蒙に於ける指導的地位を確立せざるべからず、之がためには何よりも先づ國論の大乘的結束こそ刻下の急務である」といふ見地から滿鐵及び東亞經濟調査局に於ては滿蒙の事情に精通せる左記九氏を選拔し四班に分ち十一月二十九日東京出發、全國に亘り滿洲事變大講演會行脚の途に就いたが、これに對し軍部方面でもこの計畫に贊成し、一行に加はることゝなり滿鐵守備の實性より、今回の日支軍衝突の眞相を說明することゝなつた、又同時に事變映畫をも上映する筈である、尚各班人名、並に講演地左の如し

▲第一班 八木沼丈夫、永迫正男(若松、新潟、高田、新發田、秋田、弘前、青森、盛岡、仙臺、福島、米澤、山形)
▲第二班 石岡武、村田稔(甲府、松本、長野、上田、浦和、高崎、前橋、宇都宮、水戶、沼津、靜岡、濱松、豐橋、名古屋、岐阜)
▲第三班 石原秋朗、渡邊諒(富山、高岡、金澤、福井、敦賀、舞鶴、京都、大津、奈良、津、鳥取、松江)
▲第四班 佐藤貞治郎、中島信一、片岡戒介(神戶、姫路、岡山、尾ノ道、廣島、下關、高松、松山、德島、和歌山)

北滿の勇士
雪の長春に歸還
城内を行進し南嶺へ

寒風凛烈たる昂々溪戰に參加して名譽の殊勳を樹てた第〇〇聯隊歩兵主力隊は一日午前七時三十五分臨時列車で雪の長春驛に到着、驛頭は歡喜と感激で迎へられた人も迎へた人も嬉し涙が光つた、ホームは旗の波、劍の林、實に形容の出來ない場面で凍てつく寒さも何處へやら吹きとばされた賑やかさであつた、驛前廣場に整列後の主力は同八時四十五分隊伍堂々昨朝來引續き降り積んだ雪を踏んで長春城内通過二里餘を徒歩で南嶺の兵營に向つた、なほ一部は吉長吉敦の鐵道警備に當つてゐた公主嶺の守備隊と交代して鐵道守備の任についた【長春電話】

不信、奇怪極まる
支那軍を監視せよ
天津居留民の猛運動
加藤特派員發 一日天津にて

わが軍の支那側二度目の挑戰に徹底的な應戰ぶりは全く敵を沈默せしめ今や支那側は自ら掘つた墓穴に片足をつき込んでゐる有樣だ、然し未だ天津居留民の胸の何處かには薄氣味惡い不安な氣持が逃れない、その後に來るものは何か、今や居留民一同は血の出るやうな思ひで今日までわが國威の發揚を念るものを犧牲として鬪つて來た經緯を回顧し更に眞の恒平たる對支策の決行を熱烈に希望してゐる、例の白旗を掲げる戰法は未だに公然と行はれてゐる、相手がたとへ王の名に於て絶對無抵抗を誓つたその日既に我陸戰隊搭乘の御用船が白河に於て暴戾な支那兵の奇怪な攻撃を受け北平に於ては爆彈騷ぎを惹起してゐる、斯の如く全く信のおけない支那側に對しては例へ一時平靜に復したといへあくまでこれを監視する必要がある、この意味から天津在住民から選拔された義勇軍、在郷軍人團は國家のために在留民のために今や猛烈な運動を起し各方面の諒解を得・輿論の喚起に務めてゐる、三十日午後在郷軍人團はその第一聲を内地に向け打電することゝなつた

急派部隊天津着
我租界に入る

【天津特電一日發】天津に急派された〇〇部隊は一日午前九時英租界に上陸し同十時五十分居留民の熱狂的な出迎へと萬歳の聲裡に堂々日本租界に入り直に領事館横の廣場に集結しつゝあり義勇隊は一兩三日中に解散のはずである

增兵を語り
久振りの笑ひ聲
吉報相次ぎ漸く平靜

【天津特電一日發】再びの砲撃に驚愕し門戶を閉ざした天津日本租界も四日目頃から義勇隊の解散說が傳へられ支那側防禦線の撤退が報ぜられ幾分平靜に復し支那街はぼつ〳〵通行の人の姿を見え漸くホツトしたといふ態だが更に天津在留民を喜ばせ安心させたものは第〇〇隊の増兵である、今や警備のため新に來津の軍隊の噂で何れの家庭も樂しい笑ひ聲が聞えもう大丈夫、これからは今まで失つた權威の償ひのため大きな希望を以て平和の鬪ひに勝たねばならぬと意氣込んでゐる、なほ增兵軍〇〇隊は一日午前十時イギリス租界に上陸隊伍を整へ天津に入ると

射擊を止め頗る平穩
增兵に縮上る

【天津一日發】我陸海軍の增援に縮上つたか支那兵の射撃はばつたり止み昨夜も極めて平穩であつた第一線警備に就いた陸戰隊將士も一時から神子抜けの形だ、本日午後一時から我軍部代表は支那側の防禦施設撤去と武裝保安隊の撤退狀況を實地視察する

眞綿は各一個づゝ在滿將士に賜はる
農林省で目下謹製中

【東京三十日發】野口皇后宮事務官謹話 兩陛下には酷寒の野に活動する將兵を勞らせらるゝ思召しから眞綿御下賜の御沙汰があつたので目下農林省に依囑して謹製中であるが眞綿は將兵に一個づゝあたる筈で陸軍省を經由し傳達の筈

伏見宮大妃殿下金一封を御下賜

【東京一日發】愛國婦人會副總裁伏見宮大妃殿下には滿洲派遣軍將士御慰問の思召しから總裁宮の御資格で三十日同會事務總長を通じて金一封を御下賜遊ばされた

時局に備へ
全旅順射擊大會
來る六日に聯隊射擊場で

旅順では時局柄一般市民に射擊訓練を施して萬一の際に備へんとて在郷軍人分會及び關東廳體育研究所が率先主催して來る六日(雨天暴風の時は開會前白玉山に大國旗を揭げ中止を報じ十三日擧行)午前九時より舊市街歩兵聯隊射擊場で大會を開催する參加者は

第一班在郷軍人分會員、第二班中學生、青訓生、第三班大學々生々徒、第四班青年警備隊員、第五班一般市民

とし分會員以外の者は老幼男女會費十錢を出せば係員が銃の取扱ひ射擊方法等一切懇切に說明指導することになつてゐるので當日は誰でも出場射擊されたいと希望してゐる

なほ各班毎に一等より十等迄の入賞者には夫々賞品を授與する筈で射擊方法は二百米突十圓的發射彈五發、姿勢は伏射又は依托、使用銃は分會員はモーゼル歩兵銃、其他は歩兵銃で時局柄極めて適切なる試みとして好評を博してゐるので當日は定めて參加者も多く盛會を豫想されて[illegible]

振ひ立つラガー
滿鐵對大倶戰を催して入場料を献金する

時局に奮起した滿洲體育聯盟は既報の如く來る六日午前八時半より大連神社にて結團式を行ひ後本社主催の護國祈願祭に參加し大いに氣勢を擧げることゝなつたが同聯盟の一員たる滿洲ラグビー協會では西部ラグビー協會の了解を得て同日午後一時半より大連運動場に於て大連滿鐵對大連倶樂部のラグビー戰を擧行し同入場料を聯盟に寄附し聯盟では同寄附金を献金及び慰問金となすことに決定した、なほ入場料は金十錢であるが憂國の人々は奮つて寄附參觀せられたしと

大孤山で交戰中
匪賊と公安隊

一日午前十一時五十分大孤山採礦所東方にて匪賊と公安隊と交戰中の急報に接し鞍山署では非番巡査を非常召集して運行電車に便乘し討伐に出動した【鞍山電話】

井杉氏弔慰金

井杉延太郎氏弔慰金はその後左の通り寄贈があつた
▲十圓相生由太郎氏、福昌公司工事部▲五圓清水本之助氏▲二十七圓鞍山有志各位(鞍山在郷軍人會分會、上阪清新氏、藤津甚一氏、戶上榮氏、川澄由之介氏、伊藤忠房氏、木村廣吉氏、村山哲男氏、福井眞氏、相馬時太郎氏、河野通德氏、武井定一氏、植田勝政氏、大八木周吉氏、藤井仁作氏、古川用氏、吉川泰氏、田川鐵藏氏▲一圓早川國與氏▲小計金五十三圓也▲累計金六百十二圓也

三島團長赴奉

日本少年團長三島子爵は防寒具に身をかため一日午前八時三十分發列車で南下奉天に向つたが一兩日滯奉の上チチハルに於て涙ぐましい活躍を續けてゐた團員を引率赴連の筈である、なほ驛頭には長春健兒團多數の見送りがあつた【長春電話】

ごう裁くか
花代値下
調停案ヽ一蹴

藝妓置屋と料理屋待合側との間で紛糾に紛糾を重ねてゐる三業組合の花代値下げ問題はその後組合顧問大津、加藤兩氏が調停に立ち双方斡旋の勞を執つた結果、約束花十本四圓二十錢で折合つては如何との調停案を提出双方の諒解を求むるところあつたが料理屋待合側では、さきに總會に於て十本四圓を決議し監督官廳に認可を受けんとしてゐる矢先、たとへ顧問案といへども是れに應ずる場合は最高機關たる總會決議を輕視することゝなり將來惡例を殘す重大な結果を招來するといふので反對說多く、遂に顧問の調停も甲斐なく組合では近く決議に基き十本四圓案によつて大連署の認可を受けることになるらしく、大連署の裁斷は注目されてゐる

天氣豫報 二日
北西の風(晴)

各地温度

	一日午前十一時	三十日最低
大連	零下二、二	〇、〇
旅順	同一、四	〇、七
營口	同四、八	零下八、一
奉天	同六、二	同一〇、七
長春	同一〇、〇	同一三、三

けふの小洋相場(正午) 金百圓は二二七圓九〇錢

護國祈願祭協議會開催

護國祈願祭擧行に關する協議會は二日午後一時から本社會議室で開催致します、參加各團體代表者は同時刻までに是非共御來會下さい

暗流阿修羅館 (259)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

乃傷 (三)

これから御掃をもつて來て、この貼紙をとり去つたが、あとはよりくいろくの噂。

老人達の心配は一通りではなかつた。一方あの貼紙のことが田沼をはじめ老中に知れないやうに、一方、何者かあのやうな大それたことを仕出來したか、その犯人を探し出さなければならなかつた。また探し出さなければならなかつた。大つぴらで探すのならば、また探しやうもあるが、內密に探し出さなければならぬので一通りの困難ではなかつた。また、犯人も犯人だが、この貼紙のかげにどのやうな大きい人物がかくれてゐるかといふことなどを想像すると、なまなか手もつけられないやうな氣もした。結局はどうしてよいのか、たゞ老人らしい頭を惱ませるだけである。

番士新組の一人、二十七八歲の男、白皙、氣品があるが氣短らしい眉宇をしてゐる。先刻から噤しのではないであらうか」

「何とも知れぬな」

隅に腕組をして默してゐた男は腕をほどくと立つて袴の紐を締め直した。何か一と所を見つめて決心したらしく、口を一文字に結んだ。

「おゝ、佐野、貴殿はもう退るのか」

一人が、ふと氣がついて訊いた。

「時刻はまだ早いか」

佐野の呼ばれたその番士は、はじめて口をきいて返辭をした。

「さあ、曇つてゐるので遲いやうに思はれるがそれほどでもあるまい」

「いま何時位だな」

「七つにはまだなるまい」

「若年寄の今日の退出は七ツ半だつたな」

「うん、さうだ。だが、貴殿どうしたのだ」

と、その侍は佐野の意氣組が何「いんや、何でもない、たゞきいて見たまでだ」

佐野は、紐をしめ直すと、內懷に手を入れて、着物を少しづゝ引上げた。そして何となく落着かぬ氣に坐つた。

(どうしたのだらう、へんだな)(少しをかしいぞ)

他の侍たちは、佐野の樣子を見て怪しんだ。

佐野は目をつぶつたり明けたりした。胸をかき合す時、どうやら下に鎖帷子を着てゐるのがチラと見えてゐた。

くがやくしてゐる人達から少しく離れて、隅にじつと腕ぐみして默つてゐた。ものも云ひたくなかつたらしい。顏は一層蒼く一脈の凄氣さへ帶びてゐた。

しかし、他の人達は貼紙のことから想像されるいろくの噂をひそひそと話合つてゐて、その男の顏色などには氣がつかずにゐたのだつた。

人々はその日、何も手につかなかつた。落着かないやうな氣もちで一日とりとめがなかつた。

「水野殿が御養子の忠德殿を田沼殿に歸したさうな」

「いよく破裂しましたな」

「それとこれと何か關係があるのではないでせうか」

「お紀の方が御流產なされたさうだ」

「貞丸君はお紀の方のお腹だつたのだな」

「そして……」

「そして……」

「田沼殿の子だといふのだな」

小さい聲で云つて、また今更貼紙のしてあつた隙間の方をふり仰いだ。まだ貼つたあとのあたりが白くかたがのこつてゐた。

「ところが、意知殿が、また何處かに連れて行かれたさうだよ」

「多分、田沼殿が、匿まつてゐる

となく默つてゐるのに吃驚したやうにして注意ぶかく訊きかへした。

日本廿六聖人 基督敎日本殉敎史を日活オールスターキャストで映畫化した池田富保監督作品で原作は上智大學敎授ホイヴエルス博士が聖ア・ピリヨン師父の原著「鮮血遺書」により特に著作したものである(寫眞は山本嘉一のペトロバプチスタ師父)

遺難同胞救濟義捐映畫會

基督教聯合婦人會が主催し『日本廿六聖人』を上映

大連基督敎聯合婦人會では遺難同胞救濟の爲義捐映畫會を主催する寫眞は日本秋季巨大作國際豪華版と銘打つた殉敎而史日本廿六聖人十九名で京城のカトリック敎徒たる平山政十氏が十萬圓を投げ出し日活が池田富保の監督に未曾有のオールスターキャストで一ケ年の日子を費し總作費總額三十萬圓を以て完成した稀代切支丹の殉敎史で、日本映畫界稀に見る大がゝりのものである、期日は八日、九日の兩日午後六時二十分より、會場は協和會館、會費は五十錢均一で滿鐵社員俱樂部が後援する、なほ同聯合婦人會は八日より十四日に至る帝國館に於ける本映畫の興行にも後援して協和會館の會費は帝國館にも適用することゝし、帝國館は其の分に對する收入の一部を義捐資金に寄附することになつてゐる

キネマと演藝

軍隊慰問の映寫隊

活動寫眞協會から派遣

零下三十度の極寒滿洲の野に活躍してゐるわが忠勇な將士を慰安のため活動寫眞協會では映寫隊を派遣して各地で新舊の映畫を說明付で上映し以て其無聊を慰め士氣の更生を圖る一助とする事に決定したが、是等の映寫隊は日活、松竹、新興キネマ、東活の四社から各班三名宛がそれぐ新舊の賑かな作品を携へて行くもので一班三名からなり技師、說明者、引率者で近く陸軍省の後援の下に出發する事になつた

噂話

大日活の新春第二週プロに新興キネマの「太平洋」が組まれてゐるが▲これは大阪から長館主が「酒は淚か」と打電して來たものを▲留守宅でおやぢの電文は何を言つてゐるのか、こんな作品はないと許り「太平洋」だと發表したものであるが▲これは矢張り杉狂次と高津慶子主演の流行小唄を映畫化した「酒は淚か溜息か」である▲こうなると、おやじが當になつて留守宅の方がどうかしてゐることになる▲日活の關西側が軍隊慰問のため映寫班を滿洲に派遣するといふので▲大連出張所でもだまつて居られなくなり今後軍隊慰問のためなら都合のつく限りフヰルムを無料で貸出すから申込んで欲しいと

買物ニュース

▲浪速町三丁目の町內會では各商店總聯合にて歲の市聯合大賣出しを開始した、市內唯一の買物街盛り場として、有力專門店揃ひにて本年は有史以來の大安賣だとその良品を最廉價に提供する意氣込みは全商店に漲つてゐる

▲鈴木京染吳服店は一日から歲末の大特價賣出會を始めた、本年最後の奉仕提供として全商品を四割乃至五割引と云ふ破格振りで、活氣は店內に横溢してゐる

▲三越の福引景品附大賣出し同店が大連支店開設二十五年を記念する爲め、三越として珍らしい福引景品附の奉仕振りを發表した、買上げ一圓毎に福引券を呈し、又この三枚を以て抽籤を行ひ一等八端夜具三枚一組其他四等まで豐富に積んでゐる

▲宅の店の歲暮、クリスマス贈答品の大賣出　同店は、初めての試みとして、景品附の奉仕會として一圓毎に補助券を、同五枚を以て抽籤券に引換へ、一等は五十圓の商品券の外八等迄思切つた景品を進呈するので一般の期待は盛んである

本社特選 新棋戰 (其八)

香落 三段 △塚田正夫(十八歲)
初段 ▲久松英之輔(廿一歲)

【圖は四六角迄の局面】

▲久松氏「持駒」金銀步步

△塚田氏「持駒」桂步步步

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
玉(後)				金(後)	王(後)	金(後)	桂(後)	香(後)	一
			步(後)	銀(後)					二
		步(後)			步(後)	步(後)	步	步	三
		と							四
步			步	步	步	步			五
	角	桂	步	角(後)					六
	步	飛	金	玉	步	步			七
	銀								八
香(後)							步	桂	九

△四六金　▲五八銀
△五七玉　▲四五步
△同金　▲五五步
△五三桂成　▲四七金
△同角　▲同銀成
△同玉　▲三九角
△五七銀　▲同角
△同玉　▲五六銀

【土居八段講評】▲久松君の五八銀打は以下龍の働きを弱める故惡い。平凡に四八金打、三六玉、六三步、同角成、五二金上るの時敵八一馬なら八九龍にて優勢である。續て四五步打以下の手段は拙策である。敵の成步を殘しておいては危險だから一旦六三步と指す處である。

【萩原六段解說】下手の五八銀は惡手であつた。此處は四八金と打つて五六玉なら五八龍、五七桂、四七銀、同金、同龍、六七玉、五八金でよかつた。又四八金に對し三六玉なら四四銀上るで、次に三五銀打の先手があつて十分であつたのに五八銀は返へすぐも惜しい處であつた。恐らく五八銀に對し敵は五六玉と逃げるものと誤算したのであらう。それなら五五步、同金、五四步でよく、又同玉なら五四金、五六玉、五五步で十分であるが五七玉と逃げられるのを見落したものと思ふ。故に上手の五七玉は至當な手であつた。上手五三桂成は五五同金では五步と打たれて惡いから七四角を手に用ひてよかつた。下手四七は駒損であるが次に五五金と指されては敵玉が廣くなつて面白くないから四七金と指したのである。上手五七銀は四八龍を防ぎと當手である。下手同角と切つて五銀と打ち極力攻勢に出で上手に逆襲の機會を與へず、又敵玉の逃げ順を極力防ぎつゝ攻めなければならない樣な急攻を要する樣になつたのは前回の五八銀が惡かつたからである。